

第4章 調査の成果とまとめ

1 特筆すべき土坑

ここでは、現場あるいは整理作業での検討の結果、他の遺構へ変更が考えられる土坑や類例の少ない特殊な土坑について述べていく。

「墓坑」「陥穴」「住居に関連する土坑」「堅穴遺構」「特殊な土坑」の5項目を立て、概要とともに全体図の抜粋や一覧表を掲載していくので参照していただきたい。

(1) 墓坑

横壁中村遺跡において、墓坑の可能性の高い土坑は37基を数える。そのうち、称名寺式が3基、堀之内式期が11基、加曾利B式が6基と主に後期を中心とし、19区、20区、29区で数多く検出されている。

29区は面積の少ない調査区だが、7基の墓坑の可能性の高い土坑が検出されている。同調査区西側には縄文後期後半を中心とする配石墓群が検出されており、今回報告する土坑とともに、墓域を形成するものと考えられる。

表11 墓坑の可能性のある土坑一覧表

()は推定値、深さ右側の()は最深値

区	土坑番号	位置	調査年度	時期	平面形	断面形	規模(cm)			方位	遺構の重複	備考
							長径	短径	深さ			
18	212	X-Y-8・9	2002	堀之内2式	楕円形	円筒状	157	88	55	N19° W		
18	213	W-X-11	2002	堀之内1式	楕円形	すり鉢状	189	113	42	N9° W		
19	25	W-22	2001	加曾利E1式	円形	円筒形	146	122	25		32土	
19	99	V-15・16	2002	堀之内2式	円形	皿状	96	92	20		30住	
19	100	V-15	2002	堀之内2式	不整形	皿状	84	65	13		30住	
19	103	V-12	2002・2003	称名寺式	不整形	すり鉢状	115	98	72			
19	104	V-W-12	2002	称名寺1式	円形	皿状	71	69	14			
19	143	U-18	2003	堀之内2式	円形	すり鉢状	110	98	48		156土	
19	146	V-15	2003	堀之内2式	円形	皿状	(103)	(57)	45		30住,157土	
19	147	T-18	2003	堀之内2式	円形	円筒状	90	78	45		8住	
19	157	V-15		堀之内2式	(楕円形)	(皿状)	94	80	42	N65° E	30住,146土	
19	180	U-15	2003	堀之内2式	円形	円筒状	77	66	49		41住	
19	289	X-14	2003・2004	加曾利E4式	円形	円筒状	134	121	57		32住	
20	103	P-23	1999	後期	不整形	円筒状	96	88	45(70)			
20	281	A-3	2003	堀之内1式	円形	円筒状	103	95	31			
20	447	A-21	2001	加曾利E3式	楕円形	皿状	125	95	27	N26° E	449-450土	
20	448	A-21	2001	加曾利E3式	楕円形	皿状	120	(83)	27	N8° W	451土	
20	449	A-21	2001	縄文	楕円形	皿状	119	(87)	13	N11° E	447土	
20	450	A-21	2001	加曾利E4式	楕円形	皿状	144	106	26	N0°	447土	
20	451	A-21	2001	加曾利E3式	楕円形	皿状	115	(81)	18	N1° W	448土	
20	452	A-21		縄文	楕円形	不明	121	79	-	N9° W		
20	453	C-D-18	2001	堀之内1式	不整形	皿状	206	170	47		67住,464土	
20	454	B-21	2001	縄文?	円形	円筒状	88	86	38		455土	
20	471	B-13	2002・2003	称名寺1式	円形	すり鉢状	155	142	45		472・473土	
20	472	B-13	2003	加曾利E4式	円形	(円筒状)	98	91	22		471土	
20	518	H-15	2003	加曾利E3式	円形	すり鉢状	115	112	64		72住	
20	519	D-13	2003	加曾利E3式	円形	皿状	150	123	29		94・107住	
20	520	E-12	2003	加曾利E3式	不整形	すり鉢状	140	108	40			
29	10	R-3	1998	加曾利B式	不定形	皿状	153	132	31		7配石	
29	11		1998	加曾利B2式								遺物掲載
29	12	S-4	1998	後期	不整形	皿状	153	(128)	48			
29	13		1998	後期								遺物掲載
29	14	T-3	1998	加曾利B式	不整形	皿状	150	143	44		17配石	
29	15	U-4	1998	後期	不整形	皿状	141	124	39		30配石	
29	22	W-1	1999	加曾利B式	不定形	皿状	180	104	39		44配石	
29	25	X-1	1998	加曾利B2式	楕円形	すり鉢状	(104)	44	38	N20° W		
29	36	Y-2	1998	加曾利B式	(不整形)	皿状	(141)	(112)	66			滑車形耳飾り(完形)1点、未確認。
30	5	I-1	1999	後期	不整形	すり鉢状	176	(152)	30			
30	8	H-1	1999	縄文	楕円形	皿状	88	80	16	N18° E		

ここでは、墓坑となる可能性の高い18区212号土坑・213号土坑、19区289号土坑の3基について、その詳細を記していく。

18区212号土坑

位置 X・Y-8・9

重複 なし

遺構 平面形状は楕円形、断面形状は円筒状。規模は、長径157×短径88×深55cm。方位はN19° W。土坑の南側には、完形の堀之内2式の土器がほぼ正位の状態出土。

遺物 堀之内2式1点。

時期 堀之内2式期。

18区213号土坑

位置 W・X-11

重複 なし

遺構 平面形状は楕円形、断面形状はすり鉢状。規模は、長径189×短径113×深42cm。方位はN9° W。土坑の南側には、堀之内1式の土器が2点、ほぼ並列した状態で出土。

遺物 堀之内1式2点。

時期 堀之内1式期。

19区289号土坑

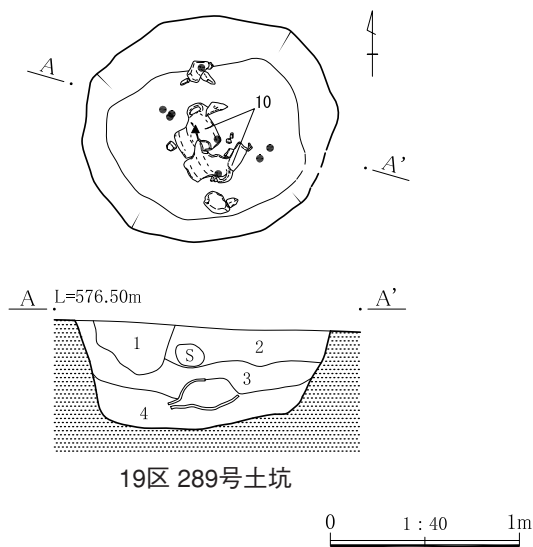
位置 X-14

重複 19区32号住居

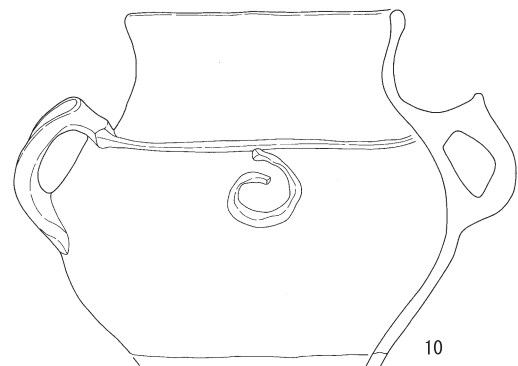
遺構 平面形状は円形、断面形状は円筒状。規模は、長径134×短径121×深57cm。土坑中央には、加曾利E4式の土器が、横倒しに潰れた様な状態で出土。土器底部はなく、平らに打ち欠かれていたと考えられる。

遺物 加曾利E4式1点。

時期 加曾利E4式期。



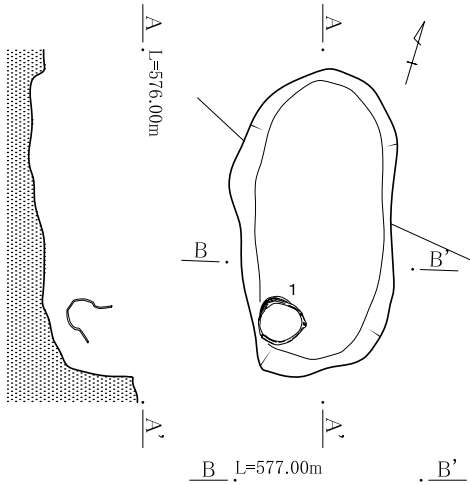
19区 289号土坑



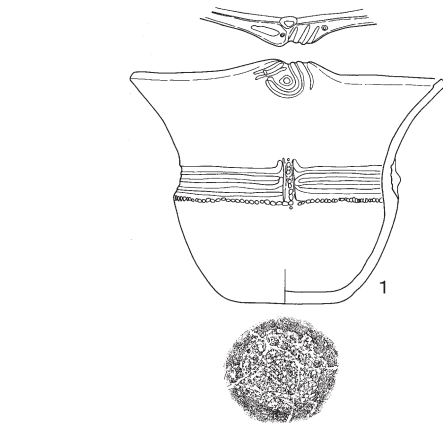
19区 289号土坑遺物出土状況（南西から）

第217図 19区 289号土坑（墓坑）

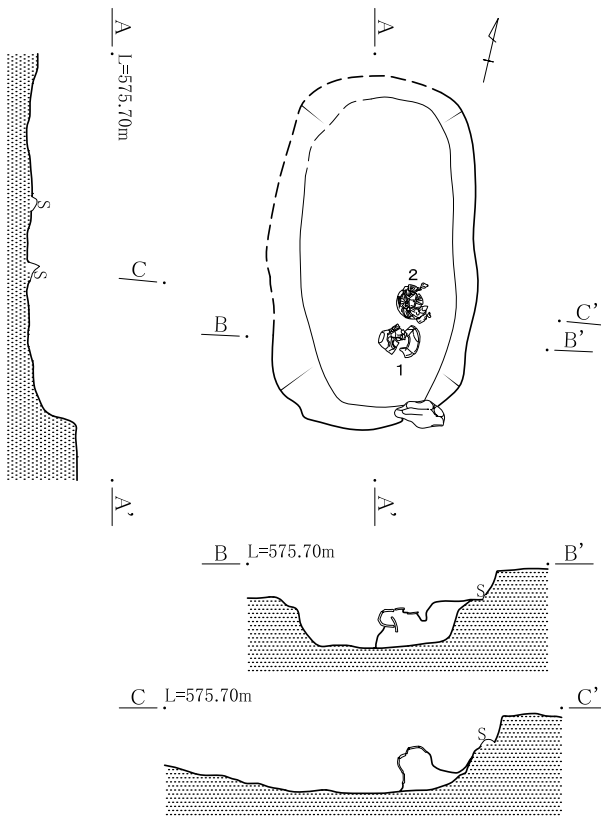
第4章 調査の成果とまとめ



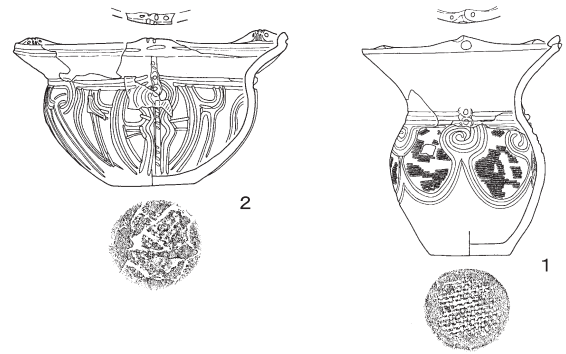
18区 212号土坑



18区 212号土坑遺物出土状況（北から）

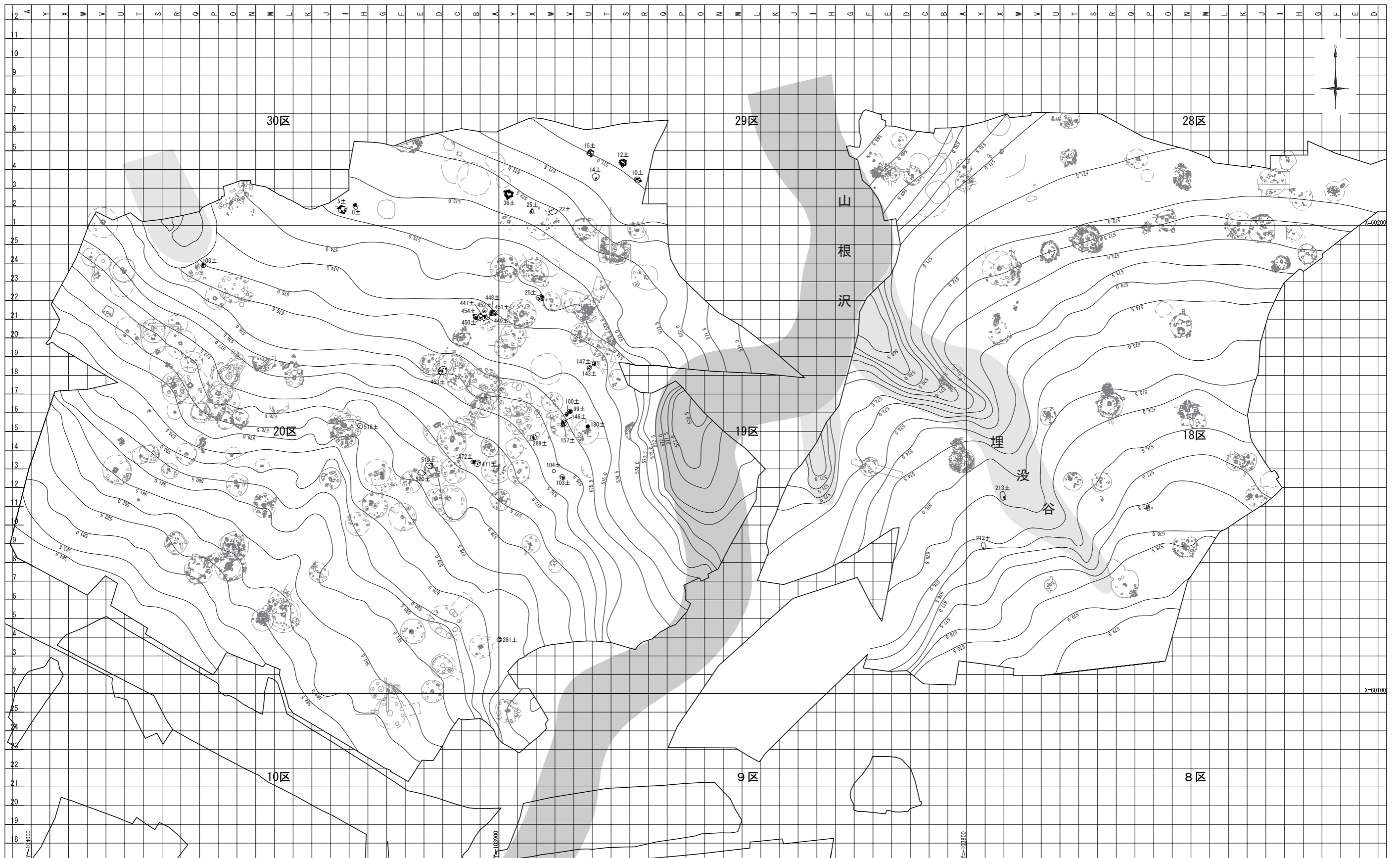


18区 213号土坑



18区 213号土坑遺物出土状況（西から）

第218図 18区 212・213号土坑（墓坑）



第219図 墓坑全体図

(2) 陥穴

横壁中村遺跡において、陥穴の可能性が高い土坑は3基を数える。すべて20区の東側、なだらかに傾斜した斜面地に点在している。長軸方向は、東西方向から南北方向まであり、統一感はない。時期や目的の異なる陥穴の可能性も考えられる。また、土坑の中には、逆茂木を打設または埋め込んだと推定される小ピットが伴う事例も見られる。

20区には縄文時代中期後半から後期前半の大規模な集落が見られる。集落と陥穴とが比較的近接しており、後期の陥穴2基と集落とがどの様に存在していたのかは現状では不明瞭である。時期も含め、後期住居の報告の際、検討したいと考えている。

ここでは、20区223号土坑について、その詳細を記していく。

20区223号土坑

位置 T-12

重複 20区9号焼土

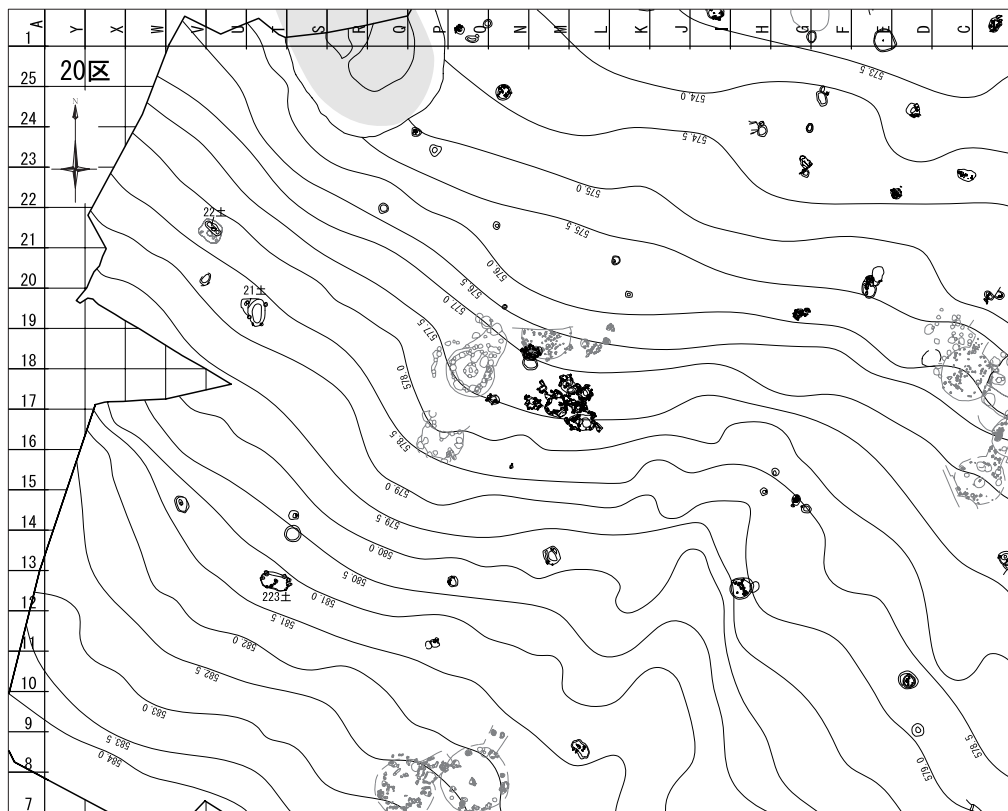
遺構 平面形状は楕円形、断面形状は円筒状を呈する。規模は、長径305×短径165×深70(110)cm。方位はN83° W。ほぼ東西に長軸を持つ土坑である。逆茂木を打設または埋め込んだと推定される小ピットが14箇所見られた。遺物は確認できず、時期については不詳。縄文時代から古代までの可能性が考えられる。

遺物 なし

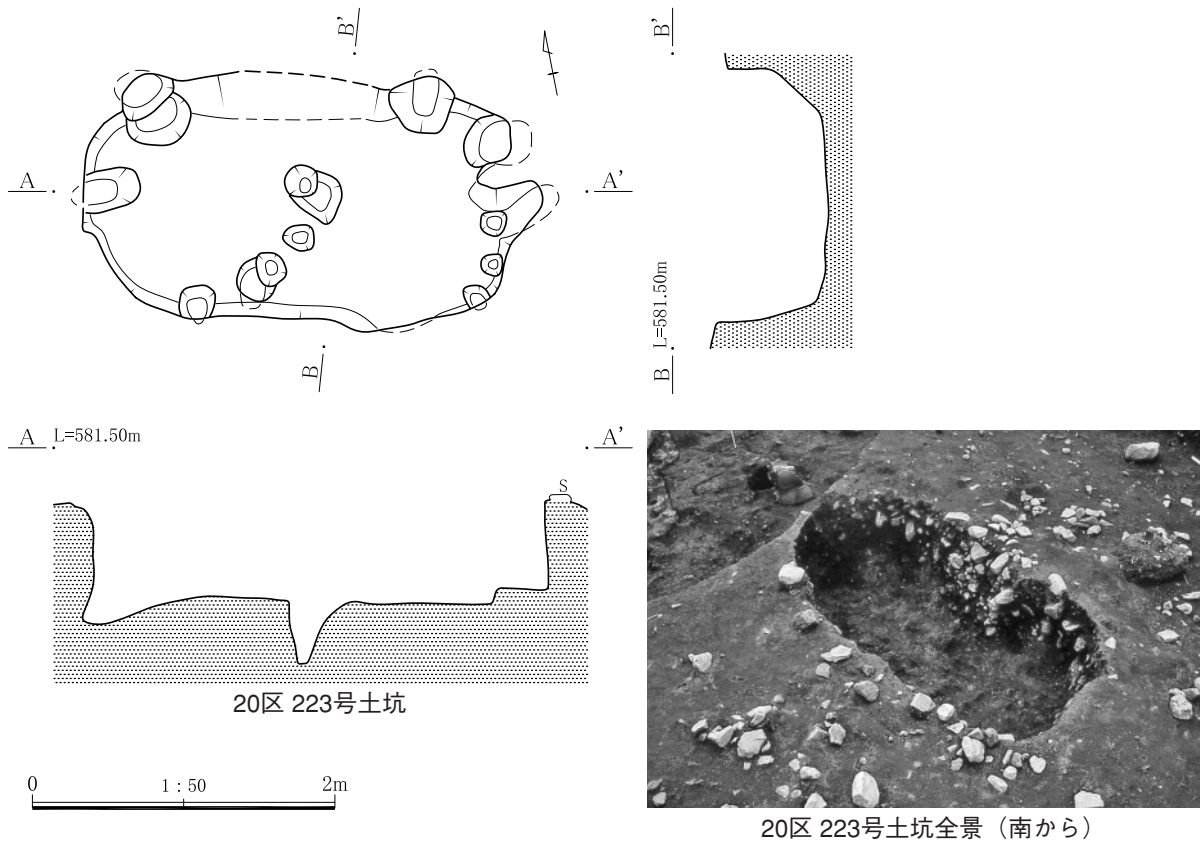
時期 縄文時代?

表12 陥穴の可能性のある土坑一覧表 ()は推定値、深さ右側の()は最深値

区	土坑番号	位置	調査年度	時期	平面形	断面形	規模(cm)			方位	遺構の重複
							長径	短径	深さ		
20	21	T-19	1999	後期	(楕円形)	すり鉢状	274	240	67	N9° E	7住
20	22	U-21	1999	堀之内2式	楕円形	円筒状	187	82	83	N45° W	11住
20	223	T-12	2000	縄文?	楕円形	円筒状	305	165	70(110)	N83° W	9焼土



第220図 20区 陥穴全体図 (21・23・223号土坑)



第221図 20区 223号土坑（陥穴）

(3) 竪穴遺構

横壁中村遺跡には、20区北側と30区に中世の館跡や中世の土坑が確認できる。ここで扱う竪穴遺構も中世に比定できるだろう、平面方形を呈する竪穴状の土坑であり、すべて20区北側と30区で検出されている。

本遺跡で竪穴遺構の可能性が高い土坑は5基を数える。大半が、200～250cmほどの方形を呈する。深さは30cm前後と比較的浅い。すべて中世の館跡周辺で検出されており、館跡との関連も考えられる。

5基のうち、20区32号土坑以外には中世の遺物が見られない。平面形状や遺構覆土から現場で判断したか、あるいはその後の検討から竪穴遺構とした土坑である。

ここでは、遺物が出土した20区32号土坑について、その詳細を記していく。

20区32号土坑

位置 S-23

重複 なし

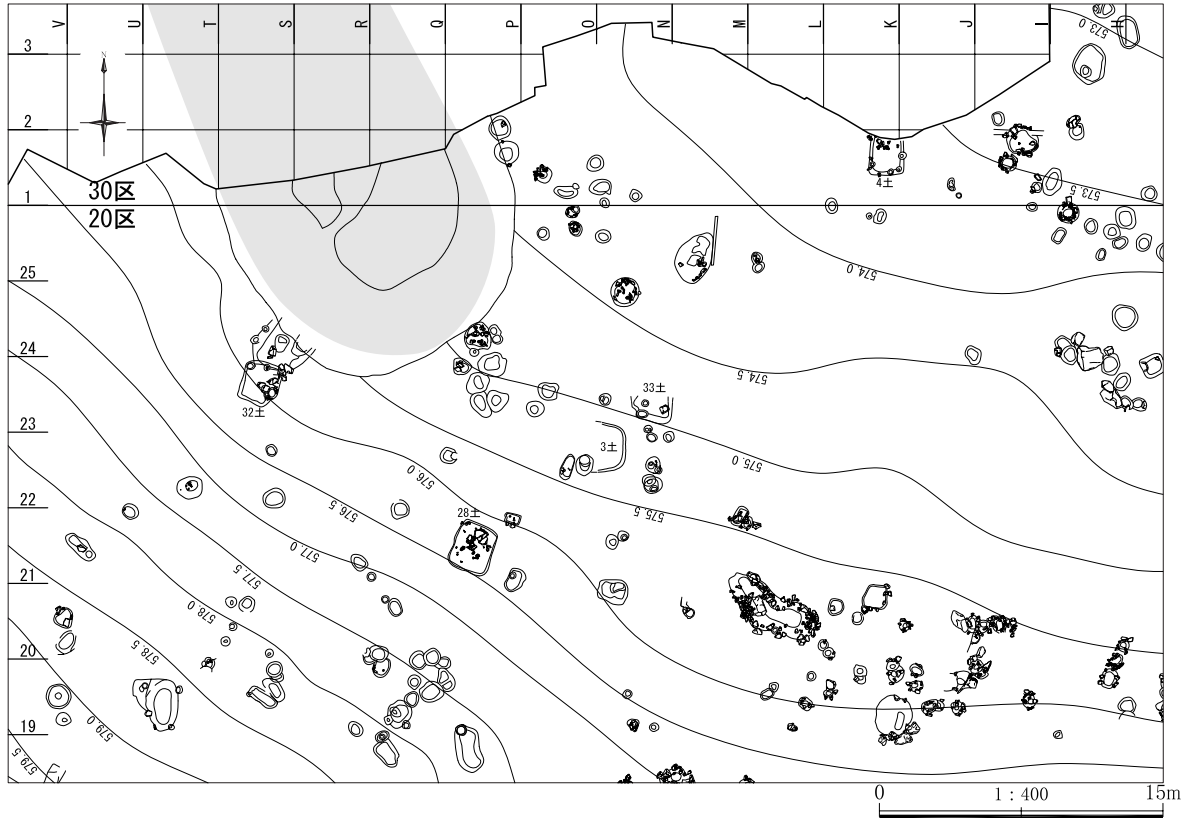
遺構 平面形状は方形、断面形状は円筒状を呈する。規模は、長径226×短径201cm。深さは36(55)cmと比較的浅い。方位はN16° E。壁付近に、柱穴と思われる遺構が2基検出されている。

遺物 内耳土器と思われる口縁部片1点。

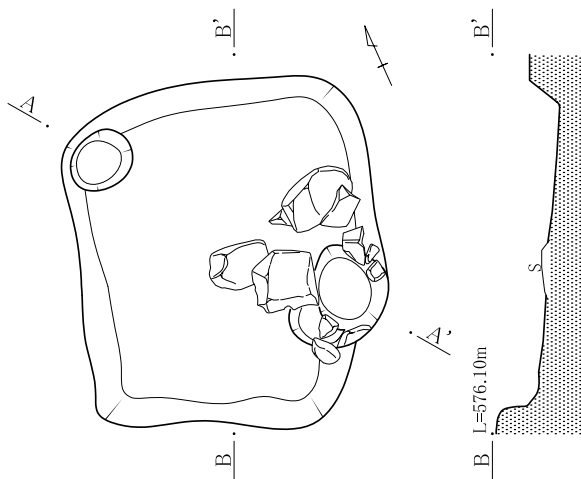
時期 中世

表13 竪穴遺構の可能性のある土坑一覧表 ()は推定値、深さ右側の()は最深値

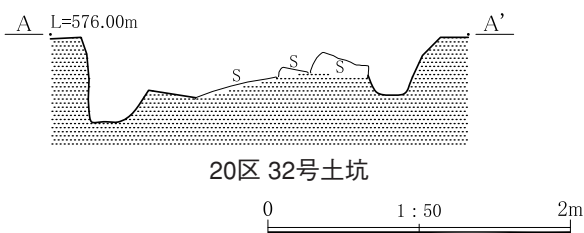
区	土坑番号	位置	調査年度	時期	平面形	断面形	規模(cm)			方位	遺構の重複
							長径	短径	深さ		
20	3	N-22	1999	中世以降	(方形)	皿状	264	(134)	27		23住
20	28	P-21	1999	中世	方形	円筒状	262	221	29	N26° E	25住
20	32	S-23	1999	中世	方形	円筒状	226	201	36(55)	N16° E	
20	33	N-23	1999	中世	(方形)	皿状	216	(146)	31(67)		
30	4	K-1	1999	中世	長方形	不明	(200)	180	30(42)	N0°	



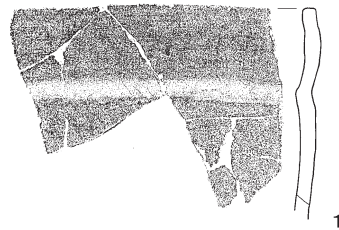
竪穴遺構全体図 (20区 3・28・32・33号土坑、30区 4号土坑)



20区 32号土坑全景 (南から)



20区 32号土坑



第222図 竪穴遺構全体図、20区 32号土坑 (竪穴遺構)

(4) 特殊な土坑

ここでは、本遺跡で検出された類例の少ない特殊な土坑2基について、その詳細を記していく。

20区13号土坑

位置 P-23

重複 なし

遺構 平面形状は長方形、断面形状は円筒状を呈する。規模は、長径85×短径55×深30cm。方位はN8°W。小型の土師器皿（かわらけ）と馬歯、内耳土器と思われる底部片を台形状に成形したものが出土している。ウマの歯は咬合した状況で検出されており、土坑の大きさから考えてもウマの頭部が埋められていた可能性がある。また、吾妻地域では数少ない土師器皿の出土や底部片を転用した土器片も見られるなど、特殊な目的を持った土坑と考えている。20区で検出された中世の館跡に隣接する位置で出土しており、館跡との関連も考えられる。本遺跡からは同様の遺構出土例はない。

遺物 小型の土師器皿（かわらけ）1点が出土。ほぼ完形である。共伴する遺物に、内耳土器と思わ

れる底部片を転用したものが1点、馬歯とともに出土している。

本遺跡も含め、吾妻地域における土師器皿の出土例は少なく、出土した土師器皿の時期比定は難しい。内耳土器と思われる底部片の共伴が、その手がかりになるものと考えている。

時期 中世

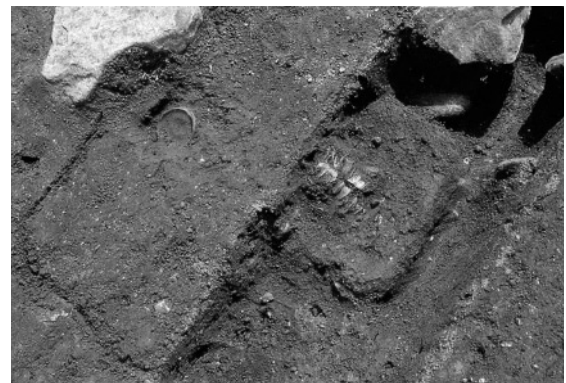
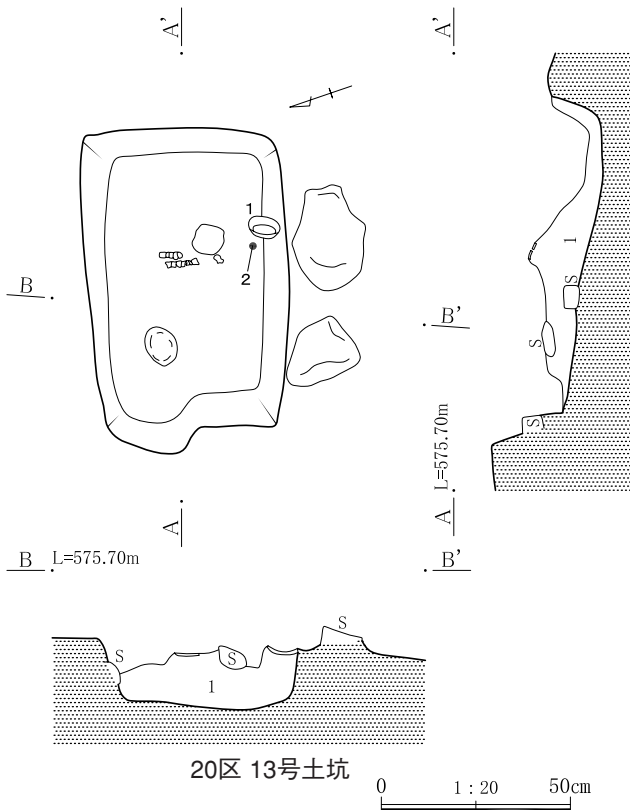
19区156号土坑

位置 U-18

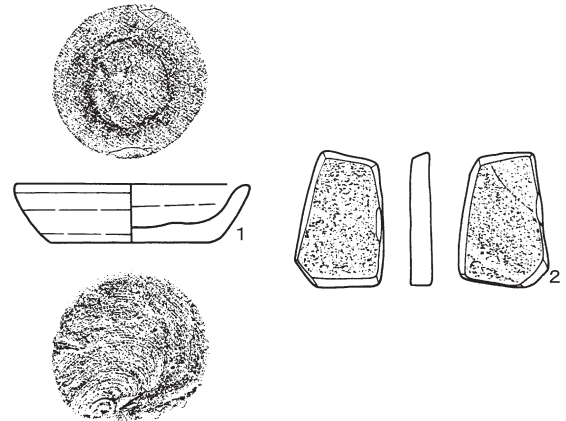
重複 19区143号土坑

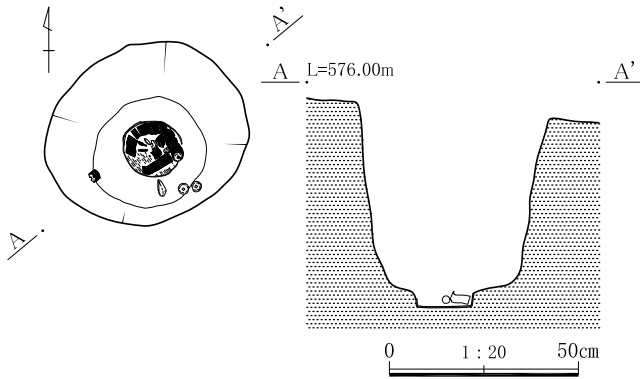
遺構 平面形状は円形。断面形状は円筒状か。規模は、長径52×短径45×深49（54）cm。土坑底部に段が見られるが、そこに曲物が据えられたように検出された。しかし、掘り方は未確認であるため、正確な断面形状は不詳。

土坑内に据えられていた曲物の中には、寛永通寶を中心に362枚の銭が数本の銭縶状に収められていたと考えられる。土坑の上に何かしらの施設があったことも想定できるが、調査時には確認されていない。本遺跡からは同様の遺構出土例はない。



20区 13号土坑遺物出土状況（東から）





19区 156号土坑



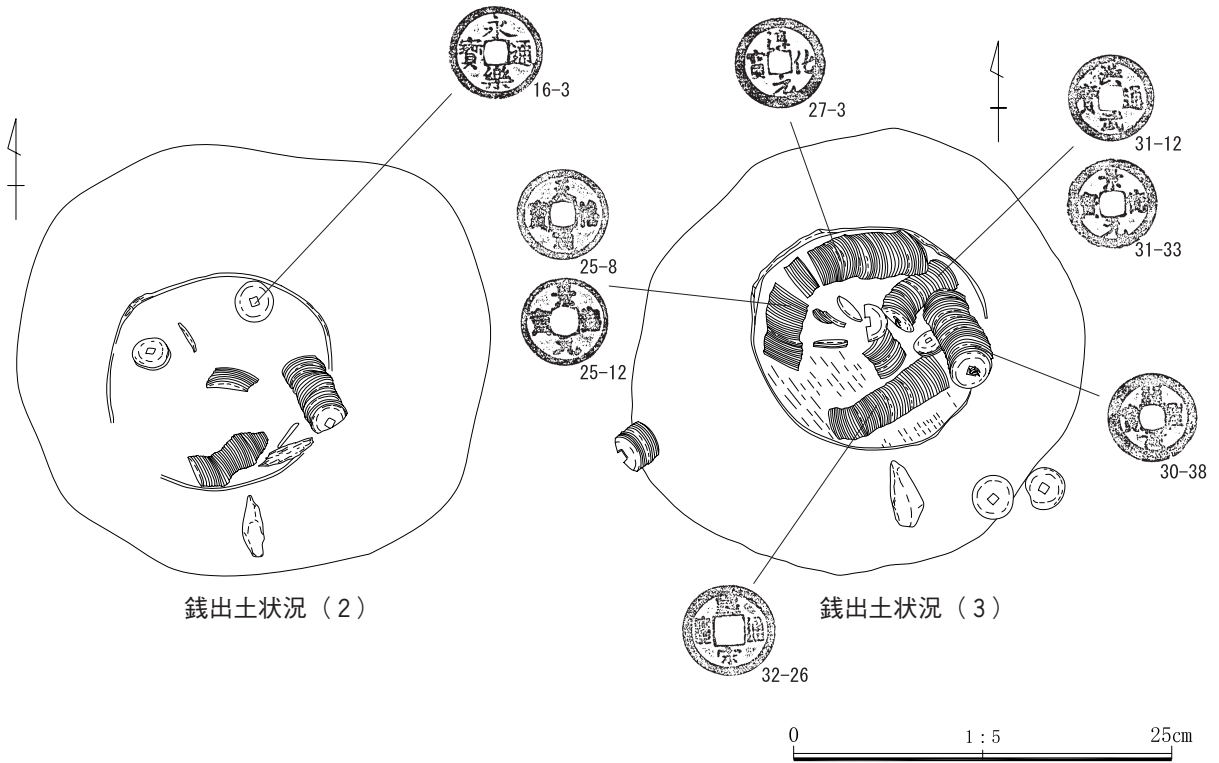
19区 156号土坑全景（東から）



19区 156号土坑銭出土状況（1）



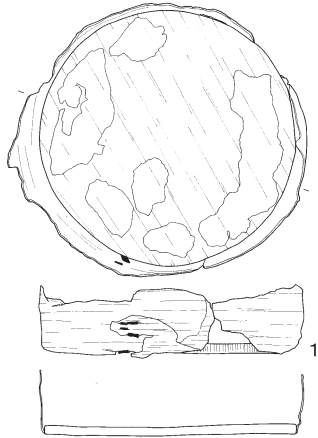
19区 156号土坑銭出土状況（北から）



銭出土状況（2）

銭出土状況（3）

第224図 19区 156号土坑（1）



19区 156号土坑No. 1 曲物



19区 156号土坑 No.32 錢緡の結び目



19区 156号土坑 No.31 錢緡の結び目

第225図 19区 156号土坑 (2)

遺物 曲物の底板はやや歪んだ円形を呈する。底板には銭の痕跡が明瞭に残っていた(第80図156土-1網掛け、第225図)。曲物の中には、寛永通寶を中心に362枚の銭が錢緡状態で検出された。銭の総数や出土状況から考え、凡そ4本の錢緡状に収められていたと思われる。錢緡1本の平均枚数は、90~91枚ほどであろうか。ただし、緡紐も検出されたが、確認できた結び目は2ヵ所のみであった。(第80図、第225図)。結び目の確認できた錢緡については、結び目から遺物番号を付している。曲物には蓋がしてあった様だが、遺存状態が悪く遺物としては取り上げていない。

出土した銭の構成は、所謂「古寛永」が310枚(全

体の85.64%)、「新寛永」の文銭が44枚(12.15%)である。文銭以外の新寛永は確認できない。出土した文銭には、殆ど摩滅が見られなかった。古寛永が8割以上を占め、文銭以外の新寛永が見られない状況も考え併せると、本土坑は、文銭鑄造とされる1668~1683年に近い時期の可能性が高いと考えられる。

錢緡の寛永通寶の間には、明銭や北宋銭が8枚(2.21%)含まれていた(224図)。これは、17世紀後半頃、横壁中村遺跡周辺では、寛永通寶と同様に、一文銭として明銭や北宋銭が数%使用されていたことを示す事例だと考えている。

時期 近世(17世紀後半)

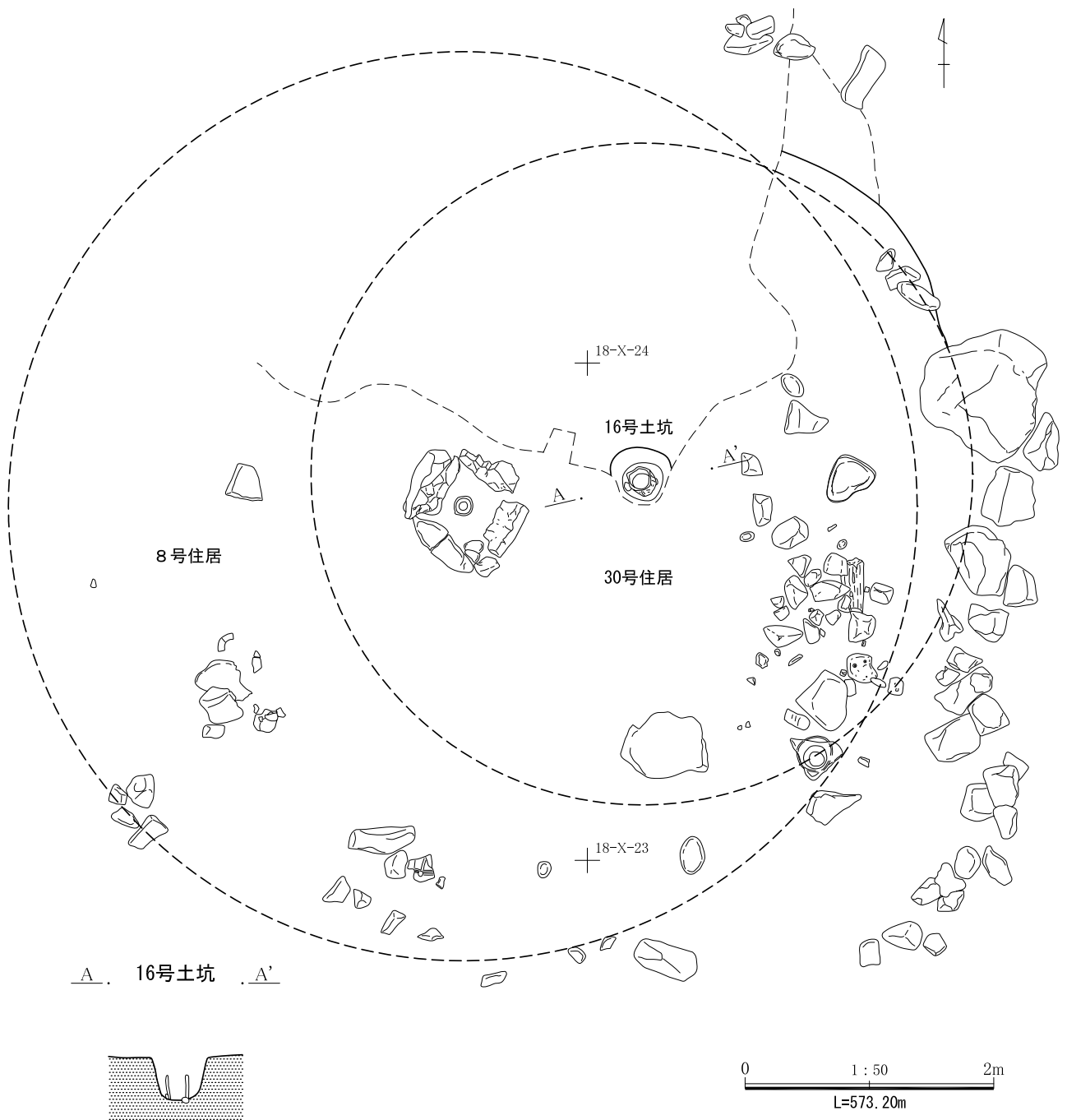
(5) 住居に関連する土坑

今回の整理作業で検討した結果、住居柱穴などの可能性が考えられる土坑が89基確認できた。本項では、これらの土坑のうち、既に報告された住居に関わる土坑29基について述べていく。そのほかの土坑については、土坑一覧表を参照していただきたい。

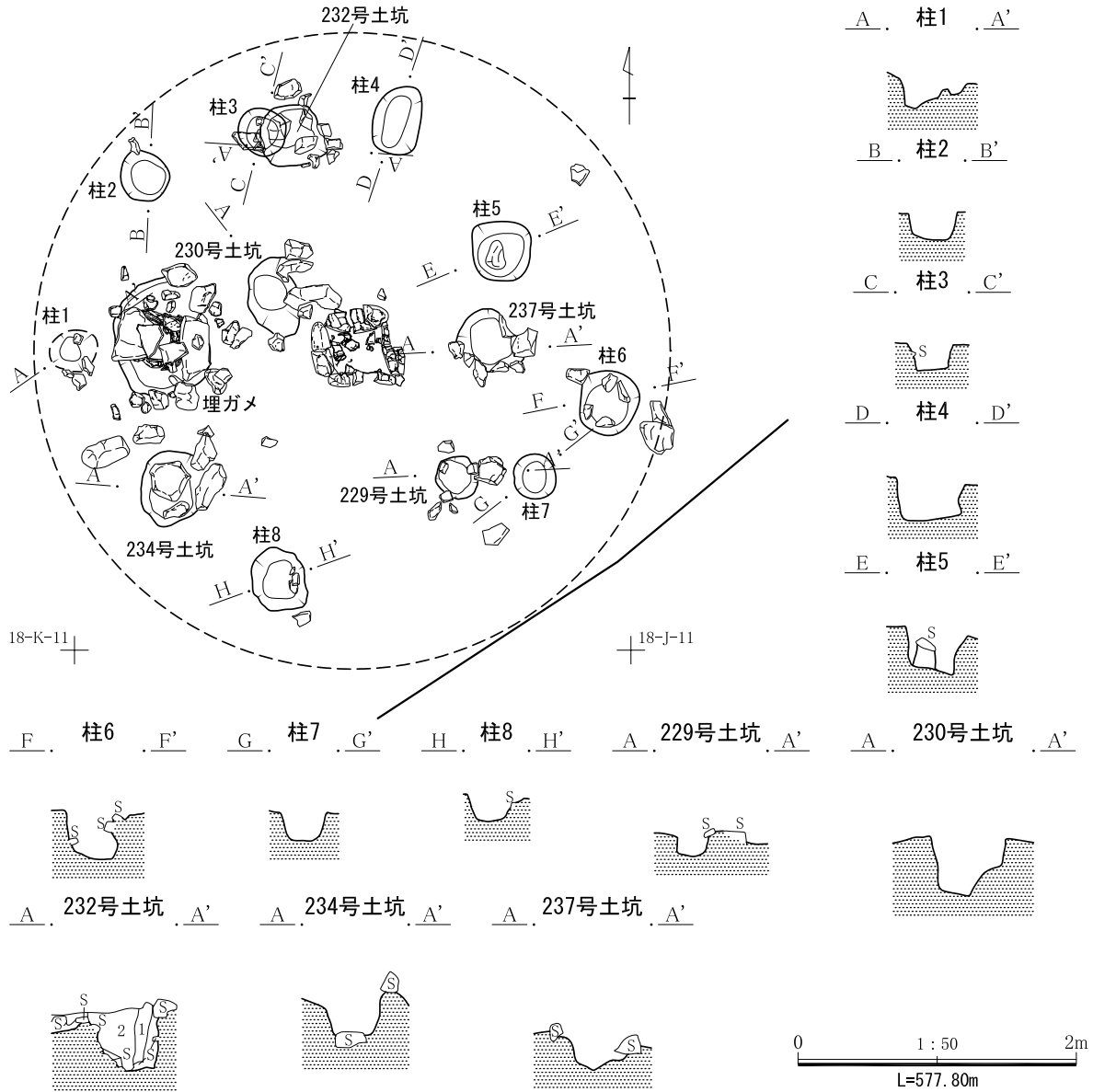
ここで報告する土坑の成果は、調査現場で確認できない状況で検討した成果であり、不確定な要素を

多分に含んでいる。また、報告する土坑以外にも、住居に関わる土坑の存在も考えられる。今後の整理作業の中でも、引き続き検討したい。

ここでは、住居と土坑を重ねた平面図、断面図を各住居ごとに提示し、住居と関わる土坑の概要を述べていく。土層注記などは改めて掲載しないが、ご了承ください。



第226図 18区 8号住居・30号住居 (16号土坑)



第227図 18区24号住居 (229・230・232・234・237号土坑)

18区8号住居

位置 X-23

遺構 北側を7号住居で失う。形状は不明瞭だが、直径は7mほどか。ほぼ中央に、大形の扁平な礫4石を用いた石囲炉を持つ。南東壁付近の1ヵ所で埋甕も検出した。壁、柱穴は検出できなかった。詳細は、横壁中村遺跡第3集を参照していただきたい。

30区16号土坑(埋甕)は、本住居に伴う埋甕ではないと判断し、新たに30号住居を認定した。

時期は加曽利E3式中段階。

18区30号住居 (16号土坑)

位置 X-23

遺構 8号住居の埋甕と考えられていた16号土坑を、住居の炉として考え、新たに18区30号住居を認定した。直径5mほどか。柱穴、壁面は不詳。

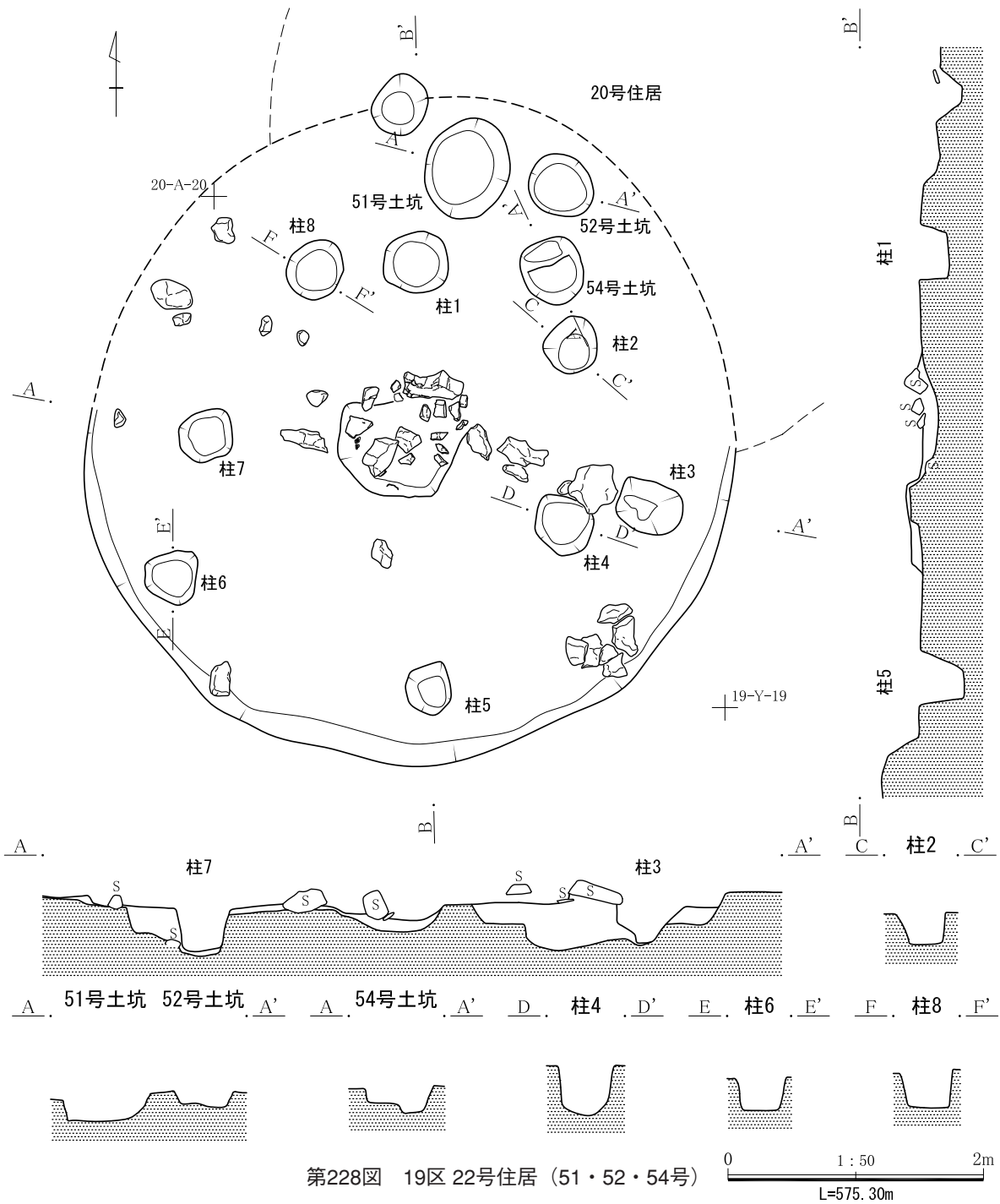
16号土坑に見られる縄文土器は、横壁中村遺跡第3集に掲載されているので参照していただきたい。

時期は加曽利E3式期。

18区24号住居 (229・230・232・234・237号土坑)

位置 J-11

遺構 全体の形状は不明瞭だが、直径4.4mのや



第228図 19区 22号住居 (51・52・54号)

や不整の円形を呈する住居だと思われる。中央に扁平な礫4石を用いた石囲炉を持つ。炉西側には埋甕も検出。柱穴は8基検出された。壁、周溝は検出できなかった。詳細は横壁中村遺跡第4集を参照していただきたい。

時期は加曾利E3式期。

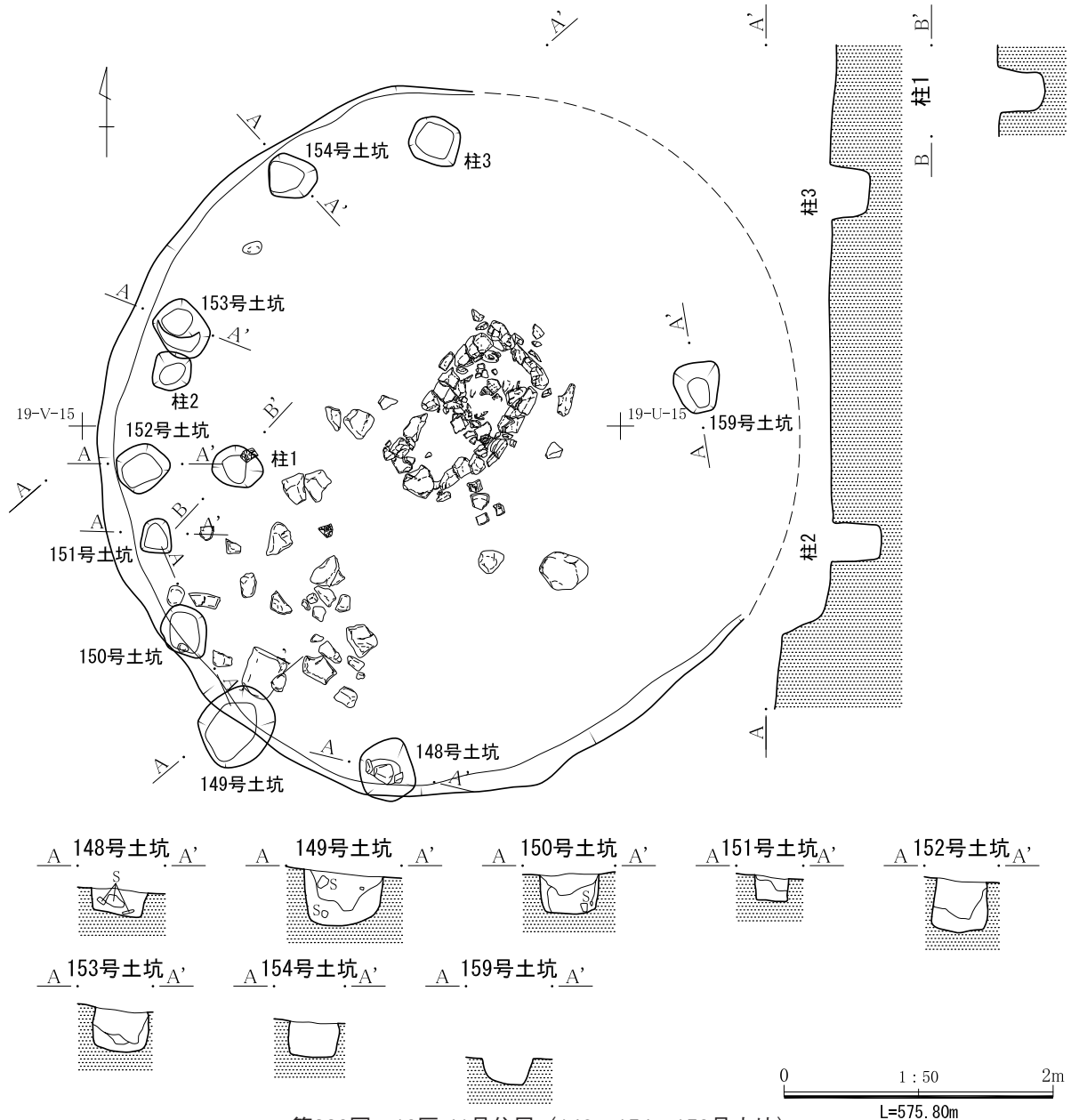
229・230・232・234・237号土坑は、住居柱

穴の可能性が考えられる。232号土坑は柱3の掘り直しか。230号土坑は住居中央に近く、柱穴以外の可能性も考えられる。

19区22号住居 (51・52・54号土坑)

位置 Y-19

遺構 北半は削平されているが、直径5.1mほど



第229図 19区41号住居 (148~154・159号土坑)

の円形を呈する住居だと思われる。住居ほぼ中央に、扁平な礫を用いた石囲炉を持つ。壁高は、残存状況の良い場所で20cm。柱穴は8基検出された。詳細は、横壁中村遺跡第3集を参照していただきたい。

時期は加曽利E3式中段階。

51・52・54号土坑は、住居柱穴の可能性が考えられる。

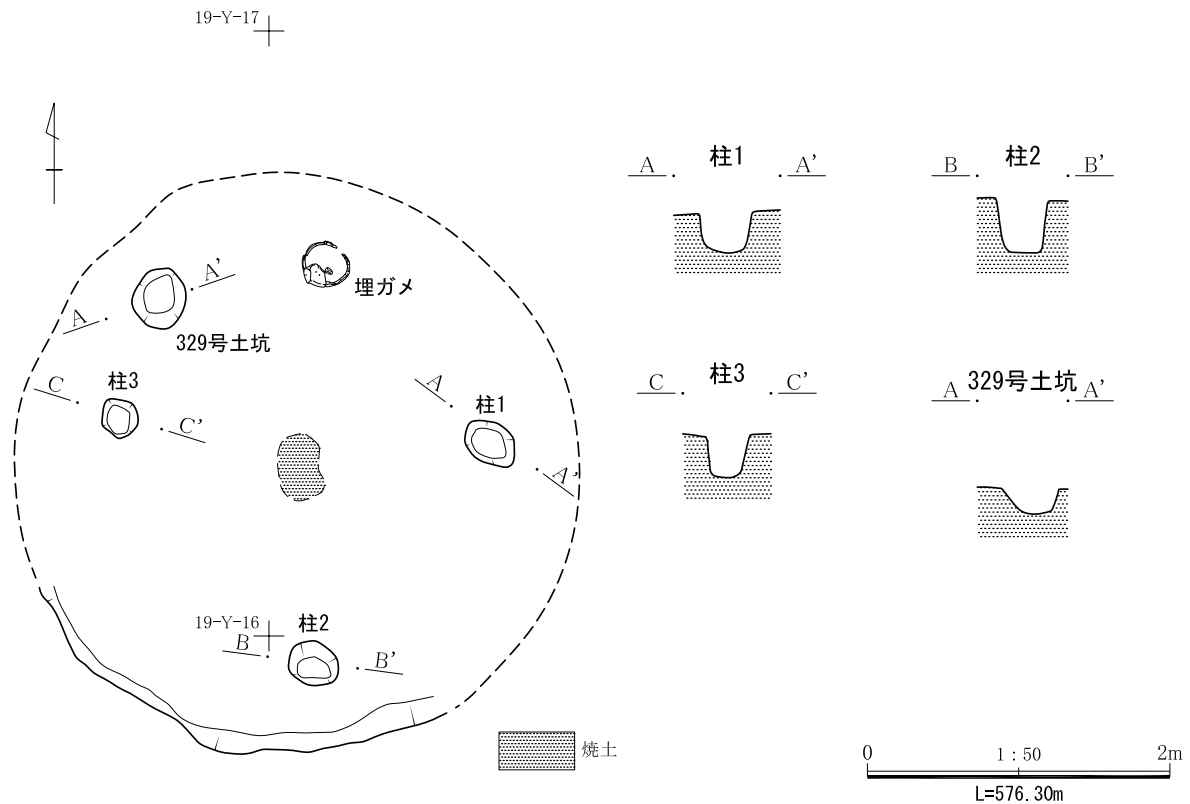
19区41号住居 (148~154・159号土坑)

位置 U-15

遺構 直径5.1mほどの円形を呈する。傾斜地に立地。住居ほぼ中央に扁平な円礫を用いた石囲炉を持つ。壁高は残存状況の良い場所で35cm。柱穴3基が検出された。詳細は、横壁中村遺跡第3集を参照していただきたい。

時期は加曽利E2式期併行段階。

148~154・159号土坑は、住居柱穴の可能性が考えられる。住居範囲も、やや広がるか。



第230図 19区 51号住居 (329号土坑)

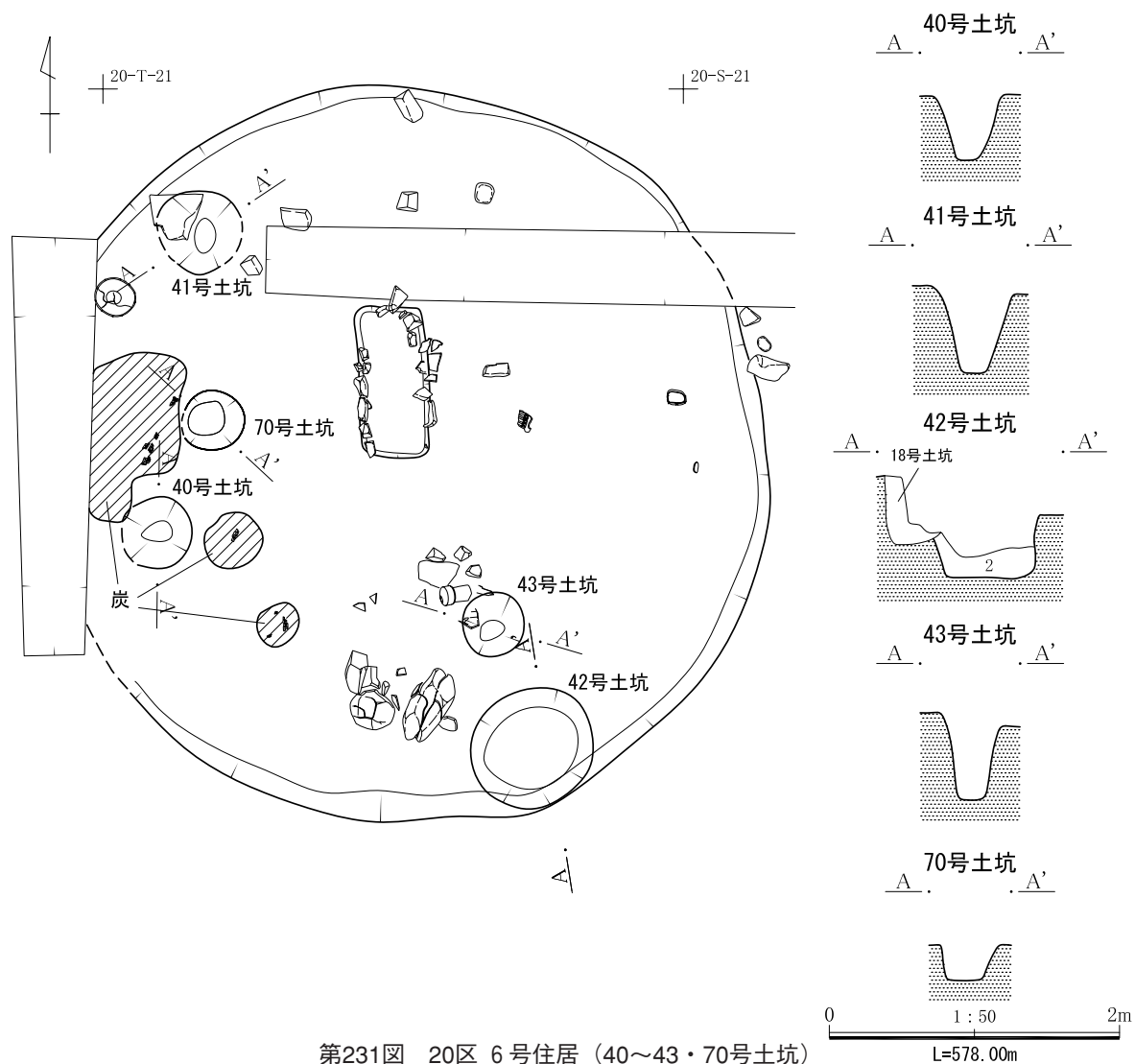
19区51号住居 (329号土坑)

位置 Y-16

遺構 焼土と柱穴が検出されたことから住居と認定。直径3.9mほどの円形を呈する住居だと思われる。中央で確認できた焼土が炉の痕跡と思われる。推定される北壁付近で埋甕を検出した。壁高は残存状況の良い場所で25cm。詳細は、横壁中村遺跡第3集を参照していただきたい。

時期は加曽利E3式期か。

329号土坑は、住居柱穴の可能性が考えられる。



20区 6号住居 (40~43・70号土坑)

位置 S-20

遺構 覆土中に多量の礫と土器を含む。長軸5.05m、短軸4.9mのほぼ円形を呈する。中央よりやや北側に、長方形の石囲炉を持つ。柱穴は確認できない。詳細は、横壁中村遺跡第2集を参照していただきたい。

時期は加曽利E 2式期新段階。

40~43・70号土坑は、住居柱穴の可能性が考えられる。但し、42号土坑については、6号住居に重複する18号住居の炉になる可能性も考えられる。

20区12号住居 (67・77号土坑)

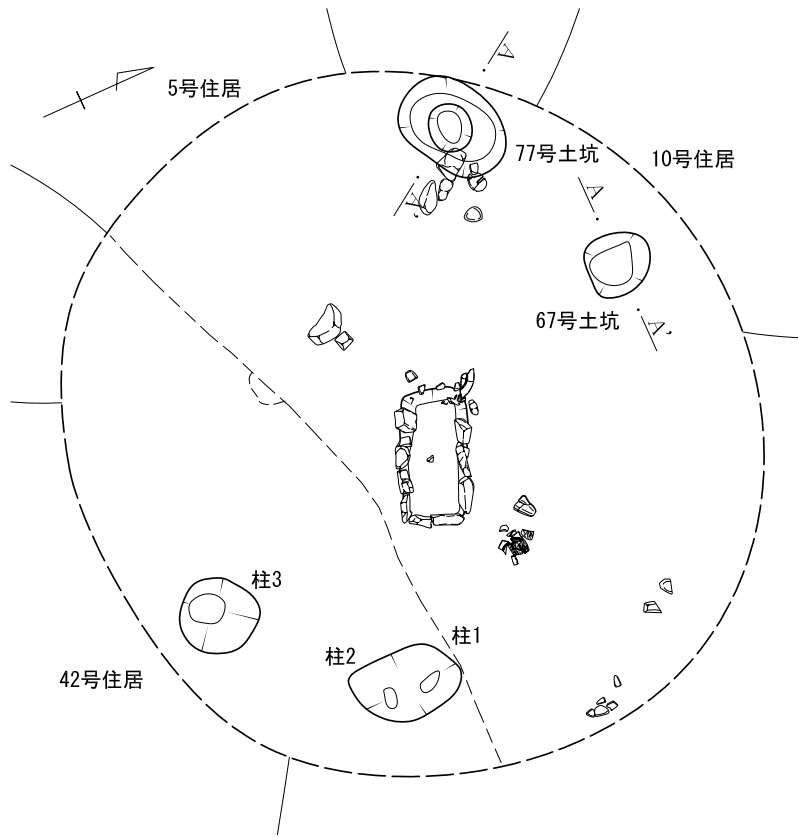
位置 Q-18

遺構 遺物出土状況から、直径4.5~4.7mほどの円形を呈する住居と思われる。ほぼ中央に、長方形石囲炉を持つ。柱穴は3本検出された。明確な壁は確認できない。詳細は、横壁中村遺跡第2集を参照していただきたい。

時期は加曽利E 1式期新段階。

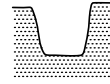
67・77号土坑は、住居柱穴の可能性が考えられる。

1 特筆すべき土坑

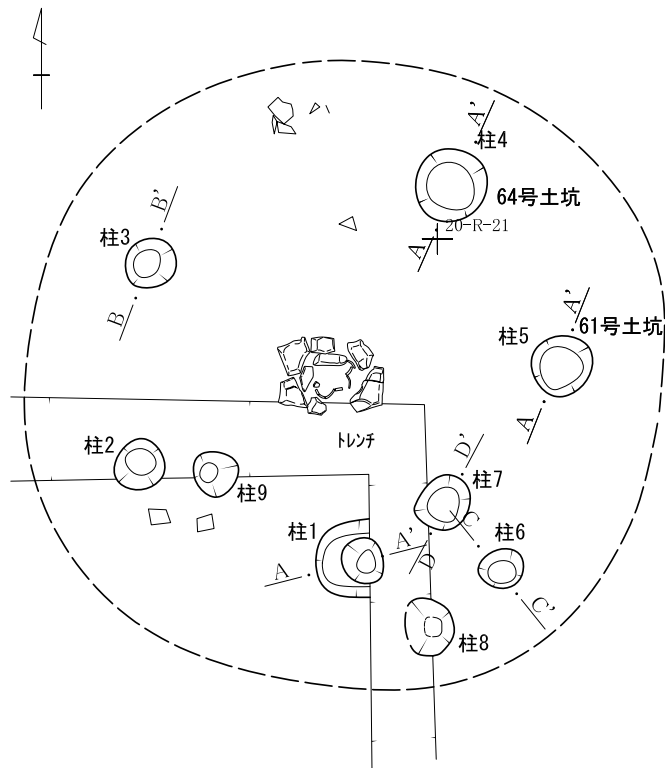
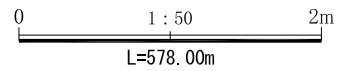
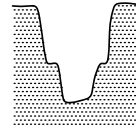


20区 12号住居 (67・77号土坑)

67号土坑
A. . A'



77号土坑
A. . A'



20区 21号住居 (61・64号土坑)

柱1
A. . A'



柱3
B. . B'



柱6
C. . C'



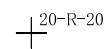
柱7
D. . D'



61号土坑
A. . A'

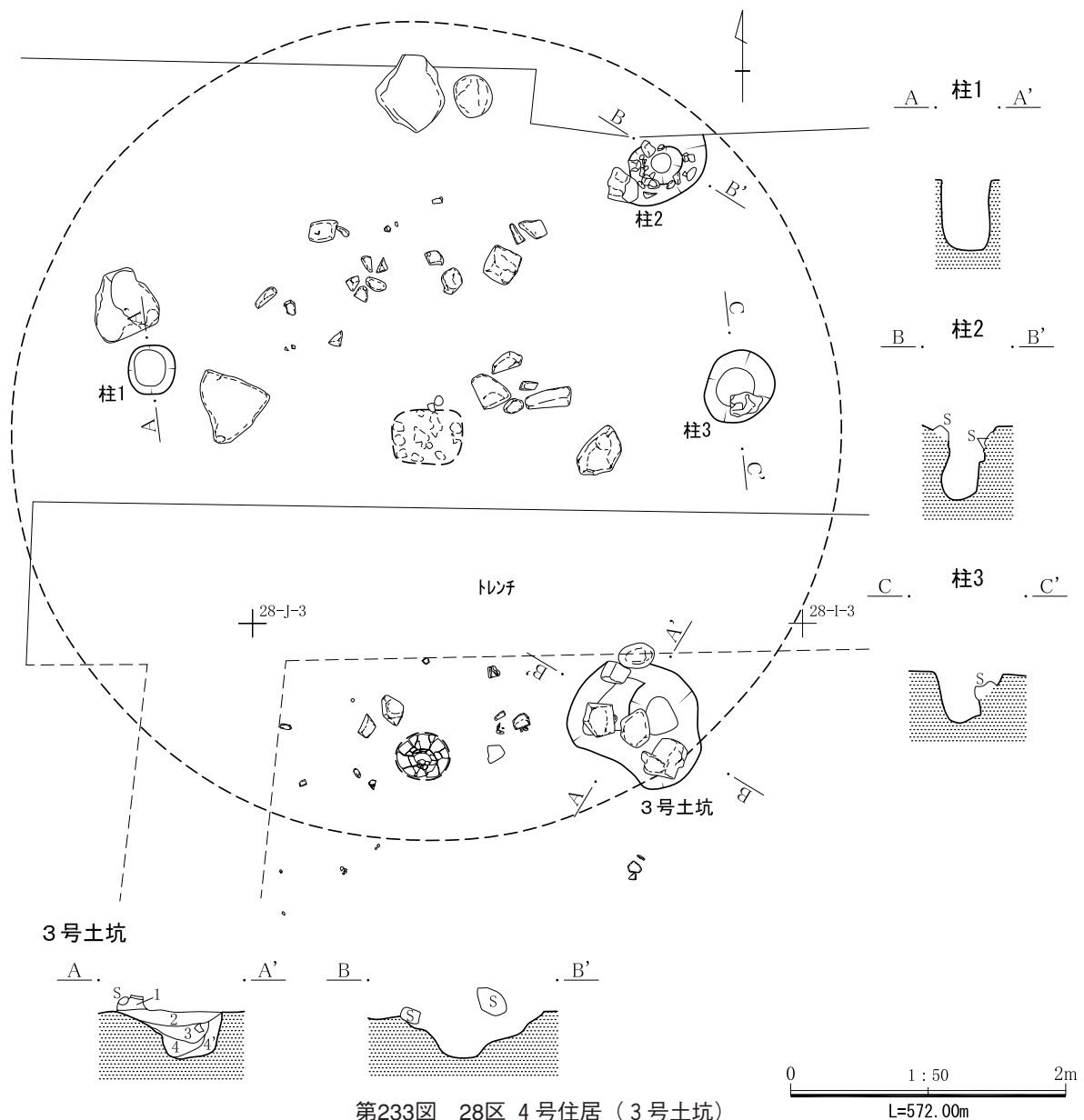


64号土坑
A. . A'



第232図 20区 12号住居 (67・77号土坑)・21号住居 (61・64号土坑)

L=577.10m



第233図 28区 4号住居 (3号土坑)

20区21号住居 (61・64号土坑)

位置 R-20

遺構 直径4.1mほどの円形を呈する住居だと思われる。土器埋設円形石囲炉を持つ。柱穴は9本検出された。詳細は、横壁中村遺跡第2集を参照していただきたい。

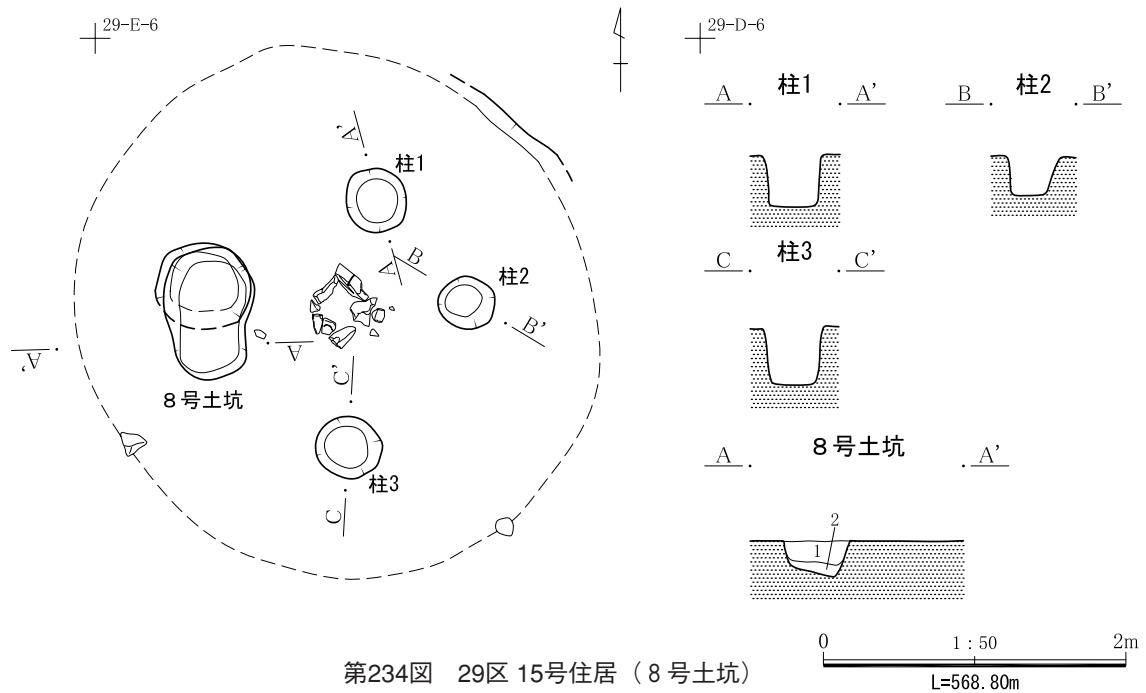
時期は加曽利E 3式期中段階。

61・64号土坑は、住居柱穴の可能性が考えられる。

28区 4号住居 (3号土坑)

位置 I-3

遺構 形状は不明瞭であるが、直径6mほどの円形を呈するものと思われる。中央で焼土の集中が確認され、これが炉に相当すると思われる。柱穴は3基検出された。炉の南2.5mには埋甕を伴う。壁、周溝は確認できない。詳細は、横壁中村遺跡第4集を参照していただきたい。



時期は加曽利E3式期。

3号土坑は、住居柱穴の可能性が考えられる。

29区15号住居 (8号土坑)

位置 D-15

遺構 推定直径3.5mほどの円形を呈する住居だと思われる。住居中央に、板状の礫を用いた石囲炉を持つ。壁高は残存状況の良い場所で18cm。柱穴は4基検出された。詳細は、横壁中村遺跡第3集を参照していただきたい。

時期は縄文時代中期。

8号土坑は、住居柱穴の可能性が考えられる。

横壁中村遺跡土坑出土獣骨

植崎修一郎

はじめに

横壁中村遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町に所在する。今回報告する土坑は、八ッ場ダム建設に伴う発掘調査で、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団により、平成8(1996)年から同16(2004)年まで実施された。

本遺跡では、住居及び土坑から主に縄文時代の焼骨(獣骨)が多数検出されているが、今回は土坑出土獣骨を報告する。これらの土坑は、18区・19区・20区・29区・30区から検出されているが、土坑出土焼骨は1cm以下の破片がほとんどであるため、そのほとんどが種及び部位の同定が不可能である。

以下に、同定可能な土坑出土獣骨を報告する。

1. 20区13号土坑出土獣骨 [中世]

(1) 獣骨の出土状況：獣骨は、長径約85cm・短径約55cmの長方形土坑の中央から出土している。



写真1. 20区13号土坑出土馬歯 [頬側面観]

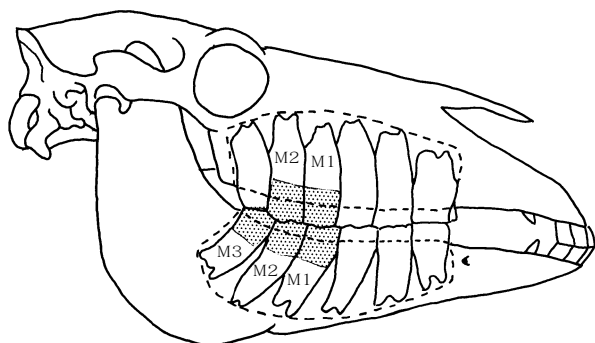


図1. 20区13号土坑出土馬歯出土部位図

(2) 獣骨の種：本獣骨の種は、同定の結果、ウマ(*Equus caballus*)であると推定される。

(3) 獣骨の出土部位：ウマの上下臼歯である。

(4) 獣骨の個体数：出土歯には重複部位が認められないため、個体数は1個体であると推定される。

(5) 獣骨の性別：ウマの場合、性別は犬歯の有無及び寛骨の形態で可能である。今回、このどちらも検出されていないため、性別は不明である。

(6) 獣骨の死亡年齢：ウマの上下臼歯を観察すると、咬耗が認められない状態である。また、歯根も完成していない状態である。しかしながら、臼歯は咬合した状態であるので、死亡年齢は約3.5歳であると推定される。

2. 20区230号土坑出土獣骨 [中近世]

(1) 獣骨の出土状況：獣骨は、長径約80cm・短径約42cm・深さ約16cmの土坑の東側から出土している。しかしながら、本土坑の西側は検出できなかったため全容は不明である。

(2) 獣骨の種：本獣骨の種は、同定の結果、ニホンジカ(*Cervus nippon*)であると推定される。

(3) 獣骨の出土部位：ニホンジカの下顎骨右で、P4・M1・M2・M3が植立した状態である。

(4) 獣骨の個体数：出土部位には重複部位が認められないため、個体数は1個体であると推定される。

(5) 獣骨の性別：シカの場合、雌雄は角の有無で判定できるが、今回、角が出土していないため性別は不明である。

(6) 獣骨の死亡年齢：歯の咬耗度を、大泰司(1980)の図で参照すると、M1及びM2は、どちらも2の状態であった。M3は、一部破損しているため確認できない。これらにより、死亡年齢は、約8.5歳であると推定される。しかしながら、この歯の咬耗度は地域や食物により異なり、さらに、オスの方がメスよりも咬耗の度合いが速いことが知られているので、目安にしかない(高槻、1998)。



写真 2. 20区230号土坑出土ニホンジカの右下顎歯
[上: 頬側面観, 下: 咬合面観]

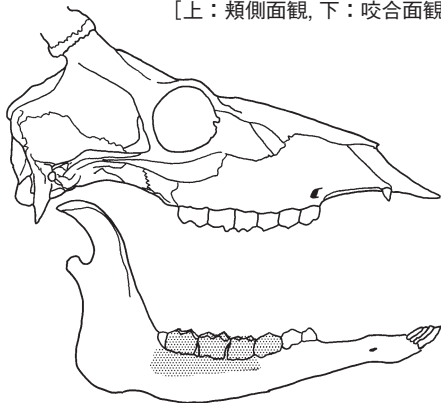


図 2. 20区230号土坑出土ニホンジカの右下顎歯
出土部位図 (松井, 2006を改変)

3. 20区382号土坑出土獣骨 [縄文時代]

- (1) 獣骨の出土状況: 獣骨は、長軸約225cm・短軸約140cmの楕円形土坑から出土している。
- (2) 獣骨の種: 本獣骨の種は、同定の結果ニホンイノシシ (*Sus scrofa*) であると推定される。
- (3) 獣骨の出土部位: イノシシの下顎骨左下顎頭の破片である。獣骨は白色を呈し、焼かれた状態である。恐らく、約900℃以上の被熱を受けたと推定される。また、亀裂が認められるため、白骨化したものではなく、死体の状態で焼いたと推定される。
- (4) 獣骨の個体数: 最小個体数は、1個体である。
- (5) 獣骨の性別: 下顎頭のみでは、性別の判定は困難であるため、獣骨の性別は不明である。
- (6) 獣骨の死亡年齢: 下顎頭のみであるので、死亡年齢は不明である。しかしながら、成獣であると推定される。



写真 3. 20区382号土坑出土ニホンイノシシの左下顎頭
[頬側面観]

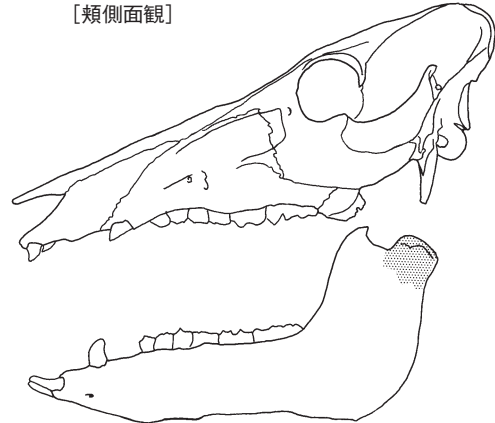


図 3. 20区382号土坑出土ニホンイノシシの左下顎頭出土
部位図 (松井, 2006を改変)

4. 29区3号土坑出土獣骨 [縄文時代]

- (1) 獣骨の出土状況: 獣骨は、長軸約125cm・短軸約65cmの楕円形土坑から出土している。
- (2) 獣骨の種: 本獣骨の種は、同定の結果、ニホンジカ (*Cervus nippon*) とニホンイノシシ (*Sus scrofa*) であると推定される。
- (3) 獣骨の出土部位
 - ①ニホンジカ: ニホンジカの右上腕骨遠位端片・右橈骨近位端片・右大腿骨遠位端片が認められた。
 - ②ニホンイノシシ: ニホンイノシシの左頭頂骨片が認められた。
- (4) 獣骨の個体数
 - ①ニホンジカ: 最小個体数は、2個体である。
 - ②ニホンイノシシ: 最小個体数は、1個体である。

第4章 調査の成果とまとめ

(5) 獣骨の性別

①ニホンジカ：ニホンジカの場合、角の有無で性別推定が可能であるが、今回はその部位が出土していないため、性別は不明である。

②ニホンイノシシ：ニホンイノシシの場合、変異が大きいため、今回は性別は不明である。

(6) 獣骨の死亡年齢

①ニホンジカ：上腕骨及び橈骨は、破損しているため、骨端線の癒合が完了しているかどうかは確認できなかった。恐らく、成獣であると推定される。しかしながら、大腿骨は骨端線が明らかに癒合していない状態である。したがって、死亡年齢は約3歳以下の若年個体であると推定される。

②ニホンイノシシ：頭頂骨片の冠状縫合は癒合していない状態である。したがって、死亡年齢は約3歳以下の若年個体であると推定される。

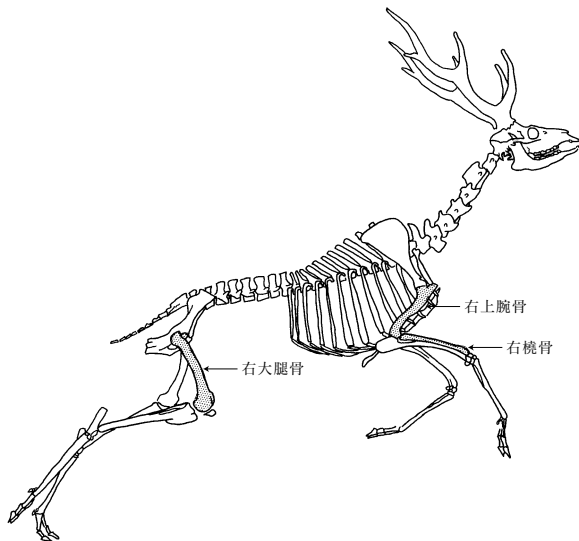


図4. 29区3号土坑出土ニホンジカの全身骨格部位図
(八谷・大泰司, 1994を改変)



写真4. 29区3号土坑出土ニホンジカの右上腕骨遠位端



写真5. 29区3号土坑出土ニホンジカの右橈骨近位端



写真6. 29区3号土坑出土ニホンジカの右大腿骨遠位端

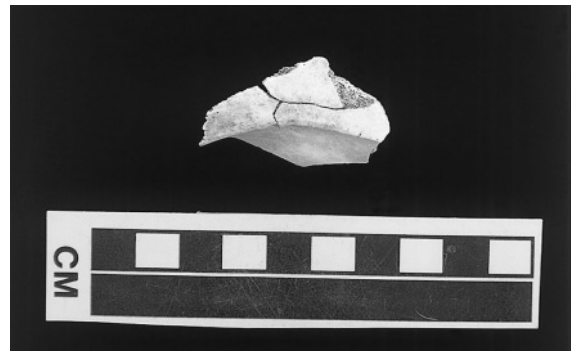


写真7. 29区3号土坑出土ニホンイノシシの左頭頂骨

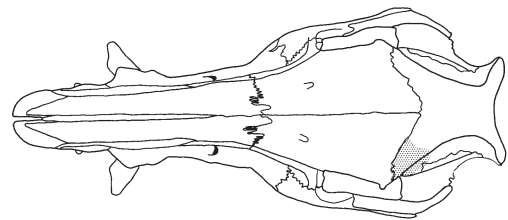


図5. 29区3号土坑出土ニホンイノシシの
頭蓋骨出土部位図 (松井, 2006を改変)

5. 29区33号土坑出土獣骨 [縄文時代]

同一個体と推定される、ニホンジカ (*Cervus nippon*) の脊椎骨の焼骨が数点検出されている。椎頭部は、まだ癒合が完了していないので、約3歳以下であると推定される。獣骨は白色を呈しており、亀裂・歪み・捻れが認められるため、死体の状態で約900℃以上の被熱を受けたと推定される。

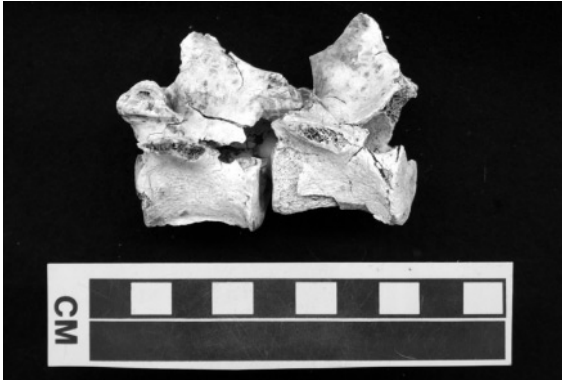


写真 8. 29区33号土坑出土ニホンジカの脊椎骨

6. 30区18号土坑出土獣骨 [縄文時代]

ニホンイノシシ (*Sus scrofa*) の中手骨の焼骨が同定された。頭部は、まだ癒合が完了していないので、約3歳以下であると推定される。白色を呈しているため、約900℃以上の被熱を受けたと推定される。

まとめ

横壁中村遺跡の土坑より、馬・ニホンジカ・ニホンイノシシを中心とした獣骨が出土した。この内、20区382号土坑・29区3号土坑及び33号土坑・30区18号土坑からは、縄文時代後晩期のニホンジカやニホンイノシシの焼骨が出土している。

縄文時代後晩期の東日本の遺跡からは、イノシシ及びシカを中心とした獣骨の焼骨が出土することが知られている。これらの事例として、道平遺跡 [福島県] (茂原他, 1983)・乙女不動原北浦遺跡 [栃木県] (茂原他, 1982)・元屋敷遺跡 [新潟県] (富岡・浅利, 2002)・郷土遺跡 [長野県] (金子, 1990b)・円光房遺跡 [長野県] (金子, 1990a)・金生遺跡 [山梨県] (金子, 1989)・原ヶ谷戸遺跡 [埼玉県] (宮崎, 1993)・なすな原遺跡 [東京都] (金子, 1984) 等がある。

群馬県においては、千網谷戸遺跡 [桐生市] (宮崎, 1978)・矢島遺跡 [明和町] (宮崎, 1991)・矢瀬遺跡 [みなかみ町] (宮崎, 2005) 等の遺跡が有名である。

これらの解釈として、再葬 (阿部, 2004)・火と浄め (金子, 1984)・狩猟儀礼 (新津, 1985)・骨髄食と住居火災 (宮崎, 1980) が考えられている。縄文後晩期は、気候変動に伴い、遺跡数及び人口の減少がもたらされた時代であると考えられている。獣骨に成獣が少なく、幼獣が多いことは、狩猟圧に伴い、幼獣まで狩猟しなければならなかったのか、あるいは、儀礼のために幼獣をわざわざ選択したのかのどちらかであると推定される。

謝辞

本遺跡出土獣骨に関する考古学的情報を与えていただいた群埋文の黒澤照弘氏に感謝いたします。

引用文献 [著者名のABC順]

- 阿部友寿 2004 遺構更新における骨類の出土例, 「古代」, (116) : 19-42
- 八谷 昇・大泰司紀之 1994 『骨格標本作成法』, 北海道大学図書刊行会
- 金子浩昌 1984 第4章. 動植物遺存体の分析・調査, 「なすな原遺跡」, なすな原遺跡調査会, p.580-605.
- 金子浩昌 1989 第VI章. 金生遺跡出土の獣骨, 「金生遺跡II」, 山梨県教育委員会, p.222-242.
- 金子浩昌 1990a 長野県小諸市郷土遺跡出土の脊椎動物遺体, 「円光房遺跡」, 徳倉町教育委員会, p.185-204.
- 金子浩昌 1990b 長野県小諸市郷土遺跡出土の脊椎動物遺体, 「」, p.402-412.
- 松井 章 2006 『動物考古学の手引き』, 奈文研
- 宮崎重雄 1978 V. 群馬県桐生市千網谷戸遺跡星野昭司宅内1号住居跡出土の獣骨類, 「千網谷戸遺跡発掘調査報告書」, 千網谷戸遺跡発掘調査会, p.125-134.
- 宮崎重雄 1980 千網谷戸遺跡出土の獣骨類について, 「桐生史苑」, p.27-36.
- 宮崎重雄 1991 V. 矢島遺跡出土の焼獣骨類について, 「矢島遺跡発掘報告書」, 明和村教育委員会, p.44-48.
- 宮崎重雄 1993 2. 原ヶ谷戸遺跡出土の獣骨について, 「原ヶ谷戸・滝下」, 埼玉県埋蔵文化財調査事業団, p.351-358
- 宮崎重雄 2005 矢瀬遺跡出土の獣骨について, 「上組北部遺跡群II」, 月夜野町教育委員会, p.265-268.
- 新津 健 1985 『縄文時代後晩期における焼けた獣骨について』, 『日本史の黎明』, 六興出版, p.125-153.
- 茂原信生・小野寺 覚・桜井秀雄 1982 第10章 乙女不動原北浦遺跡出土の哺乳動物遺体について, 「乙女不動原北浦遺跡」, 小山市教育委員会, p.433-436.
- 茂原信生・馬場悠男・芹澤雅夫・小野寺 覚・江藤盛治 1983 第4編 道平遺跡出土の獣骨について, 「道平遺跡の研究」, 福島県大熊町教育委員会, p.212-215.
- 高槻成紀 1998 『歯から読み取るシカの一生』, 岩波書店
- 富岡直人・浅利洋美 2002 10. 元屋敷遺跡出土動物遺存体の分析, 「元屋敷遺跡II」, 朝日村教育委員会, p.334-340.

第4章 調査の成果とまとめ

3 まとめ

ここでは、本報告書を纏める中で得られた成果や課題について述べていく。

横壁中村遺跡は縄文時代中期後半から後期前半を中心とする大規模集落である。今回報告する土坑も、半数以上は縄文時代に比定された。また、多数の縄文時代の土坑の中には、柱穴や墓坑、埋設土器などの可能性があるものも確認できた。これら、遺構検討の結果得られた成果は、横壁中村遺跡における縄文時代の集落構成を考える上でも重要な成果であろう。反面、本来現場で検証すべき遺構の課題について検討した結果であるため、確認する術は少なく、不確定な要素を多分に含んでいる。未整理の遺構も数多く残されている状況を考えると、ほかの遺構と土坑との関係については、今後も検討すべき課題と言える。

縄文時代に比定された土坑では、柱穴となるだろう土坑も数多くあった。それら柱穴の中から、新たに縄文時代の掘立柱建物1棟を認定することができた。ほかにも土坑間での遺物接合関係が確認でき、今後さらに掘立柱建物や柵列の様な存在が明らかになるかも知れない。住居に関連するだろう土坑についても89基確認できた。しかし、未整理の住居も多数あり、土坑一覧表に記載した内容が、今後の検討の結果変更となることも十分考えられる。30区13号土坑では軽石層を検出した。1～2mmの軽石層の下に5mmほどの灰白色アッシュを確認している。軽石層下からは、加曾利E3式土器の出土が確認されるなど興味深い遺構である。

縄文時代の遺物には、吾妻地域と長野県や新潟県地域との結びつきや、盛んに交流が行われていた本地域の様相を示すものが数多い。また、特殊な縄文土器も出土している。20区551号土坑で出土した壺型土器（No1・2）は、焼成前に肩部付近で切断し、その後焼成した縄文後期の土器である。東北北部に類例はあるが、明らかに成形後に切断している例は関東では珍しく数例のみである。

本遺跡における中世以降の様相も、少しずつ明ら

かになってきている。19区中央には、新たな掘立柱建物が2棟認定でき、竪穴遺構や特殊な土坑とともに、本遺跡における多様な中世の様相を示している。中世以降の本遺跡を語る上でも重要な成果と言えるだろう。

今回報告する土坑の中でも、20区13号土坑、19区156号土坑は特徴的な土坑である。20区13号土坑は中世の館跡に隣接する位置で検出され、馬歯、小型の土師器皿（かわらけ）、内耳土器と思われる底部片の転用品が出土した。馬歯の出土状況から、土坑内にウマの頭部が埋められていた可能性も考えられる。底部片を台形状に成形した転用品は、用途も含め不詳。不明瞭な部分を多分に含む土坑だが、呪術的なことが行われていた可能性が考えられる。また、小型の土師器皿は、内耳土器との共伴関係から時期を比定できるかもしれない。判然としない吾妻地域の中世在地土器編年に資するものと考えている。

19区156号土坑では、寛永通宝354枚に混じり明銭や北宋銭が8枚確認できた。近世においても、渡来銭が寛永通寶と同様に、一文銭として数%流通していたことを示す事例と言える。ただし、出土した銭はすべて完形品に近く、さらに多くの渡来銭が流通していた可能性もあるだろう。また、渡来銭は、銭縞の端にはなく銭縞の中に混在していた。全体から見れば2%ほどと数も少なく不明瞭な部分は多いが、寛永通宝の中に明銭や北宋銭が隠され、銭縞の数あわせのように使用されていた可能性も考えられる。

中世では、20区45号土坑で古瀬戸後Ⅳ期古段階の縁釉小皿が1点出土している。今回報告する以外にも、中世瀬戸・美濃産陶器は十数点出土している。山間にある吾妻地域の交流は中世においても活発であったことが伺える。今回報告する遺物には、内耳土器と思われる土器片も数点ある。内耳部分が無く、小破片も多いため判然としないが、所謂「信濃型」の内耳土器の可能性があり、吾妻地域と長野県地域との結びつきや交流が、中世においても盛んであったことを示すものだと考えている。

遺物観察表(土器、陶磁器)

横壁中村遺跡18区 土坑

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm,()は推定値]	時期・備考
34図	1	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	単節L R縄文を地文とする磨消縄文。	加曾利E 3
34図	1	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	沈線文。単節R L縄文充填。	加曾利E 3
34図	2	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	単節L R縄文を地文とする磨消縄文。	加曾利E 3
34図	2	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	糸線文。	加曾利E 3
34図	2	3	深鉢	底部片	砂粒多。普通。明黄褐色。	外面文様不明。残存高8.2。底径8.5。	加曾利E 3
34図	3	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。普通。褐色。	横位隆線。	加曾利E 4
34図	3	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	弧状に垂下する隆線。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
34図	3	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節R L縄文充填。	加曾利E 4
34図	3	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	沈線文。単節R L縄文充填。	加曾利E 4
34図	3	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	縦位沈線。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
34図	12	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。雲母含む。良。にふい赤褐色。	無節L R縄文を地文とし磨消縄文。	加曾利E 3
34図	12	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。赤褐色。	3条の沈線による懸垂文。蛇行沈線文。弧状沈線充填。3と同一個体。	唐草文系新
34図	12	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。暗褐色。	3条の沈線による懸垂文。蛇行沈線文。弧状沈線充填。2と同一個体。	唐草文系新
35図	12	4	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にふい赤褐色。	弧状沈線。粗い研磨。6と同一個体。	堀之内1
35図	12	5	深鉢	口縁部片	粗砂粒多。良。にふい赤褐色。	頸部屈曲。橋状把手? (剥落)。刻みを伴う横位隆帯。	堀之内1 (越後系)
35図	12	6	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にふい赤褐色。	粗い研磨。4と同一個体。	堀之内1
35図	12	7	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	粗い研磨。	堀之内1
35図	12	8	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	横位沈線。	堀之内1
35図	12	9	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい赤褐色。	口縁やや屈曲。盲孔。	堀之内1
35図	12	10	深鉢	底部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	粗い研磨。	堀之内1
35図	12	11	土製口蓋	ほぼ完形	砂粒やや多。良。明赤褐色。	無文。全周打ち欠き成形。研磨無し。直径3.5。厚さ0.8。	不明
36図	13	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。暗褐色。	波状口縁。波頂部に沈線と盲孔を伴う環状突起。突起から連続するJ字状貼付文。刺突を伴う隆帯。	称名寺1
36図	13	2	深鉢	底部片	砂粒多。良。明赤褐色。	外面ナデ。底面網代痕。底径9.3。	後期
36図	13	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	粗い研磨。	後期
36図	14	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	横位隆線。無節L R縄文。	加曾利E 4
36図	14	2	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にふい褐色。	指頭圧痕を伴う隆帯。糸線文。	加曾利E 4
36図	14	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	縦位隆線。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
36図	14	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。無節L R縄文。	加曾利E 4
36図	14	5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。	加曾利E 4
36図	14	6	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
36図	14	7	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	単節L R縄文縦位施文。	加曾利E 4
36図	15	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	縦位隆線。	称名寺1
36図	15	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	沈線文。	称名寺1
36図	15	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	飾歯状工具による条線文。	称名寺1
36図	17	1	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	外面研磨。底径10.2。	加曾利E 4
37図	17	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	小突起。沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
37図	17	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	縦位沈線。単節R L縄文充填。4と同一個体。	加曾利E 4
37図	17	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	縦位沈線。単節L R縄文充填。3と同一個体。	加曾利E 4
37図	17	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	縦位隆線。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
37図	57	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	堀之内1
37図	57	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	飾歯状工具による条線文。	堀之内1
37図	60	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	貫通孔をもつ突起。竹管による凹形刺突。縄文原体不明。	堀之内1
37図	60	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。浅黄褐色。	沈線文。	堀之内1
37図	61	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黄褐色。	単節R L縄文を地文とし、3条の沈線による磨消縄文。2・3と同一個体。	加曾利E 3
37図	61	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	単節R L縄文を地文とし、3条の沈線による磨消縄文。1・3と同一個体。	加曾利E 3
37図	61	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	単節R L縄文を地文とし、3条の沈線による磨消縄文。1・2と同一個体。	加曾利E 3
37図	64	1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	無文。粗い研磨。	後期
37図	65	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明黄褐色。	波頂部橋状把手?。炭手状沈線。	称名寺1
37図	65	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐灰色。	波状口縁。波頂部から刻みを伴う隆帯垂下。	称名寺1
38図	65	3	鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	刻みを伴う横位隆帯。研磨。	称名寺1
37図	65	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	横位隆線。粗い研磨。	称名寺1
37図	65	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	波頂部突起。突起両側面に凹形粘土貼付。口縁との接続部に貫通孔。	加曾利E 4
37図	65	6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。極暗褐色。	横位連続刺突列。	後期
37図	65	7	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にふい褐色。	縦位弧状隆線。	称名寺1
38図	65	8	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。明黄褐色。	口縁内面後。沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺1
38図	65	9	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	口縁内面後。研磨。	称名寺1
38図	65	10	深鉢	口縁部片	粗砂粒多。良。褐色。	口縁内面後。波状口縁。突起有り(欠損)。無文。	称名寺1
38図	65	11	深鉢	口縁部片	砂粒多。普通。にふい黄褐色。	口縁内面後。無文。	称名寺1
38図	65	12	深鉢	口縁部片	粗砂粒多。良。黒褐色。	無節L R縄文縦位施文。口縁部の1段分の横位施文。	称名寺1
38図	65	13	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺1
38図	65	14	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	刻みを伴う縦位隆帯。沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺1
38図	65	15	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。赤褐色。	沈線文。刺突充填。	称名寺2
38図	65	16	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺1
38図	65	17	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	無文。粗い研磨。	称名寺1
38図	65	18	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	縦位弧状隆線。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
38図	65	19	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黄褐色。	沈線文。	称名寺2
38図	65	20	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺1
38図	65	21	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明褐色。	無文。粗い研磨。	後期
38図	65	22	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	無文。粗い研磨。	称名寺1
38図	65	23	深鉢	底部片	砂粒多。良。明赤褐色。	外面研磨。底面網代痕。底径8.4。	称名寺1
38図	66	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。極暗褐色。	隆帯による区画文。単節R L縄文。2と同一個体。	加曾利E 3
38図	66	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。極暗褐色。	単節R L縄文を地文とする磨消縄文。1と同一個体。	加曾利E 3
38図	66	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	単節L R縄文。	後期
38図	66	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	単節L R縄文。	称名寺1
38図	66	5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明黄褐色。	横位隆帯。単節L R縄文。	称名寺1
39図	68	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	隆帯による区画文。条線を地文とし磨消。	加曾利E 3
39図	68	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	沈線文。単節L R縄文。	称名寺1

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
39図	69	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	横位隆帯。単節LR縄文。	加曾利E3
39図	69	2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	無文。	称名寺1
39図	69	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	横位隆線。円環状貼付。	称名寺1
39図	69	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明黄褐色。	口縁屈曲。盲孔。	堀之内1
39図	69	5	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	突起。盲孔。沈線文。	堀之内1
39図	69	6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。オリブ褐色。	横位沈線。	堀之内1
39図	69	7	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
39図	69	8	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
39図	69	9	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。暗黄褐色。	沈線文。研磨。	堀之内1
39図	69	10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線文。	堀之内1
39図	69	11	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。刺突。	称名寺2
39図	69	12	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。	称名寺2
39図	69	13	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	燃系シ。	堀之内1
39図	69	14	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗灰黄褐色。	外面明瞭なナデ調整痕。	後期
39図	71	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	縦位隆線。	称名寺1
39図	71	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	横位隆線。縦横の沈線。	称名寺1
39図	72	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
39図	72	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
39図	72	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
39図	74	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	沈線文。単節LR縄文。	堀之内1
39図	74	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。研磨。	堀之内1
39図	75	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	刻みを伴う縦位隆線。	称名寺1
39図	75	2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	刺突を伴う縦位隆帯。沈線文。	称名寺1
39図	75	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	横位弧状隆線。研磨。	称名寺1
39図	75	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	隆線貼付。	称名寺1
39図	75	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	横位弧状隆線。	加曾利E4
39図	75	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	縦位隆線。	称名寺1
40図	75	7	ミニチュア	口縁部片	砂粒多。普通。にふい黄褐色。	円筒状。無文。口径5.4。8と同一個体。	称名寺1
40図	75	8	ミニチュア	胴部片	砂粒多。普通。にふい黄褐色。	円筒状。隆帯?。7と同一個体。	称名寺1
40図	75	9	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	無文。	称名寺1
40図	75	10	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文。	称名寺1
40図	75	11	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	横位隆線。13と同一個体。	称名寺1
40図	75	12	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁肥厚。粗い研磨。	称名寺1
40図	75	13	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	横位隆線。11と同一個体。	称名寺1
40図	75	14	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	横位隆線。	称名寺1
40図	82	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。灰褐色。	横位隆線。内外面ナデ。	称名寺1
40図	82	2	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	隆帯による文様。赤色塗彩による塗り分け有り。	称名寺1
40図	82	3	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	横位隆線。	称名寺1
40図	82	4	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
40図	82	5	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
40図	95	1	深鉢	口縁部片	粗砂粒多。良。明赤褐色。	口縁内屈。無文。	堀之内1
40図	95	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	縦位隆線。	堀之内1
40図	95	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	太い沈線。縄文原体不明。	堀之内1
40図	95	4	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。明赤褐色。	縦位隆線。	堀之内1
40図	95	5	土製円盤	完形	砂粒多。良。明黄褐色。	縦位隆線。単節LR縄文。全周内面側より打ち欠き成形。直径7.4。厚さ2.0。	加曾利E3
40図	97	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁短く屈曲。内外面研磨。	堀之内1
40図	97	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	縦位隆線。単節LR縄文充填。	堀之内1
40図	97	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。無節LR縄文充填。	堀之内1
40図	97	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	頸部内面後。無文。外面粗い研磨。	堀之内1
40図	97	5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
40図	97	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	縦位隆線。	堀之内1
40図	97	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	沈線文。無節LR縄文充填。	堀之内1
40図	97	8	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。褐色。	単節LR縄文。	堀之内1
40図	97	9	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にふい黄褐色。	単節LR多条縄文を施文し研磨。	堀之内1
40図	97	10	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	外面ケズリ後粗い研磨。	堀之内1
41図	154	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	縦位隆線。単節LR縄文充填。	加曾利E3
41図	154	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい赤褐色。	縦位隆線により口縁部区画後。縦位隆線。単節LR縄文充填。	加曾利E3
41図	212	1	鉢	ほぼ完形	細砂粒多。良。暗褐色～にふい黄褐色。	口縁貫通孔のある突起1単位。胴部沈線による文様4単位。貼付文は1単位。刺突列。内外面研磨。底面網代痕。口径24.5。底径8.0。	堀之内2
41図	213	1	深鉢	ほぼ完形	砂粒少。良。黒褐色。	小形深鉢。口縁突起は正面は大形、他の2つは少形。3単位の沈線文。縄文LR充填。内外面研磨。光沢。底面網代痕。口径15.7。高さ17.4。底径6.3。	堀之内1
41図	213	2	鉢	ほぼ完形	砂粒多。良。褐色～黒褐色。	突起3単位。口縁短く屈曲。横位隆線1条。突起から刻みを伴う縦位隆帯垂下。8字貼付文。沈線による文様3単位。口縁部と内面研磨。光沢。底面網代痕。口径21.2。底径6.4。高さ11.7。	堀之内1
41図	214	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線による曲線文。	堀之内1
41図	215	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	単節LR縄文。	加曾利E
41図	215	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	横位隆線にて区画し縦位平行沈線。	曾利古
41図	228	1	深鉢	口縁部片	粗砂粒多。普通。明黄褐色。	頸部隆帯。胴部逆U字状沈線。腕手状沈線。単節LR縄文充填。	加曾利E3
41図	228	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆線貼付。縄文有無不明。	加曾利E4
41図	228	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	口縁肥厚。無文。内外面ナデ。	後期
42図	243	1	深鉢	口縁～胴部(25%)	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	指頭圧痕を伴う横位隆帯。外面炭化物付着。口径40.8。残存高20.6。	称名寺1
42図	258	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。普通。浅黄褐色。	横位隆線。条線文。	称名寺2
42図	258	2	土製円盤	完形	細砂粒多。良。にふい褐色。	無文。打ち欠き後全周研磨成形。直径4.4。厚さ1.0。	不明
42図	258	3	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	口縁屈曲。()状粘土貼付。沈線文。単節LR縄文充填。口径29.4。最大径30.2。残存高13.7。	称名寺2
42図	259	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	沈線文。	称名寺2
42図	259	2	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。褐色。	沈線文。縄文原体不明。	称名寺1
42図	264	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明褐色。	横位隆線。縦位隆線。交点円環状。	称名寺1
42図	264	2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。赤褐色。	横位隆線によりやや段状。	称名寺1
42図	264	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	横位隆線と隆帯。	称名寺1
42図	264	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	沈線文。	称名寺2
42図	264	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	沈線文。	称名寺2
42図	264	6	深鉢	底部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	底面粗い研磨。底径11.6。	後期

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm,()は推定値]	時期・備考
43回	266	1	浅鉢	口縁部片	細砂粒多。良。暗褐色。	内面、中央に貫通孔をもつ環状突起。沈線と盲孔を施す。外面研磨。	称名寺1
43回	266	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。灰褐色。	沈線文。単節R L 縄文。	堀之内1
43回	266	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。浅黄褐色。	指頭圧痕を伴う横位隆帯貼付。	称名寺2
43回	266	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	堀之内1
43回	276	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	幅広い横位隆帯。撚系 R 縦位施文し、縦位沈線による磨消縄文。	加曾利 E 2
43回	276	2	深鉢	胴部片(50%)	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	胴中位と下位に幅広い横位隆帯。撚系 R 施文後、縦位・横位・U 字状沈線を施文。	加曾利 E 1
43回	277	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	単節 R L 縄文を地文とし縦位沈線。	加曾利 E 3
43回	277	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁部は隆帯による区画文。斜位沈線充填。胴部は縦位沈線を地文とし蛇行沈線、横位沈線。	唐草文系新
43回	277	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	単節 R L 縄文を地文とし、3条の沈線による磨消縄文。蛇行懸垂文。4と同一個体。	加曾利 E 3
43回	277	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	単節 R L 縄文を地文とし、3条の沈線による磨消縄文。蛇行懸垂文。残存高15.0、3と同一個体。	加曾利 E 3
43回	279	1	深鉢	胴部～底部(70%)	砂粒多。良。にぶい褐色。	2条単位の沈線垂下(6単位)。単節 R L 縄文充填。	加曾利 E 3
43回	279	2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒褐色。	隆帯による区画文。内外面炭化物付着。	加曾利 E 3
43回	279	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	縦位沈線。斜位沈線充填。	唐草文系新
43回	279	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。灰黄色。	沈線文。単節 L R 縄文。	加曾利 E 4
43回	279	5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	単節 R L 縄文を地文とし、3条の沈線による磨消縄文。5~8同一個体。	加曾利 E 3
43回	279	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	単節 R L 縄文を地文とし、3条の沈線による磨消縄文。5~8同一個体。	加曾利 E 3
43回	279	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	単節 R L 縄文を地文とし、沈線による磨消縄文。蛇行懸垂文。5~8同一個体。	加曾利 E 3
43回	279	8	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	底面研磨。底径8.0、5~8同一個体。	加曾利 E 3
44回	280	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	波状口縁。隆帯による区画文。単節 R L 縄文。	加曾利 E 3
44回	280	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。極暗赤褐色。	突起有り(欠損)。太い凹線文。3と同一個体。	加曾利 E 3
44回	280	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	突起有り(欠損)。太い凹線文。2と同一個体。	加曾利 E 3
44回	280	4	深鉢	口縁部片	粗砂粒多。良。にぶい黄褐色。	口縁強い内湾。沈線による下向き弧線文。	加曾利 E 3
44回	280	5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	口縁沈線により無文帯。無節 L 縄文。	加曾利 E 3
44回	280	6	深鉢	口縁部片	細砂粒多。雲母含む。良。暗褐色。	口縁刺突列と幅広い沈線。単節 R L 縄文。	加曾利 E 3
44回	280	7	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	単節 R L 縄文による羽状縄文。	加曾利 E 3
44回	280	8	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。暗褐色。	縦位沈線。格子目状付加細充填。9・10と同一個体。	加曾利 E 3
44回	280	9	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。黒色。	格子目状付加細。8・10と同一個体。	加曾利 E 3
44回	280	10	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にぶい赤褐色。	縦位沈線。格子目状付加細充填。8・9と同一個体。	加曾利 E 3
44回	280	11	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線により口縁部区画。逆 U 字沈線。単節 L R 縄文充填。	加曾利 E 3
44回	280	12	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	単節 R L 縄文を地文とする磨消縄文。	加曾利 E 3
44回	280	13	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明黄褐色。	単節 R L 縄文を地文とし、3条の沈線による磨消縄文。	加曾利 E 3
44回	280	14	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。赤褐色。	2条単位の沈線垂下。無節 L 縄文充填。	加曾利 E 3
44回	280	15	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	縦位沈線。斜位沈線充填。	唐草文系新
44回	280	16	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗赤褐色	口縁肥厚。横位刺突列。	後期
44回	280	17	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	条線を地文とし3条の縦位沈線。18と同一個体。	加曾利 E 3
44回	280	18	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	条線を地文とし蛇行沈線文。17と同一個体。	加曾利 E 3
44回	280	19	浅鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	櫛歯状工具による条線文。	加曾利 E 3
44回	280	20	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線による弧線文。	堀之内1
44回	280	21	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	沈線。棒状文	堀之内1
44回	280	22	土製口蓋	完形	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線。単節 R L 縄文充填。全周研磨成形。直径2.8、厚さ0.9。	加曾利 E 3
44回	285	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。2と同一個体。	堀之内2
44回	285	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。1と同一個体。	堀之内2
44回	290	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	縦位沈線。単節 R L 縄文充填。	加曾利 E 3
44回	292	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。黒褐色。	波状口縁。3条の沈線垂下。単節 L R 縄文充填。	堀之内1
44回	292	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	刻みを伴う縦位隆帯貼付。	堀之内1
44回	292	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	縦位沈線。単節 R L 縄文？	堀之内1
44回	292	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	浅い沈線による曲線文。単節 L R 縄文。	堀之内1

横壁中村遺跡19区 土坑

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm,()は推定値]	時期・備考
66回	1	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明黄褐色。	口縁部屈曲。沈線と刻み。胴部沈線文。	堀之内1
66回	1	2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	外面粗いナデ。内面軽い研磨。	堀之内2
66回	1	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	外面粗いナデ。内面軽い研磨。	堀之内2
66回	2	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁部内削ぎ状。無文。内外面研磨。	堀之内2
66回	4	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。斜位沈線充填。	唐草文系新
66回	4	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	隆帯による渦文。斜位沈線充填。	唐草文系新
66回	4	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	縦位に隆帯を貼付。斜位沈線充填。	唐草文系新
66回	4	4	鉢	胴部片	細砂粒多。良。赤褐色。	無文。内外面研磨。	後期
66回	4	5	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。明褐色。	無文。外面ケズリ。	後期
66回	4	6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。暗褐色	波状口縁。波頂部の扇状突起。隆帯貼付。	高井東
66回	4	7	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	外面無文。口縁部内面に1条の凹線。	高井東
66回	4	8	深鉢	口縁部片	細砂粒。良。褐色。	口唇部刻み。内外面丁寧な研磨。	後期
66回	4	9	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	外面斜格子文。内面研磨。	高井東
66回	6	1	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	無文。内外面研磨。	加曾利 B
66回	6	2	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	無文。内外面研磨。	加曾利 B
66回	6	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	砂粒多。良。明黄褐色。	加曾利 B
66回	6	4	鉢	胴部片	細砂粒少。良。明黄褐色。	横位沈線。区切文。	加曾利 B 2
66回	6	5	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	横位羽状沈線。内面研磨。	加曾利 B 2
66回	6	6	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	横位羽状沈線。内面研磨。	加曾利 B 2
66回	7	1	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	綾杉状沈線文。	唐草文系新
66回	7	2	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	2条の縦位隆帯。綾杉状沈線文充填。	唐草文系新
66回	8	1	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。赤褐色。	半截竹管状工具による縦位波状文。	中期
66回	9	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	口縁部横位沈線により区画し無文帯。斜位沈線。	唐草文系新
66回	9	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	単節 R L 縄文を地文とし2条単位の縦位沈線による磨消縄文。	加曾利 E 3
66回	9	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	単節 L R 縄文を地文とし3条単位の縦位沈線。	加曾利 E 3
66回	9	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	縦位隆帯。	唐草文系新

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別 器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
66回	9	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	隆帯による文様。沈線充填。	唐草文系新
66回	9	6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	隆帯と沈線による区画文。沈線充填。	唐草文系新
66回	10	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。普通。にぶい褐色。	口縁内面後。隆帯貼付。刺突列。	唐草文系新
66回	10	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆帯貼付。沈線充填。	唐草文系新
66回	10	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆帯貼付。沈線充填。	唐草文系新
66回	10	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	隆帯貼付。斜位沈線充填。	唐草文系新
67回	10	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。沈線充填。	唐草文系新
67回	10	6	深鉢	底部片	細砂少。良。明赤褐色。	無節L縦位施文。内面・底面研磨。底径7.5。	中期
67回	11	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	隆帯による渦文。斜位沈線充填。	唐草文系
67回	23	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	幅広連続刺突文。	勝坂2
67回	23	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	隆帯と沈線による文様。	焼町
67回	23	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁内面後。横位隆帯。半截竹管による横位平行沈線。波状沈線文。4と同一個体。	曾利古
67回	23	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	半截竹管による横位平行沈線。波状沈線文。3と同一個体。	曾利古
67回	23	5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁内面肥厚。外面研磨？	称名寺1
67回	23	6	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	隆帯による区画文。斜位沈線と単節R L縄文充填。7と同一個体。	曾利古
67回	23	7	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	隆帯による区画文。斜位沈線と単節R L縄文充填。7と同一個体。6と同一個体。	曾利古
68回	25	1	深鉢	ほぼ成形	砂粒多。良。にぶい褐色。	正面に大突起。対向する面に中突起。左右面に小突起。口縁内面後。口縁部は半截竹管による横位沈線。交互刺突・弧状の区切り文を加える。頸部・胴部は燃系L縦位施文後。半截竹管により横位沈線・クランク状文。口径27.8。底径10.6。高さ47.7。	加曾利E1古
68回	25	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	縦位沈線。単節R L縄文？充填。	加曾利E3
68回	25	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	内外面粗い研磨。	中期
68回	25	4	深鉢	底部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	単節L R縄文。底面ナデ。底径14.0。	中期
67回	26	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	縦位沈線。単節L R縄文充填。蛇行沈線。	加曾利E3
67回	26	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	隆帯による渦文付懸垂文。斜位沈線充填。	唐草文系新
67回	26	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆帯による区画文。斜位沈線充填。交互刺突文。	唐草文系新
67回	26	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	縦位沈線。斜位沈線。	唐草文系新
67回	26	5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯による区画文。沈線充填。	唐草文系新
67回	26	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆帯と沈線による曲線文。沈線充填。	唐草文系新
67回	26	7	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	横位沈線。刻み列。	唐草文系新
67回	26	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆帯による渦文。沈線充填。	唐草文系新
67回	26	9	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	隆帯貼付。隆帯間刺突。斜位沈線充填。	唐草文系新
67回	26	10	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。黒褐色。	隆帯貼付。隆帯間刺突。斜位沈線充填。	唐草文系新
67回	26	11	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内湾。隆帯貼付。単節R L縄文？	唐草文系新
67回	26	12	深鉢	底部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	無文。底径(10.0)。	唐草文系新
69回	27	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	単節R L縄文を地文とし沈線文。	加曾利E1
69回	27	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	縦位沈線。単節R L縄文充填。	加曾利E3
69回	27	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E3
69回	27	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒色。	縦位隆線。単節L R縄文充填。	加曾利E4
69回	27	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	縦位沈線。単節R L縄文充填。	加曾利E4
69回	27	6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	斜位平行沈線。	曾利古
69回	27	7	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。黒褐色。	沈線文。櫛歯状工具による条線充填。	唐草文系古
69回	27	8	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	口縁内面後。横位沈線。単節L R縄文充填。	称名寺1
69回	27	9	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	刻みを伴う縦位隆帯。刺突列。	称名寺2
69回	27	10	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	口縁内面後。無文。研磨。	称名寺2
69回	27	11	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。	称名寺2
69回	27	12	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	単節L R縄文。	後期
69回	27	13	深鉢	底部片	細砂粒小。良。にぶい褐色。	無文。	後期
70回	28	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	単節R L縄文施文後に横位沈線。	加曾利E2
70回	28	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明褐色。	隆帯による区画文。	加曾利E3
70回	28	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	2条の隆帯垂下。斜位沈線充填。	唐草文系新
70回	28	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明褐色。	無文。	後期
70回	28	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	縦位沈線。縄文有無不明。	後期
70回	28	6	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	横位沈線。沈線間に凹形刺突列。単節L R縄文？	後期
70回	28	7	深鉢	底部片	粗砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	無文。底径8.6。	後期
70回	29	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	隆帯と沈線による曲線的な文様。	焼町
70回	29	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明褐色。	眼鏡状突起。隆帯と沈線による曲線的な文様。	焼町
70回	29	3	深鉢	胴部片	砂粒多。片岩含む。良。明褐色。	縦位隆帯。両脇に沈線。単節R L縄文。	加曾利E1
70回	29	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。	加曾利E4
70回	29	5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯による渦文。沈線充填。器面劣化。赤色塗彩不明。	唐草文系新
70回	29	6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁内面段差。無文。	称名寺
71回	29	7	深鉢	胴部片	砂粒少。良。灰褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。凹形刺突。	称名寺1
71回	29	8	鉢	口縁部片	細砂粒多。良。明褐色。	口縁部内面肥厚。内外面研磨。	堀之内1
71回	29	9	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線による三角形文。	堀之内2
71回	29	10	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	縦位沈線。	堀之内2
71回	29	11	鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	単節L R縄文横位施文。	堀之内2
71回	29	12	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線による曲線文。内面ナデ。	堀之内2
71回	30	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	口縁研磨。横位沈線。単節L R縄文。	堀之内2
71回	30	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	無文。粗い研磨。	後期
71回	30	3	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。褐色。	底部張り出す。外面研磨。底面研磨(網代残存)。	後期
71回	30	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	無文。ナデ調整後に粗い研磨。	中期
71回	30	5	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。明赤褐色。	2条単位の縦位隆線。横位隆線で連結。羽状沈線充填。	唐草文系新
71回	31	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	隆帯貼付。沈線充填。	唐草文系新
71回	31	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黄褐色。	沈線垂下。単節L R縄文充填。	加曾利E4
71回	31	3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	縦位沈線。単節R L縄文。	加曾利E3
71回	31	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。	唐草文系新
71回	31	5	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	隆帯による区画文。単節R L縄文充填。	加曾利E3
71回	31	6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。雲母含む。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節R L縄文。	加曾利E3
71回	32	1	深鉢	胴部片	砂粒多。片岩含む。良。明褐色。	横位沈線。	中期
71回	32	2	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。暗褐色。	隆帯による区画文。	唐草文系新
71回	33	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。縄文有無不明。	加曾利E4
71回	33	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。浅黄褐色。	沈線による逆U字文？。無節L縄文充填。	加曾利E4
71回	33	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節R L縄文？	加曾利E3
71回	33	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	2条単位の隆帯貼付。斜位沈線充填。	唐草文系新

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
71図	33	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	2条単位の隆帯による渦文。沈線充填。	唐草文系新
71図	34	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	縦位隆帯。縦横の沈線充填。	加曾利E 1
71図	34	2	深鉢	胴部片	砂粒多。片岩含む。良。明赤褐色。	刻みを伴う隆帯による区画文。区画内は半截竹管による平行沈線と刺突列。	勝坂3
71図	34	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。片岩含む。良。褐色。	刻みを伴う隆帯による文様。	勝坂3
72図	36	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	糸線文。	加曾利E 1
72図	36	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	襷系R縦位施文。隆帯貼付。	加曾利E 1
72図	36	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	縦位隆帯を貼付し。縦位隆帯。	加曾利E 1
72図	37	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	蛇行隆帯貼付。沈線充填。	唐草文系新
72図	37	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	単節R L縄文縦位施文。	加曾利E 3
72図	37	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	隆帯貼付。羽状沈線充填。	唐草文系新
72図	38	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	口縁部突起。隆帯と沈線による区画文。複節R L R縄文。	加曾利E 3
72図	38	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	縦位沈線。単節L R縄文。	加曾利E 3
72図	38	3	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	横位隆帯で口縁区画し。円形刺突列。	加曾利E 4
72図	38	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	波状口縁。沈線文。	加曾利E 4
72図	38	5	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	口縁に横位沈線。沈線文。	加曾利E 4
72図	38	6	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	器面劣化著しい。沈線文。	加曾利E 4
72図	38	7	深鉢	頸部片	細砂粒多。良。灰褐色。	縦位隆帯。無節L縄文。	加曾利E 4
72図	38	8	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	器面劣化。沈線文。縄文有無不明。	加曾利E 4
72図	38	9	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	横位隆帯。器面劣化。縄文有無不明。	加曾利E 4
72図	38	10	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。明黄褐色。にふい黄褐色。	横位隆帯と横位沈線で口縁区画。単節L R縄文。沈線文。	加曾利E 4
72図	38	11	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	縦位隆帯。単節R L縄文充填。	加曾利E 4
72図	38	12	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	半截竹管による縦位沈線。縦位羽状沈線。	曾利古
72図	38	13	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	波状口縁。沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
72図	38	14	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	刻みを伴う縦位隆帯。沈線文。	称名寺1
72図	38	15	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	口縁内面後。内外面研磨。	加曾利E 4
72図	38	16	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	口縁屈曲。突起有り(欠損)。突起部に弧線文。横位沈線。首孔。	堀之内2
72図	43	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	縦位沈線。単節R L縄文充填。	加曾利E 3
72図	43	2	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。明黄褐色。	横位隆帯。単節L R縄文? 充填。	加曾利E 4
72図	43	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	蛇行懸垂文。	唐草文系新
72図	43	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	縦位沈線。櫛歯状工具による弧状文。	加曾利E 3
73図	45	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	横位隆帯。単節L R縄文?。	加曾利E 4
73図	45	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	縦位隆帯。単節L R縄文。	加曾利E 4
73図	45	3	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。にふい黄褐色。	器面劣化。縦位隆帯。	加曾利E 4
73図	47	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁幅広の無文帯。隆帯による区画文。隆帯内に円形刺突。	加曾利E 3
73図	47	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁内面肥厚。羽状沈線。	唐草文系新
73図	47	3	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁部突起。内面太い凹線文。外面隆帯と太い凹線による区画文。単節R L縄文。	加曾利E 3
73図	48	1	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	内面沈線2条。外面沈線1条。内外面研磨。	堀之内2
73図	48	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	刻みを伴う縦位隆帯。沈線充填。	唐草文系新
73図	48	3	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	縦位沈線。斜位沈線。	堀之内2
73図	48	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯による渦文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
73図	57	1	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	口唇刻み?。内面沈線4条。外面単節L R縄文?による帯縄文。	加曾利B 1
73図	57	2	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口唇刻み。内面沈線2条。外面沈線と単節L R縄文。内外面丁寧な研磨。	加曾利B 2
73図	57	3	注口	注口部片	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	無文。研磨?(劣化により不明)。	加曾利B
73図	57	4	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	算盤玉形。沈線と円形刺突。単節R L縄文充填。外面研磨。	加曾利B 2
73図	57	5	鉢	胴部片	細砂粒少。良。灰黄色。	横位沈線。研磨。	加曾利B 2
73図	57	6	鉢	底部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	外面ケズリ後に粗い研磨。底面研磨(一部網代痕残存)。	加曾利B
73図	59	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。繊維含む。良。明褐色。	環付末端多段施文。	関山1
73図	70	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	横位隆帯貼付。半截竹管による平行沈線。	諸磯c
73図	82	1	深鉢	頸~底部(70%)	砂粒多。良。にふい赤褐色。	刻みを伴う横位隆帯。襷系R縦位施文。底面摩擦。底径8.2。	加曾利E 1
73図	82	2	深鉢	胴部~底部	砂粒やや多。雲母含む。良。にふい黄褐色。	高台付小型深鉢(台部欠損)。単節R L縄文縦位施文後に隆帯と半截竹管による平行沈線文。内面おこげ様炭化物付着。底径7.0。残存高9.7。	焼町
74図	82	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	刻みを伴う隆帯による区画。沈線充填。103号土坑出土土器と接合。	勝坂3
74図	82	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	縦位隆帯と沈線。	勝坂3
74図	82	5	浅鉢	口縁~胴下半(25%)	砂粒多。良。にふい赤褐色~黒褐色。	口縁内湾。肥厚し段状。内外面ともに赤色塗彩による文様。口径40.0。	加曾利E 3
74図	98	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	襷系L縦位施文。	加曾利E 1
74図	99	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	集合沈線。棒状貼付文。	諸磯c
74図	99	2	鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	口縁内面凹線。単節R L縄文。	堀之内2
74図	99	3	鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	無文。研磨。	堀之内2
74図	99	4	鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	無文。研磨。	堀之内2
74図	99	5	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	刻みを伴う横位隆帯。単節L R縄文。	堀之内2
74図	99	6	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	刻みを伴う横位隆帯。内外面研磨。	堀之内2
74図	99	7	鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	横位沈線。	堀之内2
74図	99	8	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	外面粗い研磨。口径32.0。残存高14.4。	堀之内2
74図	99	9	深鉢	底部片	砂粒多。良。赤褐色。	外面研磨。底面粗い研磨(網代痕残存)。	堀之内2
74図	99	10	鉢	底部片	砂粒多。良。褐色。	外面研磨。底面網代痕。	堀之内2
75図	99	11	深鉢	口縁~胴部(50%)	砂粒多。良。灰褐色。	口頸部粗いナデ調整痕を明瞭に残す。胴部は研磨。口径30.8。	堀之内2
75図	99	12	深鉢	口縁~胴部(20%)	砂粒多。良。赤褐色。	口縁内面沈線。外面刻みを伴う横位隆帯2条。8字貼付文。沈線による三角形文。単節L R縄文充填。口径30.0。残存高27.4。146号土坑2と接合する。	堀之内2
75図	99	13	鉢	口縁~胴部(70%)	砂粒多。良。暗褐色。	口縁部突起2単位。内面沈線1条。刻みを伴う横位隆帯2条。8字貼付文。胴部文様4単位。単節L R縄文充填。内外面無文部研磨。底面細かい網代痕。口径20.0。底径11.0。	堀之内2
74図	99	14	鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	単節L R縄文を地文とし沈線による三角形文。	堀之内2
75図	100	1	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	斜位沈線。単節L R縄文充填。6と同一個体。	堀之内2
75図	100	2	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線による曲線文。単節L R縄文充填。	堀之内2
75図	100	3	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	斜位沈線。単節L R縄文充填。	堀之内2
75図	100	4	鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にふい黄褐色。	横位沈線。外面研磨。	堀之内2

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別 器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
75図	100	5	鉢	口縁~胴部(20%)	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁無文。研磨。刻みを伴う2条の隆線と口縁部から垂下する隆線。胴部は沈線文に単節LR縄文充填。 横位の平行沈線。単節LR縄文充填。1と同一個体。	堀之内2
75図	100	6	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。		堀之内2
75図	100	7	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にぶい褐色。	突起を中心とした同心円文、平行沈線。	堀之内2
75図	100	8	鉢	口縁部片	粗砂粒やや多。良。褐色。	口縁内面に1条の凹線、沈線文。	堀之内2
76図	103	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	口縁内面肥厚。蛇行隆帯貼付。	曾利古
76図	103	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	
76図	103	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	横位隆帯。単節LR縄文充填。	曾利古
76図	103	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	横位隆帯と弧状隆線。単節LR縄文充填。6と同一個体。	称名寺1
76図	103	5	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。褐色。	弧状隆線。単節LR縄文充填。	称名寺1
76図	103	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	弧状隆線。単節LR縄文充填。4と同一個体。	称名寺1
75図	103	7	深鉢	口縁~胴部(50%)	砂粒多。良。明褐色。	器面被熱・劣化。沈線によるJ字文。単節LR縄文充填。口径19.6。 残存高11.5。105号土坑出土土器と接合。	称名寺1
76図	103	8	深鉢	口縁~胴部(70%)	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位隆帯。単節LR縄文充填。2条単位の逆U字状沈線文。口径40.5。	称名寺1
76図	103	9	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	波状口縁。波頂部筒状突起。突起前面粘土貼付(剥落)。沈線文。単節LR縄文充填。10と同一個体。	称名寺1
76図	103	10	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	波状口縁。波頂部筒状突起。突起前面粘土貼付(剥落)。沈線文。9と同一個体。	称名寺1
76図	104	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	横位隆線。	称名寺1
76図	105	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	縦位隆帯。斜位沈線充填。	唐草文系新
76図	105	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	単節LR縄文を地文とし磨消縄文。	加曾利E3
76図	105	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位隆線。	称名寺1
76図	105	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	隆帯による区画。沈線充填。	唐草文系新
76図	105	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	単節LR縄文を地文とし磨消縄文。	加曾利E3
77図	106	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	櫛歯状工具による条線文。	称名寺2
77図	106	2	深鉢	胴部片	粗砂粒やや多。良。にぶい褐色。	頸部屈曲。無文。9と同一個体。	堀之内1
77図	106	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	櫛歯状工具による条線文。	堀之内1
77図	106	4	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明黄褐色。	櫛歯状工具による条線文。	後期
77図	106	5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	器面劣化。文様不明。	後期
77図	106	6	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	無文。研磨。	後期
77図	106	7	深鉢	口縁部片(50%)	細砂粒多。良。浅黄褐色。	口縁部は内面に盲孔と沈線を伴う山形の橋状突起。対向面に口唇に盲孔と沈線を伴う2個一對の突起。胴部は沈線文、劣化により縄文原体不明。口径17.9。	称名寺1
77図	106	8	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	波状口縁。波頂部に内外面に橋状把手を有する突起。単節LR縄文。	称名寺1
77図	106	9	深鉢	口縁部片	粗砂粒やや多。良。褐色。	口縁部盲孔を伴う対向突起。頸部屈曲。口径(37.0)。2と同一個体。	堀之内1
77図	107	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。縄文原体不明。	堀之内1
77図	107	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節LR縄文?。	堀之内1
77図	107	3	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒色。	縦位隆線。	称名寺1
77図	107	4	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁内面肥厚。沈線文。	称名寺1
77図	107	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	櫛歯状工具による条線文。	堀之内1
77図	107	6	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	刺突文。	三十福場
78図	120	1	深鉢	口縁~胴部(25%)	粗砂粒多。片岩含む。良。赤褐色。	口縁部隆帯による区画文。頸部に刻みを伴う横位隆帯。燃系R縦位施文。口径29.8。	加曾利E1
78図	141	1	深鉢	口縁部片	赤色粒・粗砂粒多。良。明赤褐色。	横位弧状隆線。逆U字状隆線。2・4と同一個体。	加曾利E4
78図	141	2	深鉢	胴部片	赤色粒・粗砂粒多。良。明赤褐色。	器面劣化。逆U字状隆線。1・4と同一個体。	加曾利E4
78図	141	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	波状口縁?。内外面に横位沈線・刺突。	加曾利E4
78図	141	4	深鉢	胴部片	赤色粒・粗砂粒多。良。明赤褐色。	器面劣化。横位弧状隆線。逆U字状隆線。1・2と同一個体。	加曾利E4
78図	143	1	鉢	ほぼ完形	細砂粒多。良。明褐色。	器面劣化。縄文・隆帯不明瞭。刻みを伴う横位隆帯。8字貼付文4単位。単節LR縄文。底面網代痕。補修孔一對。口径13.6。底径7.3。	堀之内2
78図	143	2	鉢	口縁部片	粗砂粒多。良。黒褐色。	横位沈線。	堀之内2
78図	143	3	鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	沈線による三角形文。単節LR縄文充填。	堀之内2
78図	143	4	注口	底部片	砂粒やや多。良。褐色。	内外面研磨。底面網代痕。底径11.0。	堀之内2
78図	143	5	土製円盤	完形	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線と円形刺突文。直径3.4。厚さ0.8。	称名寺
78図	144	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節LR縄文?充填。	称名寺1
79図	146	1	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁部内屈。Y字状?隆線貼付。	堀之内2
79図	146	2	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	口縁内面沈線。外面刻みを伴う横位隆帯2条。99号土坑12と接合する。	堀之内2
79図	146	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	縦位隆帯。沈線充填。	唐草文系新
79図	146	4	鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	横位沈線。斜位短沈線充填。	堀之内2
79図	146	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
79図	146	6	鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位沈線。斜位短沈線充填。	堀之内2
79図	146	7	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。褐色。	外面研磨。底面網代痕。底径10.6。	堀之内2
79図	146	8	深鉢	底部片	砂粒多。良。明赤褐色。	底部やや張り出す。底面網代痕。底径11.0。	堀之内2
79図	147	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線と隆帯による斜格子文。	唐草文系古
79図	147	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい黄褐色。	斜位沈線。	唐草文系古
79図	147	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗灰黄色。	刺突を伴う横位隆帯。沈線と隆帯による斜格子文。	唐草文系古
79図	147	4	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁内屈。1条の横位沈線。3条の縦位沈線。	堀之内2
79図	147	5	鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	内面1条の凹線。外面無文。	堀之内2
79図	147	6	鉢	口縁部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	口縁内面沈線。外面2条の刻みを伴う横位隆帯。8字貼付文。	堀之内2
79図	147	7	鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線による三角形文。単節LR縄文充填。	堀之内2
79図	147	8	浅鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	外面ケズリ後研磨。内面横位沈線と刻み列。蛇行する単位文。	堀之内2
79図	147	9	鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	外面は平行沈線。沈線間は磨き残す。内面は口唇沈線と溝底刺突。平行沈線と刻み列。	堀之内2
79図	147	10	鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	無文。	堀之内2
79図	147	11	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。浅黄褐色。	沈線文。短沈線充填。	堀之内2
79図	147	12	注口	注口部	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	長い筒状。無文。	堀之内2
79図	147	13	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。短沈線充填。	堀之内2
79図	147	14	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。短沈線充填。	堀之内2
79図	147	15	鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
79図	147	16	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	横位沈線。研磨。	堀之内2
79図	147	17	鉢	底部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	底部張り出す。底面網代痕。底径7.6。	堀之内2
79図	147	18	鉢	底部片	粗砂粒多。良。明褐色。	外面ナデ。底面網代痕。	堀之内2
80図	155	1	深鉢	胴部片	粗砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	単節LR縄文。	加曾利E3

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別 器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
80回	155	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	縦位沈線。単節LR縄文充填。蛇行沈線。	加曾利E3
80回	155	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。片岩含む。良。赤褐色。	口縁内屈。1条の横位沈線。	堀之内1
80回	155	4	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	斜位沈線。	堀之内1
80回	155	5	注口	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	縦位隆線。	堀之内1
80回	155	6	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	3条単位の沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
80回	155	7	鉢	胴部片	砂粒多。良。淡黄色。	縦位隆線による曲線文。縄文有無不明。	堀之内1
80回	155	8	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	縦位沈線。単節LR縄文充填。	堀之内1
80回	155	9	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	斜位沈線。単節LR縄文？充填。	堀之内1
80回	155	10	注口	口縁部 注口部	砂粒多。良。暗褐色。	短い注口部。注口上部に小橋状把手(剥落)。隆線文。赤色塗彩一部残存。	堀之内1
98回	159	1	磁器 染付碗	胴部～底部片 (30%)	やや不良。オリーブ灰色。	器壁厚い。高台部欠損。肥前。	近世
98回	160	1	深鉢	口縁部片	粗砂粒やや多。良。橙色。	隆帯による区画文。単節LR縄文。	加曾利E3
98回	160	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	羽状沈線。	唐草文系新
98回	160	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい橙色。	隆帯による区画文。単節LR縄文。	加曾利E3
98回	162	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。沈線充填。	加曾利E1
98回	162	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	2条の隆帯による渦文。隆帯間に円形刺突列。	加曾利E1
98回	162	3	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。褐色。	溝底刺突を伴う縦位沈線。羽状沈線。	唐草文系古
98回	167	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	口縁内面肥厚。半截竹管による斜位平行沈線。	曾利古
98回	169	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	擦系L縦位施文。	加曾利E1
98回	173	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	縦位隆線。横位刻み目列。	阿玉台II
98回	173	2	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。褐色。	擦系R縦位施文。	加曾利E1
98回	173	3	浅鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	刻みを伴う隆帯で区画。弧線を充填。	加曾利E1
98回	175	1	鉢	胴部片	砂粒多。普通。にぶい黄褐色。	横位の刻みを伴う隆帯。8字貼付文。	堀之内2
98回	177	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	弧状隆線の下端部。横に連結。8と同一個体。	称名寺1
98回	177	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	弧状隆線下端部。	称名寺1
98回	177	3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線による曲線文。刺突充填。	称名寺1
98回	177	4	深鉢	底部片	砂粒多。良。褐色。	沈線による曲線文。縄文有無不明。	称名寺1
98回	177	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	節歯状工具による弧状条線文。	称名寺1
98回	177	6	注口？	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	注口部欠損。刻み目を伴う隆帯。	称名寺1
98回	177	7	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁部に横位隆線。胴部に弧状隆線。交点に円形貼付文。	称名寺1
99回	177	8	深鉢	口縁～胴部 (25%)	砂粒多。良。褐色・黒褐色。	口縁部に横位隆線。胴部に弧状隆線。交点、弧の変換点に環状貼付文。下端横位に連結。交互に単節LR縄文充填。口径37.6。1と同一個体。	称名寺1
99回	177	9	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	縦位隆線。	称名寺1
99回	177	10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	環状貼付文を伴う弧状隆線。	称名寺1
99回	177	11	壺	細砂粒やや多。良。褐色。	口径小さく胴部張る。刻みを伴う隆帯と沈線。口径(10.5)。	称名寺1	
99回	177	12	注口？	口縁部片	砂粒やや多。良。灰黄褐～黒褐色。	彫形？。口縁部に微隆起線文と把手。胴部は弧状の微隆起線文。研磨。塗彩不明。口径(17.5)。	称名寺1
99回	178	1	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。褐色。	横位沈線。単節LR縄文？。	加曾利E1
99回	178	2	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。にぶい褐色。	縦位隆線。斜位沈線充填。	曾利古
99回	180	1	鉢	口縁部片	粗砂粒多。普通。褐色。	刻みを伴う横位隆帯。	堀之内2
99回	180	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	隆帯による曲線文。縄文原体不明。	唐草文系新
99回	180	3	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	単節LR縄文。	唐草文系新
99回	180	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	刺突を伴う隆帯による渦文。	唐草文系新
99回	242	1	深鉢	胴部片	粗砂粒多。普通。にぶい黄褐色。	2条の横位沈線で区画し斜位の沈線。	堀之内1
100回	277	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	縦横の平行沈線で区画し、内部に刺突列。	勝坂1
100回	284	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。繊維含む。良。にぶい黄褐色。	刻みを伴う横位隆帯2条。原体側面圧痕。沈線文。	花積下層
100回	284	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	半截竹管による縦位平行沈線。一部に半截竹管による刺突を伴う。	曾利古
100回	284	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁短く屈曲。刻みを伴う横位隆帯。内外面粗い研磨。	堀之内2
100回	284	4	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	口縁短く屈曲。刻みを伴う横位隆帯。8字貼付文。	堀之内2
100回	284	5	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	刻みを伴う横位隆帯。8字貼付文。研磨。	堀之内2
100回	284	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	刻みを伴う横位隆帯。8字貼付文。	堀之内2
100回	284	7	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。黒褐色。	刻みを伴う横位隆帯。沈線文。単節LR縄文充填。研磨。	堀之内2
100回	284	8	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	口縁内面沈線。外面横位沈線。	堀之内2
100回	284	9	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	無文。内外面粗い研磨。	堀之内2
100回	284	10	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁短く屈曲。横位沈線。単節LR縄文？。	堀之内2
100回	284	11	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。灰褐色。	沈線文。	堀之内2
100回	284	12	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	内面ともにケズリ調整後に粗い研磨。	加曾利B
100回	284	13	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。研磨。	堀之内2
100回	284	14	注口	胴～底部 (25%)	砂粒やや多。良。褐色。	底部台状。内面底部削り抜き状。外面丁寧な研磨。底面粗い研磨(一部網代痕残存)。縁辺摩滅。計測値8.0。	堀之内2
100回	284	15	注口	注口部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	無文。研磨？。	堀之内2
100回	284	16	鉢	胴部片	赤色粒。砂粒やや多。良。灰褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
100回	284	17	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。研磨。	堀之内2
100回	284	18	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。	堀之内2
100回	284	19	注口	胴部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	隆帯と沈線による曲線文。単節LR縄文充填。刺突充填。無文部研磨。	堀之内2
100回	284	20	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	横位沈線。単節LR縄文充填。研磨。	堀之内2
100回	284	21	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。内外面研磨。	堀之内2
100回	284	22	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。研磨。	堀之内2
100回	284	23	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節LR縄文？充填。	加曾利B2
101回	284	24	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁内面1条凹線。外面横位羽状沈線。頸部研磨。	加曾利E2
101回	284	25	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	沈線文。円形粘土貼付。	堀之内2
101回	284	26	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐～褐灰色。	半肉彫的な隆帯による文様。研磨。	堀之内2
101回	284	27	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	内面1条沈線。外面沈線文。単節LR縄文。	加曾利B2
101回	284	28	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	条線文。29と同一個体。	後期
101回	284	29	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	条線文。28と同一個体。	後期
101回	284	30	深鉢	底部片	砂粒多。良。褐色。	外面粗い研磨？。底面網代痕。白色粘土付着。底径13.0。	後期
101回	284	31	深鉢	底部片	細砂粒多。良。明褐色。	外面研磨。底面網代痕。底径13.6。	後期
101回	284	32	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	外面研磨。底面網代痕。底径8.0。	後期
101回	284	33	深鉢	底部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	底部張り出す。外面研磨。底面網代痕。底径7.2。	後期
101回	284	34	深鉢	底部片	細砂粒多。良。明褐色。	底部やや張り出す。外面研磨。底面研磨するか網代痕残存。底径15.6。	後期
101回	284	35	土製円盤	完形	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。全周研磨成形。直径2.2。厚さ0.5。	不明
101回	285	1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線による曲線文。縄文原体不明。	中期
101回	287	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	横位結束羽状縄文。円形粘土貼付。	前期末

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
101回	287	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	横位結束羽状縄文。円形粘土貼付。	前期末
101回	287	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。片岩含む。良。暗赤褐色。	刻みを伴う隆帯で区画し、内部に半截竹管による平行沈線文。	勝坂1
101回	287	4	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい褐色。	刻みを伴う隆帯。2条の結節沈線。	阿玉台II
101回	287	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	隆帯と沈線による曲線的な文様。	焼町
101回	287	6	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	単節R L縄文縦位施文。のち横位平行沈線。	加曾利E 1
101回	287	7	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	隆帯による区画。	加曾利E 3
101回	287	8	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明褐色。	口縁部沈線区画で無文帯。胴部沈線文。	加曾利E 4
101回	287	9	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	口縁部隆帯で区画し沈線充填。胴部2条の平行沈線と蛇行沈線垂下。	唐草文系新
101回	287	10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	沈線による渦文。平行沈線文。	唐草文系新
101回	287	11	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線による曲線文。研磨。	称名寺2
101回	287	12	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	波状口縁。口縁部肥厚。内外面研磨。	堀之内1
102回	288	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	波状口縁。把手欠損。口縁部沈線により区画し無文帯。単節R L縄文。	加曾利E 4
102回	288	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内面肥厚。横位沈線と斜位沈線。	唐草文系新
102回	288	3	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	隆帯による区画文。単節R L縄文充填。内外面研磨。	加曾利E 3
102回	288	4	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。黒褐色。	2条の隆帯による渦文。沈線充填。	唐草文系新
102回	289	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	櫛歯状工具による弧状条線文。	加曾利E 3
102回	289	2	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	隆帯による区画文。単節R L縄文充填。	加曾利E 3
102回	289	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	縦位平行沈線。単節R L縄文充填。	加曾利E 3
102回	289	4	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。にぶい褐色。	縦位沈線。単節R L縄文充填。	加曾利E 3
102回	289	5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	波状口縁。把手欠損。口縁部横位隆線により区画し2列の円形刺突列。単節R L縄文充填。	加曾利E 4
102回	289	6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐灰色。	縦横に隆帯貼付。	加曾利E 4
102回	289	7	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	口縁部縁く外反。内外面研磨。	加曾利E 4
102回	289	8	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	縦位沈線。単節R L縄文?。	加曾利E 4
102回	289	9	深鉢	胴部片	粗砂粒多。普通。褐色。	縦位隆線。器面劣化。縄文有無不明。	加曾利E 4
102回	289	10	鉢	口縁~胴部(ほぼ完形)	粗砂粒多。普通。にぶい黄褐色。	頸部で括れ、胴上部に2個の把手。把手を連結する隆線。隆線による渦文。	加曾利E 4
102回	289	11	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	頸部屈曲。横位蛇行隆帯。	曾利古
102回	289	12	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	隆帯と沈線でU字状区画。沈線充填。	唐草文系新
103回	290	1	浅鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明褐色。	口縁肥厚。平行沈線。沈線間に刻み列。	加曾利E 1
103回	290	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	単節R L縄文縦位施文後、3条の沈線。	加曾利E 1
103回	290	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	縹系R縦位施文。	加曾利E 1
103回	290	4	深鉢	胴部片	砂粒少。良。にぶい黄褐色。	縦位隆帯。単節R L縄文。	加曾利E 3
103回	290	5	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	隆帯と沈線による文様。	加曾利E 4
103回	290	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	単節R L縄文縦位施文。縦位沈線。	加曾利E 3
103回	290	7	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節R L縄文。	加曾利E 4
103回	290	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	頸部に横位隆帯。斜位・縦位の沈線。	曾利古
103回	290	9	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明褐色。	口縁屈曲。横位沈線。	唐草文系新
103回	290	10	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。横位沈線充填。	唐草文系新
104回	291	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	横位の隆帯と突起貼付。	加曾利E 1
104回	291	2	深鉢	口縁部片	にぶい赤褐色。	口縁内湾。隆線と沈線による文様。	加曾利E 1
104回	291	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	縹系L縦位施文を地文とし横位沈線。	加曾利E 1
104回	291	4	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	半截竹管による沈線文。	加曾利E 1
104回	294	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	隆帯と沈線による文様。	焼町
104回	294	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	横位の隆帯と沈線。	加曾利E 1
104回	294	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	隆帯による懸垂文と渦文。半截竹管による斜位沈線充填。	唐草文系古
104回	295	1	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。赤褐色。	縄文原体不明。	加曾利E 1
104回	295	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	隆帯と沈線による文様。	加曾利E 1
104回	321	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	口縁外面肥厚。単節R L縄文。	唐草文系新
104回	321	2	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	外面剥落。内面沈線による渦文。	不明
104回	321	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	隆帯による渦文。沈線充填。	唐草文系新
104回	341	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明黄褐色。	口縁内面後。隆帯と半截竹管による平行沈線。交互刺突。中空様突起?(剥落)。	加曾利E 1
104回	341	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	横位隆帯。	加曾利E 1
104回	341	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯貼付。隆帯間刺突。沈線充填。	唐草文系古
104回	341	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線文。	唐草文系古
104回	341	5	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。黒褐色。	外面ケズリ後に粗い研磨。	加曾利E 1

横壁中村遺跡20区 土坑

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
142回	13	1	在地土器皿	口縁部1/4欠損	砂粒少。良。明赤褐色。	内面底部に凹み。凹み部分には僅かに横撫で。底部外面左回転糸切り、無調整。小型のかわらけ。器高1.8。口径7.0。底径4.7。	中世
142回	13	2	土製品?		砂粒多。良。黒褐色。	平底の内耳土器と思われる底部片を、台形状に成形。断面も丁寧に仕上げられている。用途不明。	中世
142回	18	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	半截竹管による渦文。	中期
142回	18	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	2条単位の隆帯貼付。沈線文。刺突列。	中期
142回	21	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明褐色。	縹系Rを地文とし、隆帯による区画文。蛇行粘土細貼付。	加曾利E 1
142回	21	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。	後期
142回	21	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。	後期
142回	21	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	斜位沈線。	後期
142回	21	5	土製円盤	ほぼ完形	砂粒多。良。にぶい褐色。	隆帯による腕骨文。全周打ち欠き後、面のある研磨成形。直径4.2。厚さ0.9。	加曾利E 1
142回	22	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	横位沈線。単節R L縄文。	加曾利E 3
142回	22	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	隆帯と沈線による横位区画。沈線と隆帯による斜格子文。	曾利古
142回	22	3	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	隆帯による渦文。条線文。	曾利古
142回	22	4	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	隆帯による渦文?。沈線充填。	唐草文系新
142回	22	5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	内外面研磨。	堀之内2
142回	22	6	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒褐色。	波状口縁。小突起。刻みを伴う横位隆帯。沈線文。単節R L縄文充填。7と同一個体。	堀之内2

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
142回	22	7	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。暗褐色。	波状口縁。小突起。刻みを伴う横位隆帯。沈線文。単節LR縄文充填。6と同一個体。	堀之内2
142回	22	8	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい橙色。	外面研磨。底部張り出す。底面網代痕。底径12.0。	堀之内2
142回	22	9	深鉢	底部片	砂粒多。良。褐色。	底面研磨。底径8.5。	後期
142回	29	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位沈線。三叉状文。	勝坂1
142回	29	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。	勝坂1
142回	29	3	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	縦位隆帯。沈線充填。	勝坂1
142回	29	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線と幅広連続刺突文。	勝坂1
142回	29	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	沈線。刺突列。	勝坂1
142回	29	6	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい橙色。	隆帯と船形沈線。指頭押圧痕。	阿玉台1
142回	29	7	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	隆帯貼付。横位刻み目列。	阿玉台1
143回	29	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯と沈線による曲線文。	焼町
143回	29	9	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯と沈線による文様。	焼町
143回	29	10	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁隆帯と突起。胴部燃系し施文後に沈線文。	加曾利E1
143回	29	11	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	燃系し縦位施文後に横位・縦位隆帯。口縁には刻みを伴う隆帯。12と同一個体。	加曾利E1
143回	29	12	深鉢	胴部片 (30%)	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	燃系し縦位施文後に横位・縦位隆帯。11と同一個体。	加曾利E1
143回	29	13	深鉢	底部片	砂粒多。良。明赤褐色。	台付深鉢(台部欠損)。隆帯貼付。縦位沈線。底径(8.2)。	曾利古
143回	29	14	深鉢	胴部～底部 (50%)	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	燃系し縦位施文後に横位・縦位隆帯。底径8.0。	加曾利E1
143回	30	1	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。明赤褐色。	沈線による連続山形文。	勝坂1
143回	30	2	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい黄褐色。	隆帯貼付。	阿玉台II
143回	30	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	隆帯による区画文。単節RL縄文。	加曾利E3
143回	30	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。沈線充填。	唐草文系新
143回	30	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	縦位沈線。蛇行沈線。斜位沈線充填。	唐草文系新
143回	30	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	横位沈線。縦位沈線。	中期
143回	30	7	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にぶい黄褐色。	単節RL縄文。	中期
143回	30	8	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	隆帯による区画文。縦位沈線。単節RL縄文と櫛歯状工具による条線文充填。	加曾利E3
143回	30	9	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	波状口縁突起部。滑車状の突起。隆帯と刺突列。単節RL縄文。	加曾利E4
144回	30	10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	隆帯による渦文。蛇行懸垂文。魚鱗状沈線充填。	唐草文系新
144回	32	1	在地土器 内耳土器?	口縁部～胴部 片	砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁部上面は平坦。器壁は薄い。胴部は直線的に立ち上がり、口縁部内湾して直立。内耳部分は確認できない。信濃型内耳土器の錐形か。口径35.0。	中世
144回	39	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	刻みを伴う隆帯による文様。	不明
144回	39	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	刻みを伴う縦位隆帯。沈線文。刺突充填。	称名寺2
144回	39	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
144回	39	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	横位隆帯による区画。渦文を伴う隆帯垂下。斜位沈線充填。	曾利古
144回	39	5	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	隆帯による口縁部区画。胴部逆U字状沈線区画。単節RL縄文充填。蛇行沈線。	加曾利E3
144回	39	6	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	隆帯貼付。研磨。	堀之内2
144回	39	7	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	沈線文。	堀之内2
144回	39	8	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	横位沈線。単節LR縄文充填。	堀之内2
144回	39	9	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明褐色。	横位隆帯。	称名寺1
144回	39	10	深鉢	底部片	砂粒多。普通。明褐色。	外面・底面劣化著しい。調整不明。底径13.0。	後期
145回	39	12	在地土器 内耳土器?	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	口縁部上面は平坦。器壁は薄い。口縁部は、内湾し直立。内耳部分は確認できない。錐形か。	中世
145回	39	13	在地土器 内耳土器?	頸部片	砂粒やや多。良。黒色。	器壁は薄い。	中世
145回	39	14	陶器 壺	口縁部～胴部	砂粒少。	口縁部は短く立ち上がる。轆轤成形か。内面に紐作り痕。胴部下半から平坦に打ち欠かれている。器面が荒れており、詳細は不明。産地、時期不詳。口径4.1。	中世?
145回	42	1	深鉢	底部片	砂粒多。良。明赤褐色。	燃系し縦位施文。底面無文。底径6.0。	加曾利E1
145回	42	2	台付小形深鉢	口縁～底部 (75%)	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	ミニチュア?。台部欠損。4単位の突起から隆帯垂下。口縁と隆帯に沿った沈線。内外面ナデ後か。研磨。胴下半単節LR縄文。	焼町
145回	44	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	口縁部に横位沈線。	加曾利E1
145回	44	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	細く鋭い沈線文。	加曾利E1
145回	44	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	単節LR縄文を地文とし沈線文。	加曾利E1
145回	44	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	燃系しを地文とし3単位の縦位沈線。	加曾利E1
145回	44	5	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	中空の眼鏡状文を伴う大型突起。口縁内面後。隆帯と沈線による文様。6と同一個体。	焼町
146回	44	6	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	中空の眼鏡状文を伴う大型突起。口縁内面後。隆帯と沈線による文様。5と同一個体。	焼町
146回	45	1	古瀬戸 緑釉小皿	底部片	細砂粒僅か。良。浅黄褐色。	内面底部によく磨られた痕跡を残す。古瀬戸後IV期段階。底径(4.3)。	中世
146回	49	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明褐色。	口縁内面後。突起有り(欠損)。無文。	勝坂3
146回	49	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	横位隆帯で区画し、縦位隆帯貼付。	勝坂3
146回	49	3	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	単節RL縄文を地文とし沈線文。	勝坂3
146回	49	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	口唇刻み。隆帯貼付。半截竹管による平行沈線。	焼町
146回	49	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	隆帯と半截竹管による沈線文。	焼町
146回	49	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	燃系し縦位施文。	加曾利E1
146回	49	7	深鉢	底部片	粗砂粒多。片岩含む。良。明褐色。	外面粗い研磨。底面擦滅著しい。赤色塗彩不明。底径12.0。	加曾利E1
146回	53	1	浅鉢	口縁部片	砂粒多。普通。にぶい褐色。	横位隆帯。単節RL縄文。	加曾利E4
146回	53	2	浅鉢	胴部片	細砂粒多。良。赤褐色。	単節RL縄文を地文とし横位蛇行隆帯。刻みを伴う縦位隆帯貼付。	曾利古
146回	53	3	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁を低い隆帯で区画。単節RL縄文。	加曾利E4
146回	53	4	浅鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	無節L縄文。	後期
146回	53	5	浅鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線。櫛歯状工具による条線文。	加曾利E3
146回	53	6	浅鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	外面明瞭な粗いナデ調整痕。	堀之内1
147回	58	1	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	三角連続刺突による鋸歯文。	勝坂1
147回	58	2	浅鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	横位蛇行隆帯。沈線充填。	焼町古
147回	58	3	浅鉢	頸部片	砂粒多。良。明赤褐色。	刻みを伴う隆帯により縦横に区画。区画内に幅広連続刺突、三角連続刺突。	勝坂1

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別 器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
147回	58	4	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。暗赤褐色。	横位隆帯。単節R L縄文。	加曽利E 1
147回	58	5	深鉢	底部片	砂粒多。良。赤褐色。	燃系し縦位施文。	加曽利E 1
147回	73	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	低い隆帯による区画文。縦位沈線。単節R L縄文。	加曽利E 3
147回	73	2	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。明赤褐色。	縦位隆帯。斜位沈線充墳。	唐草文系新
147回	73	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	口唇刻みにより鋸歯状。無文。	後期
147回	74	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。赤褐色。	単節R L縄文。蛇行沈線文。	加曽利E 3
147回	78	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	隆帯貼付。沈線充墳。	唐草文系新
147回	78	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	縦位隆帯。縦位沈線充墳。横位弧線。	唐草文系新
147回	79	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	口縁内面後。横位の隆帯と沈線。一部沈線内に刺突。	膳坂1
147回	79	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	沈線文。単節R L縄文。	加曽利E 3
147回	79	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	縦位沈線。条線文充墳。	加曽利E 3
147回	81	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。普通。橙色。	口縁横位沈線で区画し刺突列。	加曽利E 4
147回	81	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	横位沈線。縦位沈線充墳。	唐草文系新
147回	85	1	深鉢	口縁部片	砂粒多、雲母含む。良。明赤褐色。	口縁内屈し内面後状。横位隆帯と半截竹管による平行沈線。	焼町
148回	86	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	横位隆帯。環状粘土貼付。粗い研磨。	称名寺1
148回	86	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	縦位弧状隆帯。粗い研磨。	称名寺1
148回	86	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	口縁屈曲。無文。	称名寺1
148回	86	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい橙色。	口縁内面後。沈線文。単節R L縄文充墳。	称名寺1
148回	86	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい橙色。	沈線により隆帯状。単節R L縄文。	称名寺1
148回	86	6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい橙。	指頭圧痕を伴う横位隆帯。	称名寺1
148回	86	7	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。縄文有無不明。	称名寺1
148回	86	8	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	横位平行沈線。単節R L縄文充墳。	称名寺1
148回	86	9	鉢	口縁・注口部片	砂粒多。良。灰褐色。	注口付鉢。注口上に沈線を伴う小把手。刻みを伴う隆帯。単節L R縄文。	称名寺併行
148回	86	10	鉢	口縁部片	砂粒多。普通。灰褐色。	口縁屈曲。内外面共に1条の沈線。	堀之内1
148回	86	11	鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	沈線による渦文。	堀之内1
148回	86	12	鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	口縁屈曲。3条の横位沈線。	堀之内1
148回	86	13	鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	刻みを伴う横位隆帯。内外面研磨。	堀之内2
148回	86	14	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	貫通孔を伴う突起。横位沈線。8字貼付文。	堀之内1
148回	86	15	深鉢	底部片	細砂粒多。良。灰褐色。	外面無文。底面網代痕?。底径9.0。	後期
148回	91	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	縦位沈線。	加曽利E 3
148回	91	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多、雲母含む。良。にふい赤褐色。	横位隆帯。横位沈線と交互刺突。	唐草文系新
149回	94	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	条線文。	加曽利E 3
149回	94	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	単節L R縄文。	後期
149回	101	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	横位蛇行隆帯。沈線と隆帯による斜格子文。	曾利古
149回	101	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	横位隆帯。横位沈線。縦位沈線。一部に斜位短沈線。	曾利古
149回	101	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	羽状沈線。	唐草文系新
149回	101	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	条線文。	唐草文系新
149回	101	5	在地土器 内耳土器?	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	器壁やや厚い。	中世
149回	101	6	釣手	釣手欠損 (70%)	砂粒多。良。にふい赤褐色。	2脚の橋状釣手。2枚の粘土板を張り付け中空状。側面に隆帯により文様。胴下半劣化。無文。底径10.0。	加曽利E 3
149回	129	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充墳。	堀之内1
149回	129	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	無文。研磨。土製円盤の可能性有り。	堀之内1
149回	133	1	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。灰褐色。	刻みを伴う2条の横位隆帯。	堀之内2
149回	136	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆帯貼付。沈線充墳。	唐草文系新
149回	136	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。普通。にふい黄褐色。	口縁折り返し状。斜位沈線。	唐草文系新
150回	139	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	縦位沈線。単節R L縄文。	加曽利E 3
150回	139	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	横位沈線。単節R L縄文。	加曽利E 3
150回	139	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黄褐色。	U字・逆U字状沈線。縄文原体不明充墳。	加曽利E 4
150回	143	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。単節L R縄文充墳。研磨。	加曽利E 4
150回	150	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	隆帯による渦文。内外面研磨。	加曽利E 3
150回	162	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	横位沈線。単節L R縄文。内外面研磨。	加曽利B 1
150回	164	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯と沈線による文様。	加曽利E 1
150回	164	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	口縁沈線による無文帯。単節R L縄文。	加曽利E 4
150回	164	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	燃系R。	加曽利E 1
150回	165	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	単節R L縄文。	加曽利E 3
150回	169	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	横位隆帯。口縁縦位沈線。胴部縄文原体不明。	唐草文系新
150回	170	1	土製円盤	完形	砂粒多。良。赤灰色。	沈線。首孔。単節L R縄文。楕円形。全周打ち欠き成形。長径5.8。短径4.9。厚さ1.0。	堀之内1
150回	173	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	縦位弧状隆帯。単節L R縄文充墳。	加曽利E 4
150回	180	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	突起部。内面肥厚。無文。	加曽利E 3
150回	180	2	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。褐色。	縦位羽状沈線。	唐草文系新
150回	180	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。	称名寺1
150回	180	4	在地土器 内耳土器?	底部片	砂粒多。良。黒褐色。	器壁やや厚い。平底か。	中世
150回	197	1	台付鉢	台部片	砂粒多。良。明黄褐色。	内外面ナデ。底径8.0。	晚期
150回	197	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	条線文。	晚期
150回	220	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	縦位隆帯。単節L R縄文。	加曽利E 3
150回	221	1	深鉢	口縁部片	粗砂粒多。良。褐色。	横位隆帯。横長刺突列。単節L R縄文。	加曽利E 4
150回	221	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	横位隆帯。単節L R縄文。	加曽利E 4
151回	222	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。	加曽利E 3
151回	222	2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黄褐色。	横位隆帯。無節L縄文。	加曽利E 4
151回	222	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	縦位沈線。無節L縄文。	加曽利E 3
151回	227	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	縦位隆帯。粗い研磨。	称名寺1
151回	227	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	焼成前穿孔。沈線文。	堀之内1
151回	227	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	3条単位の沈線文。	堀之内1
151回	233	1	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。明赤褐色。	縦位隆帯。縦位沈線。	五領ヶ台
151回	233	2	深鉢	口縁部片	砂粒多、雲母含む。良。褐色。	口縁肥厚し縦位沈線。単節L R縄文施文後、3条単位の隆帯貼付。6・7と同一個体。	唐草文系古
151回	233	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	燃系し施文後。沈線による弧線文。	加曽利E 1
151回	233	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。暗褐色。	半截竹管による横位平行沈線。一部押し引き状。	曾利古
151回	233	5	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。黒褐色。	横位沈線で頸部区画。渦文を伴う2条単位の縦位隆帯貼付。縦位沈線充墳。	曾利古
151回	233	6	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。にふい黄褐色。	単節L R縄文施文後、2条単位の隆帯貼付。2・7と同一個体。	唐草文系古
151回	233	7	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。灰褐色。	単節L R縄文施文後、隆帯貼付。隆帯から蛇行沈線垂下。2・6と同一個体。	唐草文系古

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
151回	233	8	深鉢	胴部片	細砂粒多。普通。橙色。	縦位沈線。単節R L縄文。	加曾利E 3
151回	233	9	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節R L縄文充填。	加曾利E 3
151回	233	10	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	刻みを伴う隆帯貼付。	唐草文系新
152回	233	11	深鉢	口縁～胴部(80%)	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	波状口縁。正面に把手が付くが欠失。口縁は横位隆帯により無文部。隆帯による文様4単位。単節L R縄文充填。被熱し赤化色。口径24.0。残存高25.0。	加曾利E 4
152回	233	12	鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒色。	横位沈線により口縁部無文部。単節R L縄文。口径8.2。	加曾利E 4
152回	233	13	深鉢	口縁部片	砂粒多。普通。明黄褐色。	波状口縁。沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
152回	233	14	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
152回	233	15	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。明黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
152回	233	16	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
152回	233	17	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
152回	233	18	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	横位隆帯。単節R L縄文。	加曾利E 4
152回	233	19	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	横位隆帯。無節R L縄文。	加曾利E 4
152回	233	20	鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯による渦文。研磨。内面ナテ。	加曾利E 4
152回	233	21	深鉢	胴部片	砂粒小。良。にぶい褐色。	縦位沈線。縦方向の研磨により条線状。	加曾利E 4
152回	233	22	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	横位隆帯。単節L R縄文。	加曾利E 4
152回	233	23	深鉢	胴～底部	砂粒やや多。良。黒褐色。	幅広い縦位沈線。単節L R縄文。底径8.0。	加曾利E 3
153回	233	24	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	櫛歯状工具による格子状条線文施文後、沈線文。	不明
153回	235	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	波状口縁。隆帯貼付。斜位沈線充填。	唐草文系新
153回	235	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。雲母含む。良。にぶい褐色。	隆帯と沈線による文様。単節R L縄文。	唐草文系新
153回	235	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	縦位羽状沈線。	唐草文系新
153回	235	4	鉢	底部片	砂粒多。良。褐色。	内外面研磨。	後期
153回	235	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	縦位隆帯。粗い研磨。	加曾利E 4
154回	238	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	隆帯による区画文。単節R L縄文。	加曾利E 3
154回	238	2	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	無文。研磨。内外面赤色塗彩。	加曾利E 3
154回	238	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	単節R L縄文を地文とし磨消縄文。蛇行沈線文。	加曾利E 3
154回	238	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	櫛歯状工具による条線文。	加曾利E 3
154回	238	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	縦位沈線。	加曾利E 3
154回	238	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	櫛歯状工具による条線文。	加曾利E 3
154回	238	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。極暗赤褐色。	単節R L縄文を地文とし磨消縄文。	加曾利E 3
154回	238	8	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	突起。隆帯貼付。	唐草文系新
154回	238	9	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	口縁内面後。横位隆帯。	加曾利E 4
154回	238	10	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	口縁内面後。隆帯貼付。沈線充填。	唐草文系新
155回	281	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線文。	堀之内1
155回	281	2	深鉢	口縁～胴部(50%)	粗砂粒多。良。にぶい黄褐色。	口縁内面対向する突起。頸部8字貼付文。沈線による方形区画。口径27.5。	堀之内1
155回	287	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。普通。にぶい黄褐色。	指頭圧痕を伴う横位隆帯。	称名寺1
155回	287	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。普通。褐色。	沈線文。	堀之内1
155回	287	3	鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色、黄褐色。	把手欠損。太い沈線文。	称名寺1
155回	287	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	突起有り(欠損)。隆帯貼付。縦位沈線充填。	唐草文系新
155回	287	5	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	底部やや張り出す。単節R L縄文。底面網代痕。	後期
155回	295	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	撚糸L縦位施文。	加曾利E 1
155回	295	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	単節R L縄文施文後、半截竹管による横位沈線。	加曾利E 1
155回	295	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。黄褐色。	口縁内面肥厚。外面研磨。	曾利古
155回	295	4	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	半截竹管による縦位平行沈線。蛇行沈線。底径11.0	曾利古
155回	295	5	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。灰褐色。	3条単位の隆帯。縦位沈線充填。	曾利古
155回	295	6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内面隆帯。外面交互刺突を施した横位隆帯。単節R L縄文。	唐草文系新
155回	295	7	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。暗赤褐色。	横位隆帯。隆帯に沿って刺突列。	唐草文系新
155回	295	8	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。暗赤褐色。	2条の隆帯による横位・縦位区画。縦位沈線充填。口縁部無文。	曾利古
156回	295	9	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。明赤褐色。	隆帯による渦文・懸垂文。縦位沈線充填。	曾利古
156回	295	10	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	口縁内面肥厚。外面口縁と頸部に横位隆帯。	唐草文系新
156回	295	11	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。灰褐色。	縦位羽状沈線。	唐草文系新
156回	295	12	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。明褐色。	櫛歯状工具による縦位条線文。	唐草文系新
155回	295	13	浅鉢	胴部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	外面ケズリ後に粗い研磨。一部に赤色塗彩残存。文様不明。内面赤色塗彩による文様。	中期
155回	295	14	浅鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	外面研磨後に黒色と赤色塗彩により三角形文。内面ナテ。塗彩無し。	唐草文系新
156回	296	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
156回	296	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	低い縦位隆帯。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
156回	296	3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
156回	296	4	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。暗褐色。	縦位隆帯。単節L R縄文充填。5・6・7と同一個体。	加曾利E 4
156回	296	5	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。明褐色。	縦位隆帯。単節L R縄文充填。縦位沈線。4・6・7と同一個体。	加曾利E 4
156回	296	6	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。暗褐色。	縦位隆帯。単節L R縄文充填。4・5・7と同一個体。	加曾利E 4
156回	296	7	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。暗褐色。	縦位隆帯。単節L R縄文充填。4・5・6と同一個体。	加曾利E 4
156回	296	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線文。	中期
156回	296	9	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺1
156回	296	10	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒色。	口縁内面後。内外面研磨。	称名寺2
156回	296	11	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。	堀之内1
156回	296	12	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。	堀之内1
157回	297	1	釣手土器	釣手部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	釣手部に2枚の板状の粘土を付し、隆帯と沈線文。	唐草文系古
157回	297	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黄褐色。	波状口縁?。隆帯貼付。竹管による凹形刺突。	勝坂1
157回	297	3	深鉢	胴部片	砂粒多。片岩含む。良。褐色。	三角連続刺突。三叉文。	勝坂1
157回	297	4	深鉢	胴部片	粗砂粒多。片岩含む。良。灰黄褐色～にぶい赤褐色。	刻みを伴う横位隆帯。結節沈線による鋸歯状文。	勝坂1
157回	297	5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	縦位結節沈線。	勝坂1
157回	297	6	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。幅広い刺突文。	勝坂1
157回	297	7	深鉢	胴部片	明砂粒やや多。良。褐色。	沈線。刻み列。三叉状文。	勝坂3
157回	297	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黄褐色。	縦位沈線。横位の短沈線を交互に付加。	勝坂3
157回	297	9	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。	阿玉台1
157回	297	10	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	隆帯と沈線による文様。	焼町
157回	297	11	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	隆帯と沈線による文様。刺突文。	焼町
157回	297	12	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	単節L R縄文を地文とし2条単位の縦位隆帯。	加曾利E 1
157回	297	13	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位隆帯。撚糸L。	加曾利E 1
157回	297	14	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。雲母含む。良。明赤褐色。	刻みを伴う横位隆帯。	加曾利E 1
157回	297	15	深鉢	胴部片	細砂粒多。普通。褐色。	横位沈線。単節L R縄文。	加曾利E 1

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm,()は推定値]	時期・備考
157図	297	16	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	単節R L 縄文を地文とし3条単位の縦位沈線。	加曾利E 2
157図	297	17	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。普通。灰黄褐色。	横位沈線。交互刺突。	加曾利E 3
157図	297	18	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	単節R L 縄文。沈線文。	加曾利E 3
157図	297	19	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	横位隆帯貼付し半截竹管による縦位条線文。	曾利古
157図	297	20	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁S字状に屈曲。内外面ナデ。	唐草文系古
157図	297	21	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内面後。渦文を有する突起。	唐草文系古
157図	297	22	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい黄褐色。	横位・縦位隆帯により区画。沈線充填。	唐草文系古
157図	297	23	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	隆帯と沈線による渦文。	唐草文系新
157図	297	24	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	横位隆帯。列点による懸垂文。斜位沈線。	唐草文系新
157図	297	25	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。雲母含む。良。にぶい黄褐色。	刻みを伴う隆帯と沈線による文様。	唐草文系新
158図	297	26	深鉢	完形	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	横位隆帯で区画し、溝底に円形刺突を伴う横位沈線。胴部は隆帯による文様4単位。単節R L 縄文充填。底部縁辺磨耗。白色粘土付着。胴下半赤色化。内面に炭化物付着(使用痕)。口径16~17.4。底径8.4。高さ27.5。	唐草文系
158図	297	27	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。黒褐色。	眼鏡状突起。隆帯と沈線による文様。	焼町
158図	297	28	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	口縁内面肥厚。横位沈線。口縁部突起から捻りのある隆帯により区画。斜位沈線充填。胴部は渦文付縦位隆帯により区画。縦位沈線充填。最後に蛇行沈線垂下。口径(23.0)。	唐草文系新
158図	297	29	深鉢	口縁~胴部(50%)	細砂粒多。良。明褐色。	口縁内面肥厚。口縁は2条の隆帯による連弧状区画。短沈線充填。胴部は単節R L 縄文を地文とし沈線による田の字区画。円文・弧線・蛇行沈線を充填。文様6単位。口径21.6。	加曾利E 3 (唐草文系)
158図	297	30	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色~赤褐色。	口縁内外面肥厚。内面赤色塗彩。	唐草文系新
158図	297	31	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	隆帯による区画文。短沈線充填。	唐草文系新
158図	297	32	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	口縁内面後。2条の隆帯による連弧状区画。連結部は突起状に張り出す。区画内は弧線とハの字沈線。胴部は単節R L 縄文施文後に2条単位の渦文付蛇行沈線。口径27.4。	唐草文系新
158図	297	33	鉢	口縁~胴部	砂粒多。雲母含む。良。暗赤褐。	口縁内面肥厚。口縁部研磨。無文。胴部2条の隆帯によるハート形の貼付文。貼付文を繋ぐように横位沈線。縦位沈線充填。口唇と胴下半を打ち欠いているが、被熱痕跡劣化なく、処理ではない。口径20.3。残存高13.6。	曾利II新
158図	297	34	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	2条の隆帯による連弧状区画。短沈線充填。	唐草文系新
158図	297	35	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。明赤褐色。	ハの字状沈線。	唐草文系新
158図	297	36	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	ハの字状沈線。蛇行沈線文。	唐草文系新
158図	297	37	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	2条単位の縦位隆帯。ハの字状沈線充填。	唐草文系新
158図	297	38	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	斜位沈線を施し蛇行沈線。	唐草文系新
159図	297	39	深鉢	口縁~胴下半(80%)	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内面肥厚。口縁部無文。研磨。頸部は4単位の橋状把手。把手から2条単位の隆線による渦文。沈線充填。胴部は把手から3条単位。渦文から2条単位の隆帯懸垂。縦位沈線充填。口径46.0。残存高46.8。	曾利III
159図	297	40	浅鉢	口縁~胴部(25%)	砂粒やや多。良。明褐色。	口縁部緩く内湾し端部反外。内外面研磨。赤色塗彩無し。口径44.6。	唐草文系新
159図	298	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	口唇刻み。半截竹管による平行沈線。	諸磯 c
159図	298	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	隆帯による区画文。単節R L 縄文。	加曾利E 3
159図	298	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	単節R L 縄文を地文とし、2条単位の太く浅い沈線による磨消縄文。6と同一個体。	加曾利E 3
159図	298	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。普通。褐色。	3条単位の縦位沈線。斜位沈線充填。	唐草文系新
159図	298	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	単節R L 縄文を地文とし、沈線文。	唐草文系新
160図	298	6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。暗赤褐色。	隆帯と太く浅い沈線による区画文。単節R L 縄文。3と同一個体。	加曾利E 3
160図	298	7	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	隆帯と太く浅い沈線による口縁区画。単節R L 縄文。	加曾利E 3
160図	298	8	深鉢	口縁部片	粗砂粒やや多。良。にぶい褐色。	波状口縁。隆帯と太く浅い沈線による渦文。	唐草文系新
160図	298	9	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	文様2段構成。単節R L 縄文充填。	加曾利E 3
160図	298	10	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	全面刺突。	南三十稲場後期
160図	298	11	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	無文。内外面粗い研磨。	南三十稲場後期
160図	298	12	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	波状口縁。2条の横位沈線。単節R L 縄文充填。	称名寺1
160図	298	13	鉢	口縁部片(25%)	砂粒少。焼成良。暗褐・にぶい褐色。	把手2単位。口縁内面受口状鈎。口縁外面研磨・光沢。胴部盛り上がりを伴う刺突列。口径19.8。残存高10.4。	三十稲場
160図	299	1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。赤褐色。	単節R L 縄文を地文とし、半截竹管による集合沈線。	諸磯 c
160図	299	2	深鉢	胴部片	砂粒多。片岩含む。良。褐色。	横位隆帯。幅広連続刺突文。	勝版1
161図	299	3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明褐色。	幅広の縦位沈線。単節R L 縄文。	加曾利E 3
161図	299	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	直前段反燃しを地文とし2条の縦位沈線による磨消縄文。	加曾利E 3
161図	299	5	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にぶい褐色。	2条単位の縦位沈線。単節L R 縄文充填。	加曾利E 3
161図	299	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	縦位隆帯。縦位沈線充填後、横位沈線。	唐草文系新
161図	299	7	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。暗褐色。	口縁内面後。外面区画文。斜位沈線充填。	唐草文系新
161図	299	8	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	口縁内面後。沈線文。単節L R 縄文充填。	称名寺1
161図	299	9	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁内面後。沈線文。単節L R 縄文充填。	称名寺1
161図	299	10	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	沈線文。単節L R 縄文充填。	称名寺1
161図	299	11	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	沈線文。単節L R 縄文充填。	称名寺1
161図	299	12	深鉢	胴部片	細砂粒少。普通。褐色。	半円形の刺突列。	南三十稲場
161図	299	13	浅鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色~黒褐色。	口縁部内屈。突起欠損。口縁に沿い隆線貼付。沈線と盲孔。内外面研磨。14と同一個体。	称名寺1
161図	299	14	浅鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁部内屈。口縁に沿い隆線貼付。沈線と盲孔。内外面研磨。外面スス付着。13と同一個体。	称名寺1
162図	323	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内面やや段状。単節L R 縄文を施文し、縄文上を粗く研磨。	堀之内1
162図	326	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	2状単位の縦位沈線。条線文。蛇行沈線。	加曾利E 3
162図	326	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	弧状隆線。円環状粘土貼付。単節L R 縄文充填	称名寺1
162図	326	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁部屈曲。横位沈線。	堀之内1
162図	326	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。	不明
162図	326	5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	横位隆線。単節R L 縄文。	加曾利E 4
162図	326	6	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	単節L R 縄文。	堀之内1
162図	327	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	隆帯貼付。隆帯に沿い2条又は3条単位の結節沈線。	阿玉台1 b
162図	327	2	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。黄褐色。	器面劣化。条線文。	加曾利E 3
162図	328	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	単節R L 縄文を地文とし2条単位の縦位沈線による磨消縄文。蛇行沈線。	加曾利E 3
162図	328	2	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁部屈曲。内外面研磨。	堀之内2
162図	328	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	櫛歯状工具による条線文。	後期
162図	328	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	櫛歯状工具による条線文。	後期

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
162図	329	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	縦位沈線。単節 R L 縄文。	加曾利 E 3
162図	329	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	口縁部突起。突起内面に楕円形凹み。	堀之内 1
163図	329	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	後期
163図	329	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	波状口縁。口縁屈曲。内外面に貫通孔と盲孔。	堀之内 1
163図	331	1	深鉢	胴部片	砂粒多。片岩含む。良。にぶい褐色。	縦位隆帯。縦位沈線。	勝坂 1
163図	331	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	波状口縁。口縁内面後。波頂部に C 字状隆帯。無節 L 縄文?。	加曾利 E 4
163図	331	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯により楕円区画・三角区画。沈線・三角連続刺突文を充填。	勝坂 3
163図	331	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。灰黄褐色。	単条の結節沈線。	阿玉台 1 b
163図	331	5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。浅黄色。	縦位弧状隆線。単節 L R 縄文充填。	加曾利 E 4
163図	331	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	単節 R L 縄文を地文とし、2 条単位の沈線による磨消縄文。	加曾利 E 3
163図	331	7	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。褐色。	縦位隆線。単節 L R 縄文。底径 8.6。	加曾利 E 4
163図	331	8	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内面後。横位隆線。	加曾利 E 4
163図	331	9	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	隆帯による渦文。	唐草文系新
163図	331	10	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位隆線。	称名寺 1
163図	331	11	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	横位隆線。	称名寺 1
163図	331	12	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。外面「おこげ」状炭化物。	堀之内 1
163図	331	13	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	横位隆帯。斜位沈線充填。	唐草文系新
163図	331	14	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	隆線貼付。単節 L R 縄文。	称名寺 1
163図	331	15	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	波状口縁。波頂部から口縁に沿って隆帯貼付。	称名寺 1
163図	331	16	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	称名寺 1
163図	331	17	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	称名寺 1
163図	331	18	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	称名寺 1
163図	331	19	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位隆線。沈線文。	称名寺 1
163図	331	20	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	称名寺 1
163図	331	21	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	縦位隆線。無節 L 縄文?。	称名寺 1
164図	331	22	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口唇外削ぎ状。沈線文。単節 R L 縄文充填。	堀之内 2
164図	331	23	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	口縁短く屈曲し、内面段状。研磨。	堀之内 2
164図	331	24	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	横位沈線。単節 R L 縄文。	堀之内 2
164図	331	25	注口	胴部片	細砂粒少。良。褐灰色。	沈線による同心円文。単節 L R 縄文充填。無文部研磨。	堀之内 2
164図	331	26	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	横位沈線。	堀之内 1
164図	331	27	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	堀之内 2
164図	331	28	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	沈線文。	堀之内 2
164図	331	29	鉢	口縁部片	細砂粒少。良。明黄褐色。	小形把手付鉢。把手の上下から横位隆線。外面赤色塗彩(黒色の被膜部あり。黒漆による塗り分けか?)。	称名寺~ 堀之内 1
164図	331	30	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	外面・底面粗い研磨。底径 8.0。	堀之内 2
164図	331	31	鉢	底部片	細砂粒少。良。褐灰色。	外面研磨。底面摩滅著しい。底径 5.6。	堀之内 2
164図	331	32	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	波状口縁。口縁内面後。波頂部に 8 字状に隆帯を貼付。	加曾利 E 4
164図	331	33	浅鉢	口縁部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	注口付浅鉢の注口部。注口部短く、注口先端から口縁に把手。	称名寺 1
164図	331	34	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	櫛歯状工具による条線文。	後期
164図	331	35	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	外面粗い研磨。底面粗い研磨。底径 8.0。	後期
165図	332	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	隆帯と半截竹管による平行沈線。沈線痕痕列。三叉文。2・3 と同一個体。	勝坂 1
165図	332	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	隆帯と半截竹管による平行沈線。沈線痕痕列。単節 R L 縄文。1・3 と同一個体。	勝坂 1
165図	332	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	隆帯と半截竹管による平行沈線。沈線痕痕列。1・2 と同一個体。	勝坂 1
165図	332	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。片岩含む。良。にぶい赤褐色。	横位隆帯。連続刺突文。	勝坂 1
165図	332	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	幅広連続刺突文・三角連続刺突文。	勝坂 1
165図	332	6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	隆帯貼付。隆帯に沿って幅広連続刺突文。三角連続刺突文。	勝坂 1
165図	332	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	隆帯貼付。隆帯に沿って幅広連続刺突文・三角連続刺突文。	勝坂 1
165図	332	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	横位隆帯。隆帯に沿って幅広連続刺突文。三角連続刺突文。	勝坂 1
165図	332	9	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	隆帯貼付。半截竹管による平行沈線。三角連続刺突文。	勝坂 1
165図	332	10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	半截竹管による平行沈線。幅広連続刺突文。	勝坂 1
165図	332	11	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	横位沈線。三角連続刺突文。	勝坂 1
165図	332	12	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	半截竹管による平行沈線。	勝坂 1
165図	332	13	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	半截竹管による縦位・横位平行沈線。40 と同一個体。	曾利古
165図	332	14	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	縦位沈線。斜位沈線充填。	勝坂 1
165図	332	15	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。褐灰色。	隆帯貼付。	阿玉台 1 b
165図	332	16	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	隆帯貼付。結節沈線。	阿玉台 1 b
165図	332	17	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	隆帯貼付。沈線充填。	勝坂 2
165図	332	18	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	円環状粘土貼付。	勝坂 2
165図	332	19	深鉢	口縁部片	砂粒多。片岩含む。良。にぶい赤褐色。	円孔を伴う突起。半肉彫的に文様を刻む。施文雑である。	勝坂 2
165図	332	20	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。褐灰色。	単列の結節沈線。	阿玉台 1 b
165図	332	21	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	隆帯貼付。ヒダ状圧痕。	阿玉台 1 b
165図	332	22	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい褐色。	横位隆帯。横位刻目列。	阿玉台 1 b
165図	332	23	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい褐色。	隆帯と沈線による文様。三叉状陰刻。	焼町
165図	332	24	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	燃系 L を地文とし、隆帯貼付。一部隆帯は八字状刻み。	加曾利 E 1
165図	332	25	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯と沈線による文様。	焼町
165図	332	26	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	口縁外面肥厚。横位平行沈線。	加曾利 E 1
165図	332	27	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	単節 R L 縄文。	加曾利 E 1
165図	332	28	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	2 条の横位隆帯。隆帯上単節 R L 縄文。胴部単節 R L 縄文。	加曾利 E 1
165図	332	29	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	器面劣化。縦位隆帯。縦位沈線。	加曾利 E 1
165図	332	30	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	燃系 R 縦位施文。	加曾利 E 1
165図	332	31	深鉢	底部片	砂粒多。良。褐色。	燃系 L 縦位施文。	加曾利 E 1
165図	332	32	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。褐色。	単節 L R 縄文を地文とし 3 条単位の縦位沈線。蛇行沈線。底径 6.5。残存高 3.9。	加曾利 E 2
165図	332	33	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	燃系 L 縦位施文し、2 条単位の縦位沈線。底径 (7.9)。	加曾利 E 1
165図	332	34	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	燃系 L 縦位施文。	加曾利 E 1
165図	332	35	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	燃系 L を地文とし 2 条単位の隆線貼付。	加曾利 E 2
165図	332	36	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	単節 R L 縄文施文を地文とし縦位沈線と蛇行沈線。	加曾利 E 2

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
165図	332	37	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい橙色。	縦位沈線。単節 R L 縄文充填。	加曾利 E 3
165図	332	38	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁内面肥厚。単節 R L 縄文。	加曾利 E 3
165図	332	39	深鉢	胴部片	砂粒多。良。橙色。	縦位沈線。縦長刺突充填。	加曾利 E 3
166図	332	40	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	隆帯貼付。半截竹管による縦位平行沈線。一部刻み列。13と同一個体。	曾利古
166図	332	41	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	縦位隆帯。斜位沈線充填。	唐草文系新
166図	332	42	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	2条の横位隆帯と蛇行隆帯を貼付。胴部は隆帯を垂下させ、縦位沈線を充填。	曾利古
166図	332	43	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	内外面研磨。口唇部赤色塗彩。口径(21.6)。	加曾利 E 1
166図	332	44	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。橙色。	横位沈線で口縁を区画し円形刺突列。単節 R L 縄文。	加曾利 E 4
166図	332	45	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位隆線。無節 L 縄文。	加曾利 E 4
166図	332	46	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	把手。隆帯貼付。単節 L R 縄文。	加曾利 E 3
166図	332	47	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	縦位沈線。無節 L 縄文? 充填。	加曾利 E 4
166図	332	48	深鉢	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	波状口縁。横位隆線。鋭い沈線。無節 L 縄文充填。	加曾利 E 4
166図	332	49	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	波状口縁。横位隆線。	加曾利 E 4
166図	332	50	鉢	胴部片	砂粒少。良。にぶい黄褐色。	隆線による文様。外面赤色塗彩。	加曾利 E 4
166図	332	51	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	波状口縁。沈線と盲孔。	称名寺 2
166図	332	52	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	縦位隆線。単節 R L 縄文充填。	加曾利 E 4
166図	332	53	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	口縁屈曲。横位沈線。	堀之内 1
166図	332	54	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	堀之内 1
166図	332	55	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。56と同一個体。	堀之内 1
166図	332	56	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線による渦文。単節 L R 縄文充填。55と同一個体。	堀之内 1
166図	332	57	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。	堀之内 1
166図	332	58	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。暗赤褐色。	沈線文。	堀之内 1
166図	332	59	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	堀之内 2
166図	332	60	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	横位沈線。	堀之内 2
166図	332	61	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐灰色。	口唇刻み。綾線文。	不明
166図	332	62	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	横位沈線。単節 L R 縄文充填。	堀之内 2
166図	332	63	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。沈線に沿って刺突列。	不明
167図	335	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内面後。横位沈線。	堀之内 1
167図	335	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。暗赤褐色。	口縁屈曲。2条の横位沈線と刺突列。	堀之内 1
167図	335	3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	堀之内 1
167図	335	4	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にぶい褐色。	斜位沈線。単節 L R 縄文充填。その後蛇行沈線。6・7と同一個体。	堀之内 1
167図	335	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	堀之内 1
167図	335	6	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線による渦文。単節 L R 縄文充填。4・7と同一個体。350号土坑4と接合する。	堀之内 1
167図	335	7	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にぶい褐色。	斜位沈線。単節 L R 縄文充填。その後蛇行沈線。4・6と同一個体。	堀之内 1
167図	335	8	深鉢	口縁~胴上半(20%)	砂粒やや多。良。明黄褐色。	口縁屈曲。3条の沈線。胴部は横位沈線と渦文。内外面研磨。光沢。口径(28.5)。350号土坑1と接合する。	堀之内 1
167図	337	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	沈線文。	堀之内 1
167図	338	1	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	隆帯と半截竹管による平行沈線。幅広い連続刺突文。	勝飯 2
167図	338	2	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	指頭によるヒタ状圧痕。	阿玉台 1 b
167図	338	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	横位隆線。単節 L R 縄文。	加曾利 E 4
167図	338	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗明褐色。	口縁屈曲。屈曲部外面に横位隆帯を貼付し、上下から交互に刺突を加える。無節 L 縄文。	加曾利 B
168図	339	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	加曾利 E 3
168図	339	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。暗赤褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	加曾利 E 3
168図	340	1	深鉢	口縁~胴部(60%)	砂粒多。良。褐色。	口縁隆帯を貼付し肥厚。2条単位の縦位隆帯6単位。1単位おきに渦文を伴う。単節 L R 縄文充填。口径16.6。残存高22.4。	唐草文系古
168図	340	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	2条単位の隆帯による懸垂文・渦文。斜位沈線充填。胴部下半被熱劣化。	唐草文系新
168図	340	3	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい褐色。	2条単位の縦位隆帯。	唐草文系新
168図	340	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。黒褐色。	隆帯による区画。単節 R L 縄文。	加曾利 E 2
168図	340	5	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。黒褐色。	隆帯貼付。短沈線充填。条線文。	唐草文系新
168図	340	6	浅鉢	胴部片	砂粒普通。良。明黄褐色。	隆帯と沈線による楕円区画。沈線溝底に刺突。区画内沈線充填。	唐草文系新
169図	342	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	隆帯貼付。沈線を羽状に充填。	唐草文系新
169図	342	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。沈線充填。	唐草文系新
169図	347	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	然ち R 施文後。刻みを伴う横位隆帯。	加曾利 E 1
169図	347	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	無節 L 縄文。	加曾利 E 1
169図	347	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	半截竹管による平行沈線。	曾利古
169図	348	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	突起有り(欠損)。隆帯による区画文。渦文充填。突起下は刻みを伴う隆帯垂下。口径(17.0)。	唐草文系新
169図	348	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯貼付。沈線充填。3・4と同一個体。	唐草文系新
169図	348	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯貼付。沈線充填。2・4と同一個体。	唐草文系新
169図	348	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯貼付。沈線充填。2・3と同一個体。	唐草文系新
169図	348	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	縦位沈線。無節 L 縄文充填。	加曾利 E 3
169図	350	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁屈曲。3条の沈線と盲孔。335号土坑8と接合する。	堀之内 1
169図	350	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	刻みを伴う縦位隆帯。沈線文。単節 L R 縄文充填。被熱劣化著しい。	堀之内 1
169図	350	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	堀之内 1
169図	350	4	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線による渦文。単節 L R 縄文充填。その後蛇行沈線。335号土坑6と接合する。	堀之内 1
169図	350	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	堀之内 1
169図	350	6	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	外面単節 L R 縄文。底面網代痕。	堀之内 1
170図	354	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	横位隆線。無節 R 縄文?。	加曾利 E 4
170図	354	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明黄褐色。	横位隆線。	称名寺 1
170図	354	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	口縁部やや屈曲。渦文を配す突起。横位沈線と刻み列。	堀之内 1
170図	354	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。暗褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	堀之内 1
170図	354	5	深鉢	口縁部片	砂粒少。良。にぶい褐色。	口縁部屈曲し横位沈線。胴部縦位沈線。単節 L R 縄文充填。	堀之内 1
170図	354	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗灰褐色。	横位沈線。単節 L R 縄文。	堀之内 1
170図	354	7	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節 L R 縄文充填。	堀之内 1
170図	354	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。	堀之内 1
170図	354	9	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位沈線。8字貼付文。単節 L R 縄文充填。	堀之内 2
170図	354	10	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁部突起。頂部と外面に円形凹み。	堀之内 1

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別 器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm,()は推定値]	時期・備考
171	355	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	横位隆線。単節LR縄文。	加曾利E4
171	355	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	沈線文。縄文原体不明。	加曾利E4
171	355	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	隆線貼付。単節LR縄文充填。円形刺突。	加曾利E4
171	355	4	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	隆線貼付。単節LR縄文充填。円形刺突。	加曾利E4
171	358	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	波状口縁。横位隆線により口縁区画。縦位隆線。単節LR縄文充填。	加曾利E4
171	358	2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。普通。にふい黄褐色。	横位隆線。	加曾利E4
171	358	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	口縁S字状に屈曲。研磨。	堀之内1
171	358	4	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。374号土坑13と同一個体。	堀之内1
171	358	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	円環状粘土貼付。横位沈線。単節LR縄文。	堀之内1
171	358	6	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線文。	堀之内1
171	358	7	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
171	358	8	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	縦位沈線。	堀之内1
171	358	9	深鉢	底部片	砂粒多。良。灰褐色。	外面研磨。底面摩滅著しい。	後期
171	359	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	然糸L縦位施文後に横位沈線。	加曾利E1
171	359	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	横位隆線。単節LR縄文。	加曾利E4
171	359	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	2条の隆線による文様。無節LR縄文充填。	加曾利E4
171	359	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	沈線文。無節LR縄文。	称名寺1
171	359	5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。無節LR縄文。	称名寺1
171	359	6	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	沈線文。	称名寺2
171	359	7	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。	堀之内1
171	361	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁内面後。突起有り(欠損)。横位隆線。無節LR縄文。	加曾利E4
171	361	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	加曾利E4
171	361	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	横位隆線。沈線文。	加曾利E4
171	361	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	縦位隆線。単節LR縄文?。	加曾利E4
171	361	5	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。	称名寺1
171	361	6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	口縁屈曲。渦文を配す突起。盲孔と横位沈線。	堀之内1
171	361	7	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒褐色。	口縁屈曲。横位沈線と盲孔。胴部縦位沈線。	堀之内1
171	361	8	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	口縁屈曲。横位沈線。内外面研磨。	堀之内1
171	361	9	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黄褐色。	沈線文。	堀之内1
172	361	10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	刻みを伴う縦位隆帯。	堀之内1
172	361	11	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	沈線による渦文。	堀之内1
172	361	12	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
172	361	13	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒色。	沈線による渦文。単節LR縄文充填。	堀之内1
172	365	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	内外面粗い研磨。	称名寺1
172	365	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。雲母含む。良。赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
172	365	3	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。褐色。	外面研磨。底面研磨。	称名寺1
172	368	1	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	細かい単節LR縄文。研磨。	堀之内2
172	368	2	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	注口土器の可能性有り。渦文を配す突起を中心に同心円文。円形刺突列。	堀之内2
172	374	1	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。灰黄褐色。	隆帯貼付し、隆帯の一部がヒダ状の突起となる。	阿玉台1b
172	374	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	単節LR縄文を地文とし磨消縄文。蛇行沈線。	加曾利E3
172	374	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。浅黄橙～黒褐色。	横位隆線。単節LR縄文。	加曾利E4
172	374	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節LR縄文。	加曾利E4
172	374	5	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐灰色。	口縁屈曲。2条の横位沈線。沈線溝底に円形刺突。単節LR縄文。	称名寺1
172	374	6	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	単節LR縄文を地文とし3条の縦位沈線。	唐草文系新
172	374	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆帯で口縁部区画。胴部は平行沈線と蛇行沈線垂下。斜位沈線充填。	唐草文系新
171	374	8	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。単節LR縄文。	堀之内1
172	374	9	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	頸部横位沈線と8字貼付文。胴部沈線文。	堀之内1
172	374	10	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
172	374	11	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	頸部横位沈線と8字貼付文。胴部沈線文。	堀之内1
172	374	12	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	口縁内面肥厚し後。内外面研磨。	堀之内1
173	374	13	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁低い山形突起。突起内面に槽形凹み。外面に円形凹み。沈線文。単節LR縄文充填。358号土坑出土土器と接合。14・15と同一個体。	堀之内1
173	374	14	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。13・15と同一個体。	堀之内1
173	374	15	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。13・14と同一個体。	堀之内1
173	374	16	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	頸部を横位沈線と盲孔で区画。胴部沈線による渦文。単節LR縄文。	堀之内1
172	382	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	口縁屈曲し横位沈線。内外面粗い研磨。	堀之内1
172	382	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	口縁屈曲。内外面粗い研磨。	堀之内1
172	382	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。	堀之内1
172	382	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。灰白色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
172	382	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	単節LR縄文を地文とし3条単位の沈線。383号土坑2～4と同一個体。	加曾利E2
172	382	6	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。暗赤褐色。	横位沈線。	堀之内1
172	382	7	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	沈線文。	堀之内1
172	383	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	2条の隆帯による連弧状区画。単節LR縄文。	加曾利E2
172	383	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	単節LR縄文を地文とし3条単位の縦位沈線。2条単位の蛇行沈線。3・4と同一個体。	加曾利E2
172	383	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	単節LR縄文を地文とし3条単位の縦位沈線。2条単位の蛇行沈線。2・4と同一個体。	加曾利E2
172	383	4	深鉢	底部片	砂粒多。良。にふい褐色。	単節LR縄文を地文とし3条単位の縦位沈線。底径8.2。2・3と同一個体。	加曾利E2
172	393	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	無文。内外面粗い研磨。	加曾利E3
172	393	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	無文。内外面研磨。	加曾利E3
172	393	3	浅鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	刻みを伴う横位隆帯。沈線。単節LR縄文。4・5と同一個体。	加曾利E3
172	393	4	浅鉢	胴部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	2条単位の縦位沈線。単節LR縄文充填。3・5と同一個体。	加曾利E3
172	393	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	2条単位の縦位沈線。単節LR縄文充填。3・4と同一個体。	加曾利E3
173	400	1	注口	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	沈線文。非常に細かい単節LR縄文充填。	堀之内2
173	400	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	口縁内面沈線。口唇外面側より押圧。刻みを伴う2条の隆帯。8字貼付文。沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
173	400	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐灰色。	口縁やや屈曲。沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
173	400	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	口縁やや屈曲。沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
173	400	5	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	隆帯貼付。隆帯に沿った沈線。	堀之内2
174	400	6	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	口縁やや屈曲。内外面研磨。	堀之内1

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
174図	400	7	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	口唇外面側より押圧。外面研磨。内面沈線文、単節LR縄文充填。8と同一個体。	堀之内2
174図	400	8	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。灰黄褐色。	口唇外面側より押圧。外面研磨。内面沈線文、単節LR縄文充填。7と同一個体。	堀之内2
174図	400	9	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
174図	400	10	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	8字貼付文。沈線文。単節LR縄文充填。11と同一個体。	堀之内2
174図	400	11	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。10と同一個体。	堀之内2
174図	400	12	鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。	堀之内2
174図	400	13	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
174図	400	14	鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯貼付。隆帯に沿って沈線。	堀之内2
174図	400	15	注口	胴部片	細砂粒少。良。にぶい褐色。	隆帯と沈線。刺突列。丁寧な研磨。	堀之内2
174図	400	16	深鉢	胴部片	砂粒少。良。黒褐色。	横位沈線。単節LR縄文充填。	堀之内2
174図	400	17	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。無文部は研磨。注口土器の可能性有り。	堀之内2
174図	400	18	鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
174図	400	19	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
174図	400	20	鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	半肉彫的手法による隆帯。単節LR縄文。	不明
174図	400	21	深鉢	胴部片	砂粒多。良。浅黄褐色。	外面粗いナデ調整痕。明瞭。	堀之内2
174図	400	22	注口	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
174図	400	23	鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	内外面研磨。底面網代痕。底径8.6。	堀之内2
174図	400	24	深鉢	底部片	褐色。砂粒やや多。良。	外面研磨。底面網代痕。底径10.0。	堀之内2
174図	413	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	縦位沈線。単節LR縄文充填。2と同一個体。	加曾利E3
174図	413	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	縦位沈線。1と同一個体。	加曾利E3
174図	413	3	小型土器	胴部片	砂粒少。良。明褐色。	隆帯と沈線による文様？。単節LR縄文。	加曾利E3
174図	413	4	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	縦位沈線。単節LR縄文。	加曾利E4
174図	413	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	縦位隆帯。斜位沈線充填。	唐草文系新
174図	417	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。暗赤褐色。	口縁内面肥厚。内外面粗い研磨。	堀之内1
174図	425	1	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。褐色。	縦位隆帯。内外面・底面研磨。底径8.0。	唐草文系新
174図	447	1	深鉢	口頸部(80%)	砂粒多。良。褐灰色。	横位沈線により口縁部無文帯。沈線文。単節LR縄文充填。口径39.7。	加曾利E3
175図	448	1	浅鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい褐色～黒褐色。	隆帯による渦文。外面隆帯部分と内面全面に赤色塗彩。	加曾利E3
175図	448	2	深鉢	胴部(ほぼ全周残存)	砂粒多。良。焼成良。明赤褐色。	口縁部と胴下半欠失。口縁部弧状沈線。胴部は2条単位の沈線垂下(8単位)。単節LR縄文充填。縄文部に縦位沈線(上端が磁手状、下端が蛇行するもの有り)。無文部は研磨。	加曾利E3
176図	450	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。赤褐色。	縦位沈線。単節LR縄文。	加曾利E4
176図	453	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	単節LR縄文。	堀之内1
176図	453	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明黄褐色。	無文。内外面粗い研磨。	堀之内1
176図	453	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	沈線文。無節LR縄文充填。	堀之内1
176図	453	4	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	外面粗い研磨。底面粗い研磨。一部に網代痕残存。底径11.2。	堀之内1
176図	453	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
176図	453	6	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	2条単位のU字・逆U字沈線。無節LR縄文充填。	加曾利E4
176図	453	7	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
176図	456	1	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	横位沈線。単節LR縄文充填。研磨。	加曾利B1
176図	456	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	横位沈線。単節LR縄文。丁寧な研磨。	加曾利B1
176図	456	3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。丁寧な研磨。	加曾利B2
176図	457	1	鉢?	口縁部片	細砂粒少。良。黒褐色。	非対称形の突起。突起内面に「ノ」字状沈線。対弧文と平行沈線。単節LR縄文充填。研磨。	加曾利B1
176図	457	2	鉢	口縁～胴部(50%)	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色・黒褐色。	対弧文を弧線で繋ぐ。単節LR縄文充填。研磨。補修孔2対。口径20.0。	加曾利B2
176図	457	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	沈線文。列点状刺突文。	称名寺2
176図	458	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。雲母含む。良。にぶい褐色。	横位隆帯で区画後、縦位隆線。単節LR縄文充填。	加曾利E4
176図	458	2	浅鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	内外面研磨。	加曾利E4
176図	458	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	縦位の隆線と沈線。単節LR縄文充填。	加曾利E4
176図	458	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	加曾利E4
177図	459	1	深鉢	口縁～胴部(70%)	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	口縁外面肥厚。口縁部幅広く無文帯。頸部に隆帯による柵目区画。横位羽状沈線充填。胴部は隆帯による渦文。沈線充填。口径28.9。残存高21.6。	唐草文系新
177図	460	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	刻みを伴う縦位隆帯。沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
177図	460	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明褐色。	口縁器厚徐々に薄く。単節LR縄文。	加曾利B
177図	460	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色～黒褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	加曾利B2
177図	460	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	加曾利B
177図	464	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	縦位隆線。単節LR縄文充填。	加曾利E4
177図	470	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。雲母含む。良。にぶい褐色。	半截竹管による平行沈線。	勝版2
177図	470	2	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい褐色。	横位刻み目列。	阿玉台1b
177図	470	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁内屈し、端部短く直立。調整不明。	勝版2
177図	470	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	口縁内面後、横位沈線。	勝版3
177図	470	5	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	横位刻み目列。	阿玉台1b
177図	470	6	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	浅い縦位沈線施文後、横位沈線。	加曾利E1
177図	470	7	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	燃れしを地文とし、隆帯により区画文。	加曾利E1
177図	470	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	隆帯による文様。	加曾利E1
177図	470	9	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	突起部。上面に隆帯による渦文。	唐草文系古
177図	470	10	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	隆帯による渦文・区画文。縦位沈線充填。内外面研磨。赤色塗彩不明。	加曾利E3古
178図	471	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	波状口縁？。口縁内面後。	称名寺1
178図	471	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	無文。研磨。	称名寺1
178図	471	3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
178図	471	4	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。器面劣化により縄文有無不明。	称名寺1
178図	471	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位隆線。環状粘土貼付。粗い研磨。	称名寺1
178図	471	6	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	指頭による押圧を伴う横位隆帯。	称名寺1
178図	471	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	横位隆帯。沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
178図	471	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節LR縄文？充填。	称名寺1
178図	471	9	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	横位隆線。	称名寺1
178図	471	10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	縦位弧状隆線。	称名寺1

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別 器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
178図	471	11	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	単節LR縄文。	後期
178図	471	12	土製円盤	完形	細砂粒多。良。明赤褐色。	器面劣化。条線文?。全周打ち欠き成形。直径4.8。厚さ1.4。	不明
178図	472	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。橙色。	指頭による押圧を伴う横位隆帯。3と同一個体。	加曽利E 4
178図	472	2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	口縁内面後。口縁研磨。横位隆帯。	加曽利E 4
178図	472	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	指頭による押圧を伴う横位隆帯。1と同一個体。	加曽利E 4
178図	472	4	瓢形	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	内面に鏝状隆帯貼付。外面は横位隆帯貼付し、縦位隆帯。沈線文充填。	加曽利E 4
178図	476	1	深鉢	口縁部片	粗砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯による区画文。単節LR縄文。	加曽利E 3
178図	476	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	縦位沈線。単節LR縄文充填。	加曽利E 4
178図	476	3	深鉢	胴部片	砂粒少。良。にぶい褐色。	2条単位の縦位沈線。複節LR縄文充填。	加曽利E 3
178図	476	4	器台	ほぼ完形	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	台面・外面研磨。正面・左右に計3個の円形透かし孔(裏面なし)。台面径9.4。台部径10.0。高さ14.5。	加曽利E 3
178図	486	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内面後。沈線文。縄文有無不明。	称名寺2
178図	486	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	条線文。	称名寺2
179図	493	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	小波状口縁。内面三叉状陰刻。外面波状沈線。横位沈線。2と同一個体。	五領ヶ台
179図	493	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	横位沈線。1と同一個体。	五領ヶ台
180図	496	1	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。橙色。	器面劣化。条線文。2と同一個体。	堀之内1
180図	496	2	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。褐色。	器面劣化。条線文。1と同一個体。	堀之内1
180図	496	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	沈線文。5と同一個体。	堀之内1
180図	496	4	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	単節LR縄文。	堀之内1
180図	496	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。3と同一個体。	堀之内1
180図	496	6	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	沈線文。縄文原体不明。	堀之内1
180図	499	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	隆帯と沈線による区画文。縄文有無不明。	加曽利E 3
180図	499	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	指頭による押圧を伴う横位隆帯。3・6と同一個体。	称名寺1
180図	499	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	指頭による押圧を伴う横位隆帯。2・6と同一個体。	称名寺1
180図	499	4	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	櫛歯状工具による条線文を地文とし、2条単位の沈線による磨消文。蛇行沈線。	加曽利E 3
180図	499	5	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	横位隆帯。11・16と同一個体。	称名寺1
180図	499	6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	指頭による押圧を伴う隆帯。口縁部から垂下し、屈曲して横位隆帯となる。2・5と同一個体。	称名寺1
180図	499	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。単節LR縄文。条線文。	加曽利E 3
180図	499	8	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	縦位沈線。縄文原体不明。	称名寺1
180図	499	9	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。底径12.0。	称名寺1
180図	499	10	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	口縁屈曲。内外面研磨。	称名寺1
180図	499	11	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	無文。5・16と同一個体。	称名寺1
180図	499	12	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	櫛歯状工具による条線文。	不明
180図	499	13	深鉢	口縁～胴部	砂粒やや多。良。褐色。	刻みを伴う横位隆帯。	称名寺1
180図	499	14	土製円盤	完形	砂粒やや多。良。明赤褐色。	劣化により文様不明。全周研磨成形?。直径2.5。厚さ1.0。	不明
181図	499	15	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁突起。突起部からJ字状文貼付。横位隆帯。単節LR縄文。鋭い沈線による斜格字文。	称名寺1
181図	499	16	深鉢	口縁～胴部	砂粒やや多。良。褐色。	横位隆帯。口径34.0。残存高24.7。5・11と同一個体。	称名寺1
181図	505	1	深鉢	底部片	砂粒多。雲母含む。良。褐色。	底面剥落。底径9.0。	中期唐草文
181図	505	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	口縁内面後。沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
180図	505	3	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内面後。沈線文。	称名寺1
180図	505	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位隆帯。	称名寺1
180図	505	5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位隆帯。縄文原体不明。	称名寺1
180図	505	6	深鉢	口縁部片	砂粒多。普通。にぶい褐色。	横位隆帯。	称名寺1
181図	505	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。列点状刺突文。12と同一個体。	称名寺2
181図	505	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	沈線文。単節LR縄文充填。9と同一個体。	称名寺1
181図	505	9	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	沈線文。単節LR縄文充填。円形粘土貼付。8と同一個体。	称名寺1
181図	505	10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	横位・縦位隆帯。交点環状。	称名寺1
180図	505	11	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	指頭による押圧を伴う横位隆帯。	称名寺1
181図	505	12	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	沈線文。列点状刺突文。7と同一個体。	称名寺2
181図	505	13	鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	全面刺突。	三斗桶
181図	505	14	深鉢	胴部片	粗砂粒多。普通。明赤褐色。	器面劣化。沈線文。	堀之内2
181図	505	15	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	外面研磨。底面網代痕。底径7.0。	堀之内2
182図	505	16	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	沈線文。	堀之内2
182図	505	17	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	条線文。	後期
182図	505	18	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	隆帯による連弧状区画。区画内に沈線により楕円文。縦位短沈線充填。胴部燃文R縦位施文を地文とし隆帯貼付。口径15.3。	唐草文系新
182図	505	19	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
182図	505	20	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	波状口縁。把手。沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
182図	505	21	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明褐色。	斜位に隆帯貼付。	称名寺1
182図	510	1	深鉢	口縁～胴上半(25%)	白色粒子。砂粒多。良。にぶい褐色。	波状口縁。鋸歯状突起。隆帯と半截竹管による平行沈線。三叉状陰刻。口径(23.3)。	焼町
182図	517	1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	幅広連続刺突文。	勝飯1
182図	518	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	斜位沈線。	唐草文系新
182図	518	2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。暗赤褐色。	口縁隆帯による区画。弧線充填。胴部単節LR縄文を地文とし、2条単位の縦位沈線。蛇行沈線。口径(20.4)。	唐草文系新
182図	519	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	複節LR縄文を地文とし2条単位の沈線による磨消縄文。	加曽利E 3
182図	519	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。	加曽利E 3
182図	519	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	縦位沈線。単節LR縄文。	加曽利E 3
182図	520	1	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。明赤褐色。	縦位沈線。単節LR縄文。	加曽利E 3
182図	520	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	横位沈線。単節LR縄文。	加曽利E 3
182図	520	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	横位沈線。円形刺突。	加曽利E 3
183図	521	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	波状口縁。沈線2条。単節LR縄文。3と同一個体。	加曽利E 4
183図	521	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	横位隆帯。単節LR縄文。	加曽利E 4
183図	521	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	波状口縁。沈線2条。単節LR縄文。1と同一個体。	加曽利E 4
183図	521	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線文。単節LR縄文?充填。	加曽利E 4
183図	521	5	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	無文。研磨?。口径(20.2)。	加曽利E 4
183図	521	6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	横位隆帯。	加曽利E 4
183図	521	7	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	加曽利E 4
183図	521	8	深鉢	胴部片	粗砂粒多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。縦位沈線。	加曽利E 4
183図	521	9	深鉢	底部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	器面劣化。底径7.1。残存高3.9。	加曽利E 4
183図	521	10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	いわゆる両耳壺。器面劣化。単節LR縄文?。	加曽利E 4
183図	521	11	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰黄色。	器面劣化。横位隆帯。	加曽利E 4
183図	521	12	瓢形	口縁～胴部(70%)	砂粒少。良。にぶい褐色。	瓢形あるいは壺形。赤色塗彩確認できず。隆帯による文様。剥落部に把手があった可能性高い。口径7.0。	加曽利E 4

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
185図	523	1	深鉢	底部片	粗砂粒やや多。良。明褐色。	外面・底面劣化。無文?。底径10.0。	後期
185図	524	1	鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。	堀之内1
185図	524	2	鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	沈線文。	堀之内1
185図	524	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線による三角形文。	堀之内2
185図	525	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	隆帯。沈線文。	堀之内1
185図	525	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。	堀之内1
185図	529	1	深鉢	胴部片	砂粒多。片岩含む。良。赤褐色。	幅広連続刺突文。三角連続刺突文。	勝坂1
185図	529	2	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。赤褐色。	単節LR縄文。沈線文。	加曾利E1
185図	529	3	浅鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	横位沈線で区画。縦位沈線・刻みを充填。	加曾利E1
185図	529	4	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	加曾利E4
185図	529	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	横位・縦位隆線。	加曾利E4
185図	529	6	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	加曾利E4
185図	529	7	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	縦位沈線。単節LR縄文充填。	加曾利E4
186図	530	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁部屈曲。貫通孔を伴う突起。横位沈線。	堀之内1
186図	531	1	甕	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	波状口縁?。口縁部浮線状隆線。単節LR縄文。	弥生・ 中期前半
186図	531	2	甕	胴部片	砂粒多。良。褐色。	器面劣化。条痕文?	弥生・ 中期前半
186図	531	3	甕	胴部片	細砂粒多。良。灰黄褐色。	条痕文。	弥生・ 中期前半
186図	531	4	甕	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	器面劣化。条痕文。	弥生・ 中期前半
186図	531	5	甕	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	条痕文。	弥生・ 中期前半
186図	531	6	甕	胴部片	砂粒多。良。褐色。	横位沈線。	弥生・ 中期前半
186図	531	7	甕	胴部片	砂粒多。良。暗灰黄色。	横位沈線。	弥生・ 中期前半
186図	531	8	甕	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	三角連繫文?。刺突。	弥生・ 中期前半
186図	534	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	隆帯貼付。隆帯上に刺突列。	勝坂2
186図	534	2	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	山形突起。口唇突起間に沈線。口頸部研磨。単節LR縄文。	三十稲場
186図	534	3	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
186図	534	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。半截竹管による平行沈線。縄文有無不明。	不明
187図	535	1	甕	口縁~胴上半(30%)	細砂粒多。良。灰褐色。	口縁部突起。三叉状陰刻を伴う沈線。頸部無文。胴上半横位綾杉文。胴下半条痕文。内面と外面下半部劣化。口径28.8。残存高20.8。	弥生・ 中期前半
187図	535	2	甕	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	単節LR縄文。	弥生・ 中期前半
187図	535	3	甕	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口唇指頭による刻み。無文。	弥生・ 中期前半
187図	535	4	甕	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	単節LR縄文。	弥生・ 中期前半
187図	535	5	甕	胴部片	粗砂粒多。良。にぶい黄褐色。	条痕文。	弥生・ 中期前半
187図	535	6	甕	胴部片	砂粒多。普通。灰黄褐色。	条痕文。	弥生・ 中期前半
187図	535	7	甕	胴部片	砂粒多。良。褐色。	条痕文。	弥生・ 中期前半
187図	535	8	甕	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	単節LR縄文を地文とし沈線文。	弥生・ 中期前半
187図	536	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	口縁内面肥厚。突起部に沈線文。外面突起部に盲孔。内外面粗い研磨。	堀之内1
187図	536	2	深鉢	胴部片	赤色粒。砂粒多。良。にぶい褐色。	単節LR縄文。3と同一個体。	堀之内1
187図	536	3	深鉢	胴部片	赤色粒。砂粒多。良。赤褐色。	頸部横位沈線。盲孔。胴部単節LR縄文施文後。沈線文。2と同一個体。	堀之内1
187図	539	1	深鉢	胴部片	粗砂粒多。普通。明赤褐色。	器面劣化。縦位沈線。単節LR縄文。蛇行沈線。	加曾利E3
187図	539	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	突起。3条単位の縦位沈線。中央沈線の上端は蕨手状。単節LR縄文充填。	加曾利E3
188図	539	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	隆帯と沈線による区画文。条線文充填。	加曾利E3
188図	539	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	横位隆帯。条線文。	加曾利E3
188図	541	1	甕	口縁部片	砂粒多。片岩含む。良。にぶい褐色。	横位沈線。	弥生・ 中期前半
188図	541	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明黄褐色。	口縁屈曲。中央に貫通孔を伴う突起。横位沈線。盲孔。	堀之内1
188図	541	3	甕	口縁部片	砂粒多。片岩含む。良。にぶい褐色。	三角連繫文。4と同一個体。	弥生・ 中期前半
188図	541	4	甕	胴部片	砂粒多。片岩含む。良。にぶい褐色。	三角連繫文。3と同一個体。	弥生・ 中期前半
188図	544	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	縦位隆線。	加曾利E4
188図	544	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。にぶい赤褐色。	口縁内面後。横位隆帯で区画し斜行する隆帯貼付。	曾利古
188図	544	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆帯による区画文。斜位沈線充填。	唐草文系新
188図	544	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。雲母含む。良。黒褐色。	口縁内面後。外面無文。	唐草文系新
188図	544	5	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	器面劣化。底径8.0。	中期
188図	547	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	隆帯貼付。隆帯上八字状刻み。	勝坂3
188図	548	1	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。にぶい赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
188図	550	1	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。褐色。	縦位沈線。単節LR縄文?。	加曾利E3
188図	550	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	縦位沈線。斜位沈線。	唐草文系新
189図	551	1.2	切断壺	身部ほぼ完形。蓋部破片	細砂粒多。良。明黄褐色	切断壺型土器。内外面丁寧な研磨。ただし荒れ、劣化。赤色塗彩は確認不能。切断面に山形の突部と対向する位置にV字状の凹部あり。口唇部は鋭利な刃物で切ったような切断面をそのまま残す。最大径10.7。底径4.0。蓋部は破片である。	後期
189図	551	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。刺突。	称名寺2
189図	551	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。	堀之内1
189図	551	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位の隆帯と沈線。単節LR縄文。	堀之内1
190図	551	7	深鉢	口縁~胴部(20%)	粗砂粒多。良。褐色。	口縁刺突列。胴部歯輪状工具による斜格子文。内外面劣化著しい。口径(31.0)。	堀之内1
190図	551	8	深鉢	底部片	砂粒多。普通。褐色。	底面網代痕。底径9.0。	後期
190図	555	1	在土器内耳土器?	口縁部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	口縁部上面。平坦。	中世
190図	572	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	縦位沈線。	勝坂3

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
190図	572	2	深鉢	胴部片	細砂粒多、雲母含む。良。明赤褐色。	刻みを伴う横位隆帯。	勝坂3
191図	581	1	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。黒褐色。	隆帯貼付。隆帯に沿い刺突列。	勝坂1
191図	581	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	隆帯貼付。沈線文。	勝坂2
191図	581	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	沈線。幅広連続刺突文。	勝坂2
190図	581	4	深鉢	口縁部片	粗砂粒多、片岩含む。良。褐色。	扇状把手。2条の結節沈線。	阿玉台1b
191図	581	5	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。褐色。	隆帯と沈線による文様。	焼町
191図	581	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	条線文施文後に沈線文。	加曾利E1
191図	581	7	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。褐色。	隆帯と沈線による文様。	焼町
191図	581	8	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明褐色。	半截竹管による横位平行沈線。交互刺突列。口径(15.2)。	加曾利E1
191図	581	9	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	燃系L縦位施文後に横位隆帯。	加曾利E1
191図	581	10	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	燃系R縦位施文。	加曾利E1
191図	581	11	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	条線文。蛇行沈線。	不明
191図	581	12	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	条線文。	不明
191図	581	13	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	燃系R縦位施文。	加曾利E1
191図	581	14	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	燃系R縦位施文後に横位沈線。	加曾利E1
191図	606	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	3条単位の縦位沈線。単節LR縄文充填。	加曾利E3
191図	606	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯と沈線による楕円区画。沈線充填。	唐草文系新
191図	606	3	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。赤褐色。	3条単位の縦位隆帯。条線文。	唐草文系新
191図	606	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯貼付。斜位沈線充填。	唐草文系新
191図	606	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	縦位隆帯。斜位沈線充填。	唐草文系新
191図	606	6	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。暗赤褐色。	隆帯貼付。	唐草文系新
191図	606	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯による渦文。斜位沈線充填。	唐草文系新
191図	606	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	無節L縄文。	唐草文系新
191図	643	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。極暗赤褐色。	沈線による三角形文。研磨。	堀之内2
191図	661	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	単節LR縄文を地文とし、3条単位の沈線による曲線的な磨消縄文。	堀之内1

横壁中村遺跡28区 土坑

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
195図	2	1	磁器 染付碗	胴部～底部片 (30%)	良。灰白色。	瀬戸・美濃。	19世紀
195図	4	1	深鉢	胴部片	砂粒多、雲母含む。良。にぶい赤褐色。	突起状になる隆帯と半截竹管による平行沈線。空白部に短沈線充填。	焼町
195図	4	2	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	隆帯による区画文。	加曾利E3
195図	4	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	隆帯と沈線による曲線文。単節LR縄文。	加曾利E3
195図	4	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	横位隆帯。縦位沈線充填。	焼町
195図	5	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明褐色。	横位沈線。沈線による区画文。縄文原体不明充填。	加曾利E3
195図	5	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒色。	隆帯と沈線による口縁部区画文。単節LR縄文。	加曾利E3
195図	5	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	縦位沈線。単節LR縄文。	加曾利E3
195図	5	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	櫛歯状工具による条線文。	加曾利E3
195図	5	5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	縦位沈線。単節LR縄文。	加曾利E3
195図	5	6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	無文。内外面研磨。	加曾利E3
195図	5	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線による区画文。単節LR縄文充填。	加曾利E3
195図	5	8	深鉢	胴部片	細砂粒多。普通。明褐色。	縦位沈線。単節LR縄文。	加曾利E3
195図	5	9	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	2条単位の縦位沈線。無節L縄文充填。	加曾利E3
195図	10	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位沈線で口縁部区画。縦位沈線。単節LR縄文充填。	加曾利E4
195図	10	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。普通。にぶい黄褐色。	横位隆帯。縦位弧状隆帯。単節LR縄文充填。	加曾利E4
195図	10	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	横位隆帯。	加曾利E4
195図	10	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	横位隆帯。	加曾利E4
195図	10	5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	縦位沈線。単節LR縄文。	加曾利E4
196図	12	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	縦位沈線。単節LR縄文。	加曾利E3
196図	12	2	深鉢	口縁～胴部	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁内面折り返し状。横位隆帯により口縁部無文帯。胴部は縦位隆帯を貼付し、斜位沈線充填。その後、隆帯に沿う沈線。口径(29.4)。残存高25.2。	唐草文系新
196図	13	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黄灰色。	無文。内外面ナデ。	後期
196図	13	2	深鉢	口縁～胴部 (70%)	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	正面に山形の突起(対向する面に大突起?)。沈線文。縄文充填無し。無文部・内面やや粗い研磨。口径22.0。	称名寺2
196図	13	3	土偶	胴部片	砂粒。金雲母多。良。黄褐色。	隆帯に沿い、併行沈線。胴部、脚部の中心に円孔を施す。	焼町
197図	14	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。赤褐色。	沈線文。無節LR縄文充填。	堀之内1
197図	14	2	深鉢	底部片(70%)	砂粒多。良。黒色。	内面研磨。外面・底面粗い研磨。底面一部網代痕残存。底径11.6。	後期
197図	15	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。粗い研磨。	称名寺2
197図	15	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位隆帯を巡らし口縁との間に橋状把手。縦位隆帯。単節LR縄文充填。	称名寺1
197図	15	3	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒色。	口縁部から橋状把手。沈線文。単節LR縄文充填。口径(13.8)。	称名寺1
197図	15	4	深鉢	口縁～胴部 (50%)	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	正面に大突起。側面に横C字状の小突起。沈線文。単節LR縄文充填。無文部・内面は丁寧な研磨。口径(20.0)。	称名寺1

横壁中村遺跡29区 土坑

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
201図	1	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	横位波状沈線。弧状沈線。4と同一個体。	唐草文系新
201図	1	2	深鉢	頸部～胴下半 (90%)	砂粒多、雲母含む。良。赤褐色。	頸部無文。3条単位の横位隆帯貼付後、縦位隆帯3単位。単節LR縄文充填。胴下半部内面に「おこげ」状炭化物付着明瞭。残存高21.2。	唐草文系古 (曾利11)
201図	1	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	単節LR縄文を地文とし縦位沈線。蛇行沈線。	加曾利E3
201図	1	4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	刻みを伴う横位隆帯。横位沈線。横位波状沈線。刺突列。1と同一個体。	唐草文系新
201図	1	5	浅鉢	胴部片	砂粒多。片岩含む。良。にぶい褐色。	外面ケズリ後粗い研磨。内面研磨。内面一部に赤色塗彩残存。	加曾利E3
201図	3	1	注口	完形	細砂粒少。良。褐色。	注口付深鉢(ミニチュア)。口縁部研磨。注口上に小把手。対向面に突起。沈線文。単節LR縄文充填。高さ6.8。底径4.0。	称名寺1
201図	3	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	器面劣化。沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
201図	4	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	内外面研磨。	加曾利E3
201図	4	2	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	幅広の横位沈線。内外面粗い研磨。	加曾利E3

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm,()は推定値]	時期・備考
202図	5	1	浅鉢	口縁～底部(50%)	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色～黒褐色。	有溝小把手付土器。口縁直立。二条の隆線を巡らせ縦位の橋状把手。隆帯による渦文。内外面全面赤色塗彩。口径18.2。最大径27.0。底径7.4。高さ17.0。	加曾利E 3
202図	5	2	深鉢	胴部～底部(50%)	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	単節LR縄文を地文とし、2条単位の縦位沈線による磨消縄文。縄文部に蛇行沈線。底面研磨。底径7.6。残存高24.3。	加曾利E 3
202図	5	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	横位隆帯。斜位沈線充填。	唐草文系新
202図	6	1	深鉢	口縁～胴部(80%)	砂粒少。良。黒褐色。	3単位突起。口唇刻み。口縁内面段状。沈線文。単節LR縄文。内外面丁寧な研磨。口径15.5。残存高15.2。	加曾利B 2
202図	10	1	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	口縁部粘土貼付により鋸歯状。内面沈線1条。斜格子文?。	加曾利B 2
202図	10	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	横位沈線。斜位沈線。研磨。	加曾利B 2
202図	10	3	鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	横位沈線。刻み列。斜位沈線。	加曾利B 2
202図	10	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	斜位沈線。研磨。	加曾利B 2
202図	10	5	深鉢	口縁部片	細砂粒多。普通。にぶい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	後期
202図	10	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	浅く幅広い横位沈線。	後期
202図	10	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	ケズリ後、粗い研磨。8・9と同一個体。	後期
202図	10	8	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	口縁部に横長の楕円形凹み。外面ケズリ後に粗い研磨。内面ナデ。7・9と同一個体。	後期
202図	10	9	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	口縁部に横長の楕円形凹み。外面ケズリ後に粗い研磨。内面ナデ。7・8と同一個体。	後期
202図	11	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	内外面研磨。	加曾利B 2
202図	11	2	鉢	胴部片	細砂粒少。良。浅黄褐色。	摩滅著しい。斜位沈線。	加曾利B 2
202図	11	3	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁研磨。縦位沈線と弧線文。単節LR縄文充填。	加曾利B 2
203図	11	4	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒色。	沈線文施文後に粗い研磨。	加曾利B 2
203図	11	5	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。灰白色。	器面劣化。沈線文。単節LR縄文?。	加曾利B 2
203図	11	6	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	横位沈線。単節LR縄文充填。	加曾利B 2
203図	11	7	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	胴部で屈曲する鉢の胴下半。横位沈線。外面研磨。内面ナデ。	加曾利B 2
203図	11	8	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	横位沈線で区画。沈線による斜格子文。区画線より上位は研磨。23と同一個体。	加曾利B 2
203図	11	9	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	沈線による斜格子文。	加曾利B 2
203図	11	10	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒色。	口縁研磨。単節LR縄文。	加曾利B 2
203図	11	11	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	条線文。	加曾利B 2
203図	11	12	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁に単節LR縄文帯。横位沈線。	加曾利B
203図	11	13	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	沈線文。	加曾利B
203図	11	14	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	無文。内外面研磨。	加曾利B
203図	11	15	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線文。単節LR縄文?。	加曾利B
203図	11	16	鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁鋸歯状。内面沈線1条。外面下端を横位沈線で区画。斜格子文。	加曾利B 2
203図	11	17	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口唇刻み。無文。20と同一個体。	後期
203図	11	18	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	波状口縁。口縁内面後。口縁外面に小突起。2条の沈線。内外面研磨。	高井東
203図	11	19	鉢	口縁部片	細砂粒少。良。褐色。	器面劣化。横位沈線。	加曾利B
203図	11	20	深鉢	口縁～胴部	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口唇刻み。無文。調整不明。17と同一個体。	後期
203図	11	21	鉢	口縁～胴部(30%)	細砂粒少。良。黒褐色。	口縁内面沈線1条。口縁部を横位沈線で区画し横位羽状沈線。頸部研磨による無文帯。胴部斜格子文。口径26.0。	加曾利B 2
203図	11	22	鉢	胴～底部(30%)	砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。胴部下半・内面・底面研磨。底径(8.0)。	加曾利B 2
203図	11	23	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	横位沈線。内外面研磨。8と同一個体。	加曾利B 2
203図	11	24	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。褐色。	横位沈線。内外面研磨。	高井東
203図	11	25	深鉢	胴部片	砂粒少。良。にぶい褐色。	外面粗い研磨(輪痕痕残存)。内面ナデ。	後期
203図	11	26	深鉢	胴～底部	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	外面被熱劣化。内面研磨。底面網代痕なし。底径10.6。	後期
204図	11	27	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	横位沈線。内外面研磨。	高井東
204図	11	28	鉢	底部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	外面粗い研磨。底面網代痕。底径5.4。	加曾利B
204図	12	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明褐色。	沈線文。	高井東
204図	12	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	波状口縁?。押圧を施す横位隆帯。	高井東
204図	12	3	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黄褐色。	無文。器面劣化により調整不明。	高井東
204図	12	4	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	外面ナデ。底面網代痕。底径8.0。	高井東
204図	14	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	二重口縁。内外面ナデ。	高井東
204図	14	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	単節LR縄文?。	高井東
204図	15	1	深鉢	口縁部片	粗砂粒多。良。にぶい褐色。	二重口縁。内外面ナデ。	晩期
205図	19	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。片岩含む。良。明褐色。	連続刺突文。	勝坂1
205図	19	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線による斜格子文。	加曾利B 3
205図	19	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	口縁肥厚。内外面研磨。	高井東
205図	19	4	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	羽状沈線文。	加曾利B 3
205図	19	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	外面研磨するか輪痕痕明瞭に残存。	高井東
205図	19	6	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁内面肥厚。外面横位沈線。	高井東
205図	19	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	無文。内外面研磨。	高井東
205図	19	8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。条線文?。	高井東
205図	19	9	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁小波状。内外面粗い研磨。	高井東
205図	21	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	隆帯貼付。単節LR縄文充填。	加曾利E 3
205図	21	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	横位沈線。研磨。内面「おこげ」状炭化物付着。	加曾利B
205図	21	3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。	後期
205図	25	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒褐色。	口唇刻みにより鋸歯状。内面沈線1条。羽状沈線。	加曾利B 2
205図	30	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	内外面研磨。	後期
205図	30	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	外面ナデ(輪痕痕残存)。	高井東
205図	30	3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	やや幅広い横位沈線3条。	高井東
205図	33	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	口縁内面後。沈線文。単節LR縄文充填。研磨。	称名寺1
205図	33	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明褐色。	縦位隆線。	称名寺1
205図	33	3	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。明褐色。	横位隆線。単節LR縄文充填。	称名寺1
205図	33	4	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。外面「おこげ」状炭化物付着。5・6と同一個体。	堀之内1
205図	33	5	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。外面「おこげ」状炭化物付着。4・6と同一個体。	堀之内1
205図	33	6	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。褐色。	盲孔。沈線文。単節LR縄文充填。外面「おこげ」状炭化物付着。4・5と同一個体。	堀之内1
205図	33	7	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁屈曲。沈線1条。	堀之内1
205図	33	8	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。黒褐色。	口縁短く屈曲。横位隆帯(剥落)。沈線文。単節LR縄文充填。研磨。	堀之内2
205図	33	9	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	口縁内面沈線1条。内外面研磨。	堀之内2

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm,()は推定値]	時期・備考
205図	33	10	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	口縁短く内屈。刻みを伴う横位隆帯。縦長の8字貼付文。研磨。	堀之内2
205図	33	11	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	口縁内面沈線1条。刻みを伴う横位隆帯。沈線文。内外面研磨。	堀之内2
205図	33	12	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	口縁内面沈線1条。内外面粗い研磨。	堀之内2
206図	33	13	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁内面沈線1条。外面粗い研磨。	堀之内2
206図	33	14	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁やや屈曲し外削ぎ状。粗い研磨。	堀之内2
206図	33	15	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁短く屈曲。沈線文。単節LR縄文充填。外面炭化物付着。	堀之内2
206図	33	16	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	口唇と口縁内面に1条ずつ沈線。外面刻みを伴う横位隆帯。横位沈線。	堀之内2
206図	33	17	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁内面沈線2条。刻みを伴う横位隆帯。8字貼付文?。	堀之内2
206図	33	18	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	外面無文。口縁内面沈線2条。	堀之内2
206図	33	19	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。褐灰色。	外面研磨。内面横位沈線と隆帯。溝底に円形刺突。	堀之内2
206図	33	20	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁短く屈曲。	堀之内2
206図	33	21	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	刻みを伴う横位隆帯。沈線文。	堀之内2
206図	33	22	鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	外面研磨。横位沈線。単節LR縄文充填。口縁内面に稜を有し。単位文。	堀之内2
206図	33	23	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
206図	33	24	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
206図	33	25	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。黒褐色。	細沈線による集合沈線。研磨。	堀之内2
206図	33	26	浅鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。橙色。	口縁屈曲。口唇刻み。内面隆帯。円形刺突。横位沈線。	加曾利B1
206図	33	27	注口	胴部片	細砂粒少。良。にぶい褐色。	注口部欠損。沈線文。	加曾利B1
206図	33	28	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	横位沈線。単節LR縄文充填。	加曾利B1
206図	33	29	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい褐色。	横位沈線。区切り文。研磨。	加曾利B1
206図	33	30	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。褐灰色。	横位沈線による横位集合沈線。	加曾利B1
206図	33	31	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	横位沈線。単節LR縄文充填。	加曾利B1
206図	33	32	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。黒色。	注口土器の可能性有り。2条単位の沈線を施し。刺突を加える。研磨。	加曾利B1
206図	33	33	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	横位沈線。単節LR縄文充填。	加曾利B1
206図	33	34	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位沈線。単節LR縄文充填。	加曾利B1
206図	33	35	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	研磨後に鋭い斜位沈線。	加曾利B2
206図	33	36	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	斜位沈線。	加曾利B2
206図	33	37	鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	斜位短沈線。	加曾利B2
206図	33	38	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁部無文。内外面ナデ。刻みを伴う横位隆帯。	加曾利B2
206図	33	39	鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	口唇内削ぎ状。粗い研磨。	加曾利B2
206図	33	40	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	浅い幅広の沈線。無節LR縄文。	加曾利B2
206図	33	41	胴部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	横位沈線。斜位沈線。	加曾利B2	
206図	33	42	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	斜位沈線。	加曾利B2
206図	33	43	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	横位羽状沈線。	加曾利B2
206図	33	44	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	斜位沈線。	加曾利B2
206図	33	45	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	粗い研磨後に横位羽状沈線。内面研磨。	加曾利B2
207図	33	46	鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐灰色。	口縁内面沈線1条。粗い研磨。	加曾利B2
207図	33	47	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	口唇刻み。横位沈線。研磨。	加曾利B2
207図	33	48	鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	外面斜格子文?。内面丁寧な研磨。	加曾利B2
207図	33	49	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。にぶい褐色。	沈線文。研磨とケズリ痕を残す部分有り。	加曾利B2
207図	33	50	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	横位隆帯。単節LR縄文。	加曾利B2
207図	33	51	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	波状口縁。口縁内面後。2溝間の截痕を伴う沈線。無節LR縄文。粗い研磨。	加曾利B3
207図	33	52	鉢	胴部片	砂粒やや多。片岩含む。良。にぶい黄褐色。	斜位沈線。	加曾利B2
207図	33	53	鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	斜位沈線。	加曾利B2
207図	33	54	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	条線文。	加曾利B2
207図	33	55	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	沈線による斜格子文。	加曾利B2
207図	33	56	鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒褐色。	口唇刻み。粗い研磨。屈曲部に沈線。	後期
207図	33	57	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒色。	粗い研磨。内面ナデ。	後期
207図	33	58	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	単節LR縄文。底面研磨。底径9.2。	後期
207図	33	59	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	外面研磨。底面網代痕。底径7.0。	後期
207図	33	60	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	底部張り出す。外面研磨。底面網代痕。	後期
207図	33	61	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁内湾。内外面研磨。	後期
207図	33	62	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。褐色。	底部張り出す。外面研磨。底面網代痕。底径8.0。	後期
207図	33	63	深鉢	底部片	細砂粒少。良。橙色。	外面器面劣化。底面網代痕。	後期
207図	33	64	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	突起部。内外面共に「ノ」字状沈線。	加曾利B2
207図	34	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。	堀之内2
207図	34	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。暗褐色。	単節LR縄文縦位施文。	堀之内2
207図	34	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。片岩含む。良。明褐色。	無文。粗い研磨。	堀之内2
207図	34	4	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	細く鋭い沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
207図	34	5	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	8字貼付文。細く鋭い沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
207図	34	6	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。赤褐色。	底面網代痕。底径(8.0)。	後期
207図	36	1	鉢	胴部片	細砂粒少。良。灰黄褐色。	沈線による斜格子文。	加曾利B2
207図	36	2	鉢	胴部片	砂粒多。良。黒色。	横位沈線。内外面研磨。	加曾利B
207図	36	3	鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	底面研磨。	後期
207図	37	1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	貫通孔を有する突起。突起下に8字貼付文を付し縦位隆帯。横位沈線で区画後。沈線文。	堀之内2
207図	37	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。片岩含む。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節LR縄文。	勝飯2
207図	37	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
207図	37	4	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内2
207図	37	5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。研磨。	堀之内2

横壁中村遺跡30区 土坑

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm,()は推定値]	時期・備考
213図	1	1	深鉢	口縁部片	砂粒多。片岩含む。良。明褐色。	口縁内面後。隆帯貼付。擦れシ。	加曾利E1
213図	1	2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。橙色。	縦位沈線。複節LR縄文。	加曾利E1
213図	1	3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁屈曲。横位沈線と刻み列。	堀之内1
213図	1	4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。暗褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	堀之内1
213図	1	5	深鉢	胴部片	砂粒多。普通。明褐色。	沈線文。	堀之内1
213図	1	6	鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	口縁対向する突起。沈線と盲孔。外面把手。粗い研磨。	堀之内1

遺物観察表

図版番号	土坑番号	遺物番号	種別器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴 計測値[単位:cm、()は推定値]	時期・備考
213図	2	1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	隆帯と沈線による口縁部区画。器面劣化により縄文有無不明。	加曾利E 3
213図	2	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明黄褐色。	縦位沈線。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
213図	2	3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	縦位隆帯。無節L縄文充填。	加曾利E 4
213図	2	4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。縄文原体不明充填。	堀之内1
213図	2	5	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	堀之内2
213図	3	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	隆帯と沈線による口縁部区画。	加曾利E 3
213図	3	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。無文部研磨。	加曾利E 4
213図	3	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明褐色。	幅広い沈線。単節L R縄文。	加曾利E 3
213図	3	4	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒色。	口縁内面肥厚。横位沈線により口縁部無文帯。単節L R縄文。	加曾利E 4
213図	3	5	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。	堀之内1
213図	3	6	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文。	堀之内1
214図	13	1	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。明褐色。	無節L R縄文を地文とし、口縁に隆帯による楕円区画。胴部は2条単位の縦位沈線による磨消縄文。口径14.3。	加曾利E 3
214図	13	2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	突起有り。隆帯と沈線により口縁区画。縦位隆帯。単節L R縄文充填。	加曾利E 3
214図	13	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。灰黄褐色。	条線文。研磨。	加曾利E 3
214図	13	4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	隆帯貼付。単節L R縄文。	加曾利E 3
214図	13	5	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	幅広い沈線により口縁区画。2条単位の縦位沈線。単節L R縄文充填。	加曾利E 3
214図	13	6	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。片岩含む。良。黒色。	幅広い隆帯による文様。	加曾利E 3
214図	13	7	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	蕨手状沈線。逆U字状沈線区画。単節L R縄文?充填。	加曾利E 3
214図	15	1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	隆帯と沈線により口縁区画。単節L R縄文。	加曾利E 4
214図	15	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。縄文原体不明充填。	加曾利E 4
214図	15	3	深鉢	胴部片	細砂粒多。普通。にぶい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
214図	18	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	縦位沈線。単節L R縄文充填。	加曾利E 4
214図	18	2	深鉢	底部片	砂粒多。良。明褐色。	底部やや張り出し。上げ底状。外面・底面研磨。底径5.6。	中期
214図	18	3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	縄文原体不明。沈線文。	堀之内1
214図	18	4	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	沈線文。	堀之内1
214図	18	5	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。縄文原体不明。	堀之内1
214図	18	6	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	不明
214図	18	7	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。	不明
215図	19-20	1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺1
215図	19-20	2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	堀之内1
215図	19-20	3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺1
215図	19-20	4	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	内面沈線2条。沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利B 1
215図	19-20	5	鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	刻みを伴う横位隆帯。	加曾利B 2
215図	19-20	6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	波状口縁。口唇刻み。口縁短く外反。斜位沈線文。	加曾利B 2
215図	19-20	7	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。普通。灰黄褐色。	器面劣化。口縁部研磨。横位隆帯。	加曾利B 2
215図	19-20	8	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	突起。盲孔。沈線文。単節L R縄文充填。研磨。	加曾利B 2
215図	19-20	9	鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。研磨。	加曾利B 2
215図	19-20	10	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	単節L R縄文施文後に沈線。	加曾利B 2
215図	19-20	11	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	単節L R縄文。	加曾利B 2
215図	19-20	12	鉢	底部片	細砂粒少。良。褐灰色。	底部やや張り出す。外面研磨。	加曾利B 2
215図	19-20	13	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	条線文。	加曾利B
215図	19-20	14	深鉢	底部片	砂粒少。良。褐色。	底部やや張り出す。外面研磨。底面網代痕。底径7.2。	加曾利B
215図	21	1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	縦位沈線。単節L R縄文充填。	加曾利E 3
215図	21	2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。	堀之内1
215図	21	3	深鉢	底部片	砂粒多。良。明褐色。	器面劣化。調整不明。底径8.0。	後期
215図	22	1	鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	無文。	加曾利B
215図	22	2	浅鉢	口縁~底部(20%)	細砂粒多。良。暗褐色。	口唇刻み。内面横位隆帯を貼付し刺突列。沈線帯単節L R縄文充填。底部に段有り。無文部丁寧な研磨。外面粗い研磨。口径(32.8)。底径10.4。	加曾利B 1
215図	23	1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。明黄褐色。	沈線文。	不明
215図	23	2	深鉢	底部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	外面研磨。底径7.6。	後期
215図	23	3	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	外面・底面研磨。底径8.2。	後期
216図	24	1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	内面沈線2条。沈線文。単節L R縄文充填。研磨。	加曾利B 2
216図	24	2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	横位沈線。単節L R縄文。研磨。	加曾利B 2
216図	28	1	在出土器内耳土器?	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁部上面は平坦。器壁は薄い。口縁部は、内湾し直立。内耳部分は確認できない。	中世
216図	30	1	在出土器内耳土器?	底部片	砂粒多。良。黒褐色。	平底の底部片か。	中世
216図	32	1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	沈線文。	称名寺2
216図	33	1	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。明褐色。	沈線文。	堀之内1
216図	33	2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	口縁屈曲。内外面ナデ。	堀之内1
216図	33	3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	単節L R縄文を地文とし、刻みを伴う横位隆帯。沈線文。	堀之内1
216図	33	4	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁屈曲。	堀之内2
216図	33	5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	沈線文。	堀之内2
216図	33	6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	堀之内2
216図	33	7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線文。	堀之内2
216図	33	8	深鉢	口縁部片	赤色粒。砂粒多。良。暗褐色。	外面ケズリ成形後に粗い研磨。8~11同一個体。	後期
216図	33	9	深鉢	胴部片	赤色粒。砂粒多。良。黒褐色。	外面ケズリ成形後に粗い研磨。8~11同一個体。	後期
216図	33	10	深鉢	胴部片	赤色粒。砂粒多。良。にぶい赤褐色。	外面ケズリ成形後に粗い研磨。8~11同一個体。	後期
216図	33	11	深鉢	口縁部片	赤色粒。砂粒多。良。明褐色。	外面ケズリ成形後に粗い研磨。8~11同一個体。	後期
216図	33	12	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	波状口縁。波頂部狭口状。口縁は内屈し、屈曲部に隆帯。沈線と刺突列。内外面粗い研磨。	高井東
216図	33	13	深鉢	底部片	粗砂粒多。良。にぶい黄褐色。	外面ナデ。底面磨滅。底径10.6。	後期
216図	33	14	土製円盤	完形	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線。全周打ち欠き成形。直径3.3。厚さ1.1。	不明

遺物観察表

遺物観察表(石器)

横壁中村遺跡18区 土坑

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
34図	2	4	台石	ほぼ完形	358.0	145.0	78.0	5,300.0	粗粒輝石安山岩	
34図	3	6	削器	完形	(71.5)	41.5	17.0	49.0	細粒輝石安山岩	
35図	12	12	台石	完形	336.0	245.0	115.0	17,500.0	石英閃緑岩	
36図	16	1	軽石製品	完形	56.4	56.9	7.5	15.6	軽石	皿状。外面、凹形に溝
36図	16	2	軽石製品	40%	(48.6)	(45.5)	17.0	15.1	軽石	
36図	16	3	打製石斧	80%	(130.0)	54.4	18.0	149.0	粗粒輝石安山岩	分銅形
37図	17	6	磨石	完形	132.0	89.0	83.0	1,349.5	粗粒輝石安山岩	
37図	17	7	磨石	ほぼ完形	137.0	90.0	56.0	980.9	粗粒輝石安山岩	
38図	65	24	磨石	ほぼ完形	121.0	88.0	52.0	867.2	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
39図	72	4	石鏃	完形	28.0	19.8	7.0	3.0	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	基部は浅い逆U字状
39図	74	3	磨石	完形	93.0	101.0	53.0	726.1	粗粒輝石安山岩	
42図	240	1	台石	ほぼ完形	249.0	186.0	123.5	8,600.0	石英閃緑岩	
43図	279	9	磨石	完形	111.0	72.0	40.0	501.3	ひん岩?	
44図	280	23	打製石斧	80%	(113.7)	71.3	12.0	142.0	細粒輝石安山岩	分銅形

横壁中村遺跡19区 土坑

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
66図	4	10	石鏃	ほぼ完形	12.9	10.6	3.0	0.3	黒曜石	基部は浅い逆U字状
66図	4	11	磨石	完形	107.0	65.0	25.5	253.7	安山岩	
67図	10	7	石鏃	完形	(18.2)	(13.0)	2.0	0.4	黒曜石	
67図	10	8	打製石斧	80%	(65.1)	35.3	1.3	45.0	細粒輝石安山岩	短冊形か
67図	10	9	打製石斧	完形	(108.8)	45.7	11.0	88.0	黒色頁岩	短冊形
67図	10	10	磨石	完形	117.0	90.0	65.0	980.4	粗粒輝石安山岩	
69図	25	5	石皿	90%	396.0	304.0	92.0	16,600.0	粗粒輝石安山岩	楕円形、縁付き
69図	27	14	凹石	完形	125.0	98.0	56.0	880.0	粗粒輝石安山岩	
70図	27	15	多孔石	ほぼ完形	245.0	188.0	135.0	7,300.0	安山岩	
70図	27	16	磨石	完形	112.0	72.0	50.0	645.0	粗粒輝石安山岩	
70図	28	8	石鏃未製品		16.8	12.3	3.5	0.8	黒曜石	
71図	33	6	打製石斧	90%	(98.1)	62.3	30.0	152.5	細粒輝石安山岩	撥形か
72図	38	17	石鏃	90%	19.0	10.0	3.0	0.3	黒曜石	
72図	38	18	削器	完形	27.0	16.0	3.0	1.9	黒曜石	
72図	38	19	打製石斧	80%	90.0	34.0	15.0	61.9	細粒輝石安山岩	短冊形
72図	38	20	削器	60%	34.0	26.0	8.0	7.9	珩質頁岩	
73図	67	1	凹石	ほぼ完形	93.0	71.0	51.0	470.0	粗粒輝石安山岩	
73図	76	1	未製品		59.9	31.7	15.0	26.1	安山岩	勾玉状。詳細は不明
76図	103	11	石鏃	完形	18.5	15.7	3.0	0.5	黒曜石	基部は深い逆U字状
76図	104	2	石鏃	80%	22.0	(11.1)	4.0	0.8	黒曜石	基部は浅い逆U字状か
76図	105	6	石鏃	完形	(18.0)	6.5	4.0	0.5	黒曜石	つまみなし
77図	106	10	磨石	完形	131.0	68.0	61.0	910.0	粗粒輝石安山岩	被熱痕跡あり
78図	120	2	石鏃	完形	22.9	12.3	4.0	1.0	黒色安山岩	基部はほぼ平坦
78図	120	3	削器	一部欠損	74.6	63.7	22.0	128.0	細粒輝石安山岩	
78図	143	6	凹石	ほぼ完形	108.5	95.0	52.0	730.0	粗粒輝石安山岩	
79図	146	9	石鏃	90%	(24.4)	20.7	4.0	1.8	黒色安山岩	基部は浅い逆U字状
79図	147	19	多孔石	完形	174.0	163.0	84.0	3,290.0	粗粒輝石安山岩	
98図	162	4	石鏃	90%	20.3	(9.8)	4.0	0.5	黒曜石	基部は逆U字状
98図	162	5	軽石製品	完形	65.1	46.8	17.0	14.5	軽石	楕円形
99図	242	2	石鏃	完形	29.5	19.7	6.0	3.1	チャート	基部は凹弧状
100図	279	1	磨製石斧	70%	(122.1)	(63.8)	36.5	521.0	蛇紋岩	
100図	279	2	磨石	完形	87.0	84.0	43.0	477.5	粗粒輝石安山岩	
100図	279	3	磨石	完形	122.0	98.0	88.0	1,580.0	粗粒輝石安山岩	被熱痕跡あり
101図	284	36	石鏃	完形	13.0	10.0	2.0	0.2	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	基部は平坦
101図	287	13	打製石斧	90%	(106.9)	52.2	22.0	160.0	粗粒輝石安山岩	撥形
101図	287	14	石鏃	ほぼ完形	22.0	14.1	5.0	1.0	黒曜石	基部は逆U字状
102図	287	15	削器	90%	(16.5)	(18.6)	7.0	2.0	黒曜石	
102図	287	16	磨石	90%	106.0	90.0	56.0	818.7	粗粒輝石安山岩	
103図	289	13	台石	70%	330.0	164.0	131.0	11,300.0	安山岩	凹み穴あり
103図	290	11	石鏃	90%	(20.2)	(12.4)	4.0	0.6	黒曜石	基部は逆U字状
104図	292	1	磨石	完形	108.0	90.0	45.0	610.0	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
104図	340	1	磨石	ほぼ完形	112.0	56.0	25.5	260.0	安山岩	凹み穴あり
104図	341	6	石槍?	30%	(15.0)	(14.9)	(4.0)	0.6	黒曜石	

横壁中村遺跡20区 土坑

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
144図	30	11	台石	ほぼ完形	241.0	160.0	89.0	4,700.0	粗粒輝石安山岩	
144図	39	11	打製石斧	70%	(75.6)	45.5	17.0	85.0	細粒輝石安山岩	撥形か
145図	39	15	石臼	30%	154.0	131.0	128.0	3,000.0	粗粒輝石安山岩	
146図	47	1	打製石斧	80%	(104.7)	51.5	12.0	99.0	細粒輝石安山岩	
146図	53	7	石鏃	80%	34.7	(17.7)	7.0	3.3	黒曜石	基部は浅い逆U字状
147図	58	6	軽石製品	ほぼ完形	122.0	62.0	49.0	99.8	軽石	不定形
147図	58	7	磨石	90%	142.0	72.0	44.0	740.0	粗粒輝石安山岩	
148図	86	16	石皿	20%	(97.0)	(102.0)	92.0	920.0	粗粒輝石安山岩	
148図	86	17	凹石	80%	138.0	71.0	44.5	550.0	粗粒輝石安山岩	
148図	86	18	凹石	ほぼ完形	86.0	80.0	41.0	370.0	粗粒輝石安山岩	
148図	86	19	多孔石	ほぼ完形	174.0	149.0	80.0	2,550.0	粗粒輝石安山岩	
149図	94	3	ピエス	完形	27.0	17.0	7.0	3.7	黒曜石	
149図	132	1	多孔石	一部欠損	144.0	96.0	81.0	1,140.3	粗粒輝石安山岩	
150図	166	1	打製石斧	ほぼ完形	173.0	95.7	42.0	662.0	細粒輝石安山岩	分銅形
150図	197	3	打製石斧	完形	118.3	53.0	21.0	155.6	細粒輝石安山岩	撥形
151図	221	3	磨石	90%	139.0	82.0	40.5	724.1	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
151図	223	1	打製石斧	70%	(79.7)	52.1	14.0	79.6	黒色頁岩	
152図	233	25	多孔石	完形	210.0	140.0	57.0	5,380.0	粗粒輝石安山岩	
153図	233	26	台石	完形	257.0	188.0	116.0	7,000.0	粗粒輝石安山岩	
153図	235	6	磨石	完形	86.0	85.0	59.0	617.9	粗粒輝石安山岩	
154図	235	7	石臼	40%	245.0	149.0	101.0	5,500.0	粗粒輝石安山岩	下白か

遺物観察表

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
156図	295	15	石錐	完形	26.3	14.2	5.0	1.1	黒色安山岩	つまみあり
156図	295	16	凹石	完形	127.0	95.0	68.0	1,105.1	粗粒輝石安山岩	
159図	297	41	石錐	完形	24.0	6.1	6.0	1.0	黒曜石	つまみなし
159図	297	42	削器	完形	27.6	18.1	7.0	3.1	黒曜石	
159図	297	43	石鏃	完形	18.6	15.0	4.0	0.6	黒曜石	基部は浅い逆U字状
159図	297	44	石鏃	ほぼ完形	17.7	11.9	3.0	0.4	黒曜石	基部は浅い逆U字状
159図	297	45	石鏃	80%	20.8	12.5	2.5	0.7	黒曜石	基部は逆U字状
159図	297	46	石鏃	70%	(17.0)	12.9	3.5	0.5	黒曜石	基部は逆U字状か
159図	297	47	石鏃	50%	16.5	11.3	3.0	0.5	黒曜石	
160図	298	14	磨製石斧	40%	(65.7)	53.2	24.0	160.0	蛇紋岩	
161図	299	15	磨製石斧	完形	55.6	27.2	10.0	27.0	蛇紋岩	小型
161図	299	16	磨石	完形	104.0	99.0	61.0	919.8	粗粒輝石安山岩	
161図	299	17	磨石	完形	126.0	48.5	35.0	340.5	粗粒輝石安山岩	
161図	299	18	磨石	完形	141.0	91.0	53.0	1,100.8	粗粒輝石安山岩	
162図	299	19	多孔石	70%	(138.0)	165.0	96.0	3,750.0	粗粒輝石安山岩	
163図	330	1	磨製石斧	破片	(49.6)	(25.8)	(11.5)	155.0	蛇紋岩	
164図	331	36	石鏃未製品		19.3	10.0	4.0	0.8	黒曜石	
164図	331	37	磨石	80%	(71.0)	52.0	21.0	150.0	粗粒輝石安山岩	
164図	331	38	磨石	完形	97.0	90.0	38.0	540.0	流紋岩	
164図	331	39	石棒?	30%	(112.0)	103.0	104.0	1,540.0	テイスサイト	敲打痕あり
166図	332	64	軽石製品	完形	119.0	113.0	57.0	240.7	軽石	浅い皿状
166図	332	65	石鏃未製品		(15.9)	(7.8)	3.0	0.4	黒曜石	
167図	335	9	石錐	80%	(19.8)	4.8	3.0	0.5	黒曜石	
167図	335	10	磨石	完形	98.0	75.0	21.0	256.5	粗粒輝石安山岩	
167図	335	11	磨石	完形	212.0	94.0	44.0	890.0	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
168図	338	5	磨石	完形	140.0	135.0	110.0	2,870.0	粗粒輝石安山岩	被熱痕跡あり
168図	340	7	打製石斧	完形	131.6	48.8	19.0	149.0	粗粒輝石安山岩	短冊形
169図	346	1	磨石	完形	100.0	71.0	60.0	670.0	粗粒輝石安山岩	
169図	348	6	石鏃	80%	(19.4)	(11.2)	2.0	0.5	黒曜石	
170図	354	11	磨石	ほぼ完形	123.0	76.0	32.0	454.4	粗粒輝石安山岩	
170図	354	12	磨石	完形	112.0	101.0	54.0	1,000.0	粗粒輝石安山岩	
170図	354	13	台石	70%	223.0	219.0	74.0	5,350.0	安山岩	
171図	358	10	打製石斧	完形	123.4	45.1	22.0	117.4	黒色安山岩	分銅形
171図	359	8	石棒?	破片	(79.9)	(36.2)	(23.0)	107.5	緑泥片岩	
172図	361	14	石鏃	完形	26.1	16.3	4.0	0.7	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	基部は逆U字状
172図	361	15	多孔石	完形	242.0	196.0	120.0	6,900.0	安山岩	
173図	381	1	石鏃	ほぼ完形	(20.4)	(12.0)	4.0	1.0	黒曜石	
174図	400	25	石鏃	50%	(16.6)	(9.0)	4.0	0.5	黒曜石	基部は逆U字状か
174図	422	1	削器	完形	67.6	32.8	1.3	27.0	黒色頁岩	
175図	448	3	台石	70%	379.0	261.0	61.0	8,000.0	安山岩	
176図	453	8	石鏃	完形	21.6	13.2	4.0	0.9	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	基部は逆U字状
176図	456	4	削器	70%	(33.3)	26.2	10.0	7.8	チャート	
177図	459	2	打製石斧	ほぼ完形	107.8	48.9	19.0	113.8	紫蘇輝石普通輝石安山岩	撥形
177図	470	11	石皿	30%	(127.0)	(145.0)	(70.0)	2,100.0	粗粒輝石安山岩	
178図	471	13	磨石	ほぼ完形	51.0	45.0	22.0	79.4	粗粒輝石安山岩	
178図	471	14	磨石	ほぼ完形	131.0	57.0	45.0	560.8	粗粒輝石安山岩	
178図	472	5	石核	ほぼ完形	43.6	21.4	12.0	12.6	黒曜石	自然面を多く残す
179図	486	3	多孔石	完形	193.0	143.0	72.0	2,800.0	安山岩	
179図	487	1	石棒	70%	253.0	129.0	112.0	4,500.0	粗粒輝石安山岩	被熱痕跡あり
179図	495	1	磨石	完形	132.0	85.0	44.0	760.0	粗粒輝石安山岩	
182図	505	22	磨石	完形	139.0	87.0	48.5	910.0	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり。被熱痕跡あり
183図	521	13	石鏃	完形	20.1	11.6	4.0	0.6	黒曜石	基部は浅い逆U字状
183図	521	14	磨製石斧	完形	140.7	57.2	32.0	461.0	蛇紋岩	
183図	521	15	磨製石斧	ほぼ完形	124.5	58.2	23.5	291.0	蛇紋岩	
184図	521	16	多孔石	80%	273.0	138.0	120.0	4,600.0	安山岩	
184図	521	17	磨石	80%	(160.0)	72.0	43.0	940.0	粗粒輝石安山岩	被熱痕跡あり
184図	521	18	磨石	ほぼ完形	135.0	55.0	53.0	570.0	粗粒輝石安山岩	
184図	521	19	石皿	ほぼ完形	311.0	212.0	52.0	6,600.0	安山岩	楕円形。縁なし
185図	521	20	多孔石	完形	194.0	156.0	128.0	5,400.0	粗粒輝石安山岩	
185図	529	8	石錐	80%	25.1	(8.3)	7.0	1.4	黒曜石	
186図	529	9	石棒?	30%	(175.0)	141.0	(108.0)	3,850.0	緑泥片岩	
186図	531	9	多孔石	完形	146.0	125.0	56.0	1,150.0	粗粒輝石安山岩	
188図	544	6	磨石	完形	105.0	97.0	77.0	1,285.5	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
188図	546	1	打製石斧	完形	127.5	68.2	25.0	278.5	粗粒輝石安山岩	分銅形
188図	547	2	石鏃	完形	18.1	11.1	4.0	0.7	へき玉	基部はほぼ平坦
189図	550	3	石皿	30%	(114.0)	(211.0)	(72.0)	1,900.0	安山岩	
189図	550	4	多孔石	一部欠損	(173.0)	(156.0)	(142.0)	4,400.0	安山岩	
189図	551	6	磨石	ほぼ完形	133.0	81.0	40.0	643.4	石英閃緑岩	
190図	551	9	磨石	完形	82.0	78.0	30.0	275.6	粗粒輝石安山岩	
190図	555	2	石臼	20%	186.0	79.0	121.0	1,340.0	粗粒輝石安山岩	上臼
190図	560	1	石鏃	完形	21.2	14.3	7.0	1.9	黒曜石	基部は浅い円弧状
190図	572	3	打製石斧	完形	125.2	45.4	12.0	92.7	黒色安山岩	短冊形

横壁中村遺跡28区 土坑

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
195図	3	1	軽石製品	完形	63.9	39.4	14.0	11.4	軽石	楕円形
196図	11	1	磨石	完形	52.0	41.0	37.0	140.0	粗粒輝石安山岩	
196図	11	2	磨石	完形	70.0	32.0	20.0	90.0	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
196図	13	4	磨石	50%	(60.0)	46.0	23.0	120.0	粗粒輝石安山岩	

横壁中村遺跡29区 土坑

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
201図	3	3	磨石	完形	119.0	106.0	87.0	1,610.0	石英閃緑岩	被熱痕跡あり
202図	5	4	磨石	完形	116.0	73.0	40.0	540.0	石英閃緑岩	
202図	10	10	石錐	完形	39.4	10.1	6.0	1.5	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	つまみなし
204図	11	29	石棒	50%	(78.6)	(26.5)	20.5	78.5	緑泥片岩	
204図	11	30	加工痕	一部欠損	22.2	18.2	3.5	1.1	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	
204図	11	31	石鏃	完形	25.2	13.2	5.0	1.2	黒色頁岩	有茎、基部は突出

抄 録

書名ふりがな	よこかべなかむらいせきかっころくどうへん
書名	横壁中村遺跡(6) 土坑編
副書名	八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	20
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	436
編著者名	黒澤照弘
編集機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20080325
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784-2
遺跡名ふりがな	よこかべなかむらいせき
遺跡名	横壁中村遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんあがつまぐんながのはらまちおおあぎよこかべ
遺跡所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字横壁
市町村コード	10424
遺跡番号	24
北緯(日本測地系)	363210
東経(日本測地系)	1384025
北緯(世界測地系)	363221
東経(世界測地系)	1384013
調査期間	19960401-20061231
調査面積	30000
調査原因	ダム建設
種別	集落
主な時代	縄文/弥生/平安/中世/近世
遺跡概要	縄文-土坑528-縄文土器+石器/弥生-土坑4+弥生土器/平安-土坑2/ 中世以降-土坑472+陶磁器+金属製品+銭
特記事項	縄文時代中期から後期までの拠点的な集落。縄文から近世までの土坑、1,006基を検出。